
地域福祉に関する
事業所アンケート調査
－ 結果報告書 －

令和3年3月

徳島市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の対象と調査方法	1
3. 調査期間	1
4. 回収状況	1
5. 報告書の見方	1
第2章 調査の結果	2
1. 回答団体の属性	2
問1 団体の組織形態	2
2. 貴団体が取り組んでいる福祉活動について	3
問2 取り組んでいる福祉分野	3
問3 行政の福祉サービスの充足度	4
問4 福祉活動の頻度	5
問5 福祉活動範囲(地区等)	6
問6 福祉活動の質を向上させるための取組み	7
問6-1 福祉活動の質を向上させるための取組み事例	8
問7 福祉活動を行う上で困っていること	10
3. 防災に対する備えについて	11
問8 防災訓練への参加状況	11
問9 災害時の対応に関する取決め	12
問10 災害時の支援必要者	13
問10-1 災害時の支援必要者に対する行動	14
4. 貴団体の福祉活動と他団体や地域との関わり合いについて	15
問11 福祉活動を行う上で他団体等との連携状況	15
問11-1 連携状況や課題の内容	16
問12 地域住民の参加や協力を得るために必要なこと	23
問13 5年前の地域環境に対する比較	24
問14 住民が取り組むべきこと	44
問15 福祉施策を充実するために必要な取組み	45
5. 地域共生社会の実現に向けて	46
問16 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて	46
問16-1 協力状況や課題の内容	47
問17 地域づくりのために必要な支援策	52
6. ひきこもり対策について	53
問18 身近にひきこもりの方の有無	53
問19 ひきこもり対策に関する取組み	54
問19-1 ひきこもり対策に関する取組み状況や課題	55
問20 ひきこもり支援に必要な施策	57

7. 再犯防止の取組みについて	58
問21 再犯防止の取組みの認知度.....	58
問22 民間協力者の認知度.....	59
問23 再犯防止に関する取組み.....	60
問23-1 再犯防止に関する取組み状況や課題.....	61
問24 取組みの協力意向.....	64
問25 取組みに協力したい内容.....	65
問26 取組みに協力したいと思わない理由.....	66
問27 再犯防止に必要な取組み.....	67
8. 成年後見制度について	68
問28 成年後見制度の認知度.....	68
問29 「成年後見制度」の利用状況.....	69
問29-1 「成年後見制度」を利用していない理由.....	70
問30 成年後見制度の相談機関の認知度.....	71
問31 徳島市成年後見支援センターに期待すること.....	72
問32 成年後見制度の利用の促進・充実のために必要な取組み.....	73
9. その他	74
問33 徳島市の地域福祉に対するご意見.....	74

第1章 調査の概要

1. 調査目的

徳島市において、地域における様々な福祉課題に対応し、すべての人が地域で共に支え合い、安心して暮らせるまちづくりを目的として、令和4年度から令和8年度までの第3期徳島市地域福祉計画を策定する。

については、徳島市民の福祉に対する意識や地域福祉の実態などについて把握し、現在の地域福祉計画の成果を測定するとともに、第3期徳島市地域福祉計画の策定及び地域福祉施策の参考とするため、地域福祉に関する事業所アンケート調査を実施しました。

2. 調査の対象と調査方法

(1) 対象者

徳島市内の団体（事業所） 132団体

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収

3. 調査期間

令和3年1月13日～1月29日

4. 回収状況

配布数	回収数	回収率
132団体	93票	70.4%

5. 報告書の見方

- ・グラフ中の「N (Number of case の略)」はその質問の該当者数を表しており、回答率 (%) は、そのNを基数として算出した。
- ・集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- ・複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- ・クロス集計のクロス項目の質問（属性等）に複数回答や無回答がある場合、全体合計とクロス項目の合計値が合わない場合がある。
- ・地区別のクロス集計では、徳島市内の現状を把握するため、「県内全域」「県内と隣接県」「その他」を比較対象外としている。

第2章 調査の結果

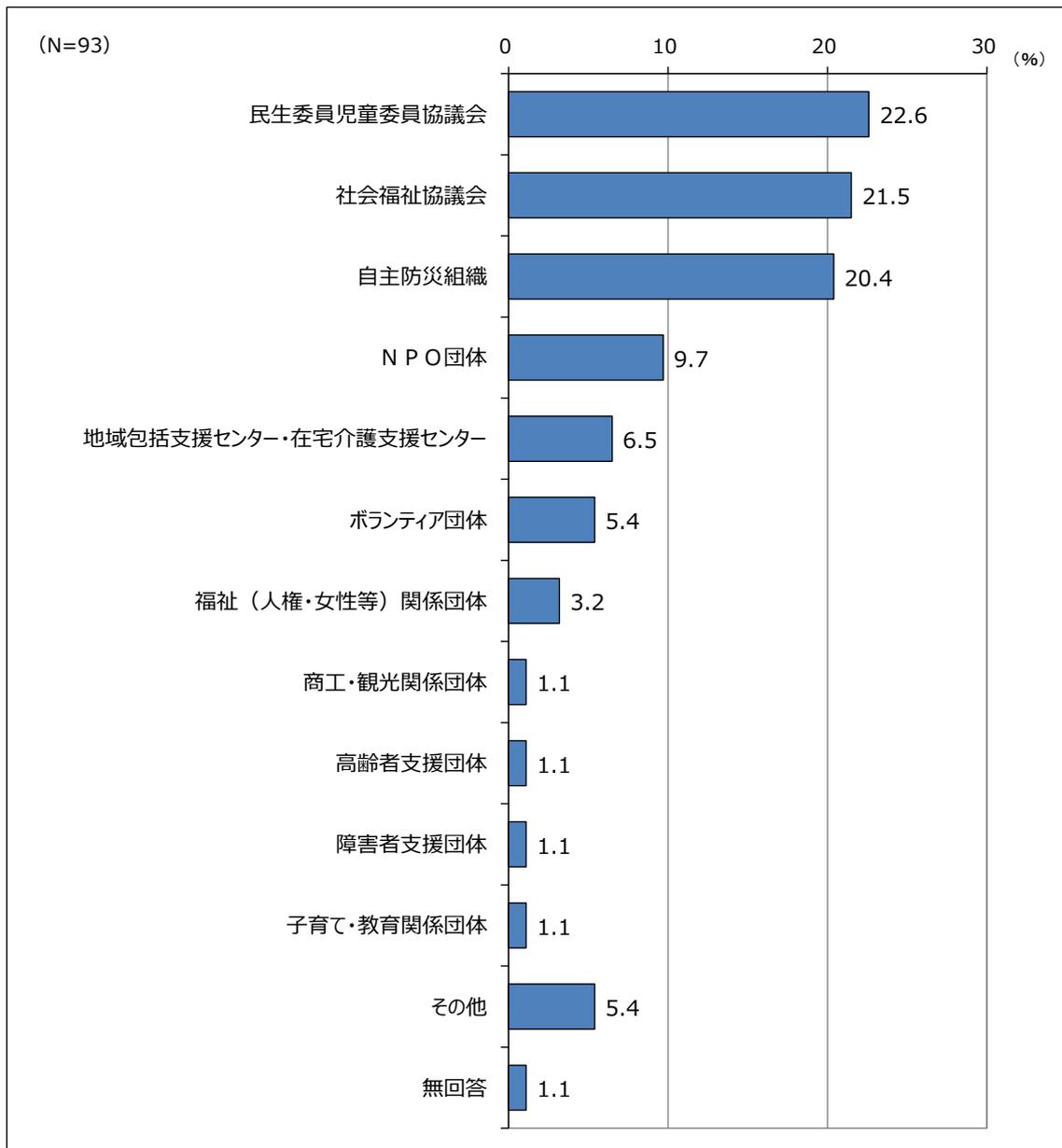
1. 回答団体の属性

問1 団体の組織形態

問1 貴団体の組織形態は、次のどれにあてはまりますか。【一つだけに○】

「民生委員児童委員協議会」(22.6%)が最も高く、次いで「社会福祉協議会」(21.5%)、「自主防災組織」(20.4%)などとなっています。

図表



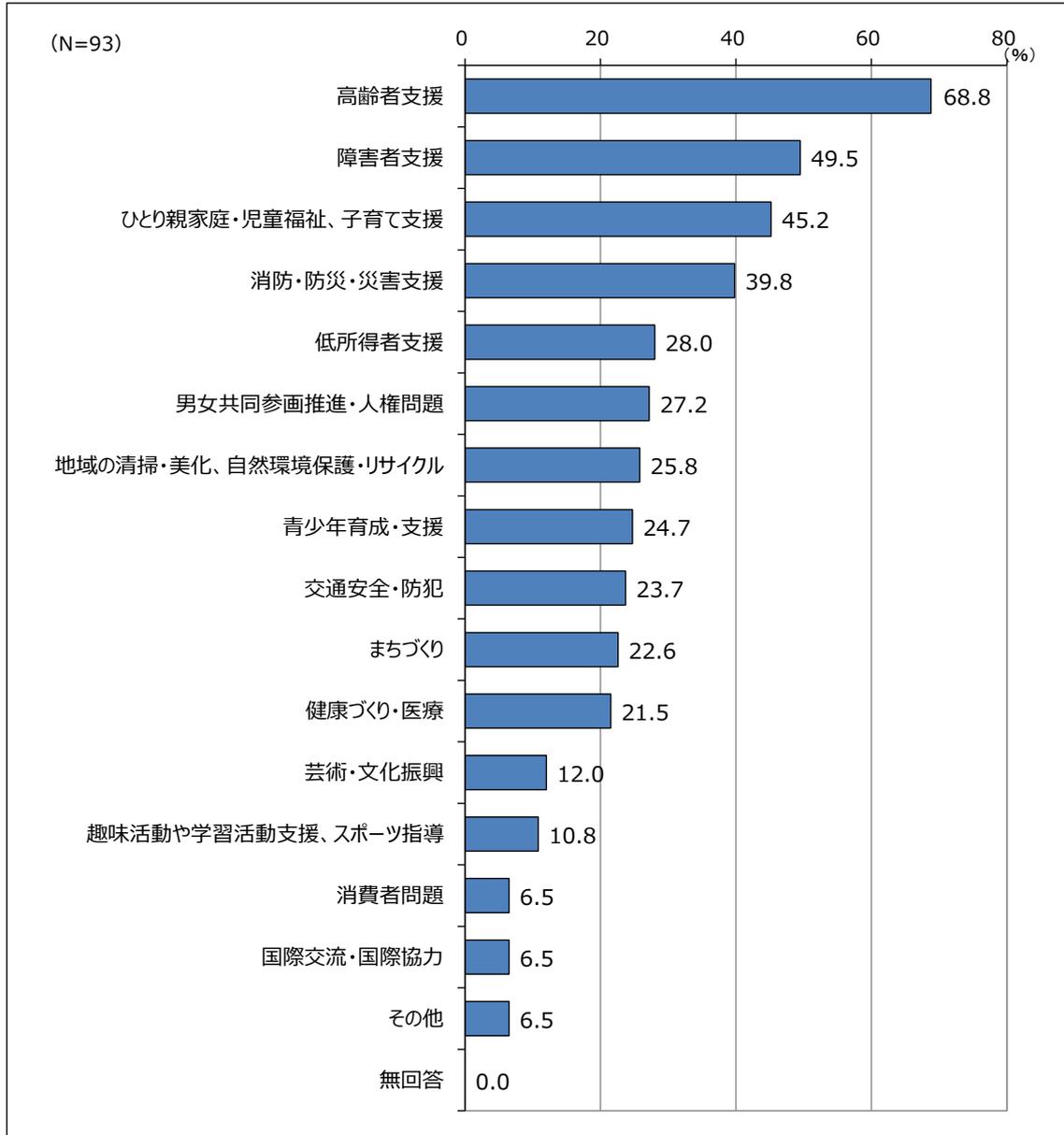
2. 貴団体が取り組んでいる福祉活動について

問2 取り組んでいる福祉分野

問2 貴団体で取り組んでいる福祉活動の分野は、次のどれにあてはまりますか。【あてはまるものすべてに○】

「高齢者支援」(68.8%)が最も高く、次いで「障害者支援」(49.5%)、「ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援」(45.2%)などとなっています。

図表



問3 行政の福祉サービスの充足度

問3 貴団体で取り組んでいる福祉活動の分野で、行政の福祉(高齢者、障害者(児)、子育て支援、低所得者に対する福祉など)サービスは充足していると思われますか。【一つだけに○】

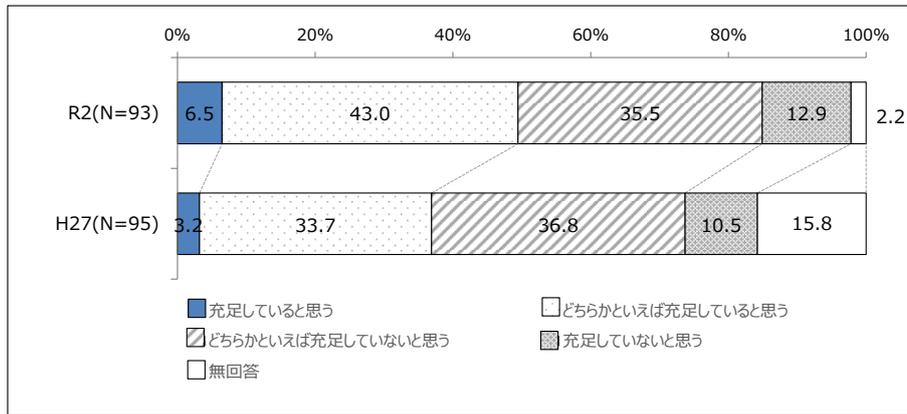
「充足していると思う」と「どちらかといえば充足していると思う」を合わせた【充足している】の割合は 49.5%となっており、「どちらかといえば充足していないと思う」と「充足していないと思う」を合わせた【充足していない】の割合は 48.4%となっています。

前回調査 (H27) と比較すると、【充足している】が 12.6 ポイント増加しています。

福祉分野別にみると、【充足している】と回答した方の中では「低所得者支援」(65.4%)が最も高く、次いで「男女共同参画推進・人権問題」(60.0%)、「ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援」(59.5%)などとなっています。

一方で、【充足していない】と回答した方の中では「その他」(83.3%)が最も高く、次いで「消費者問題」、「国際交流・国際協力」(ともに 66.7%)、「趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導」(60.0%)などとなっています。

図表



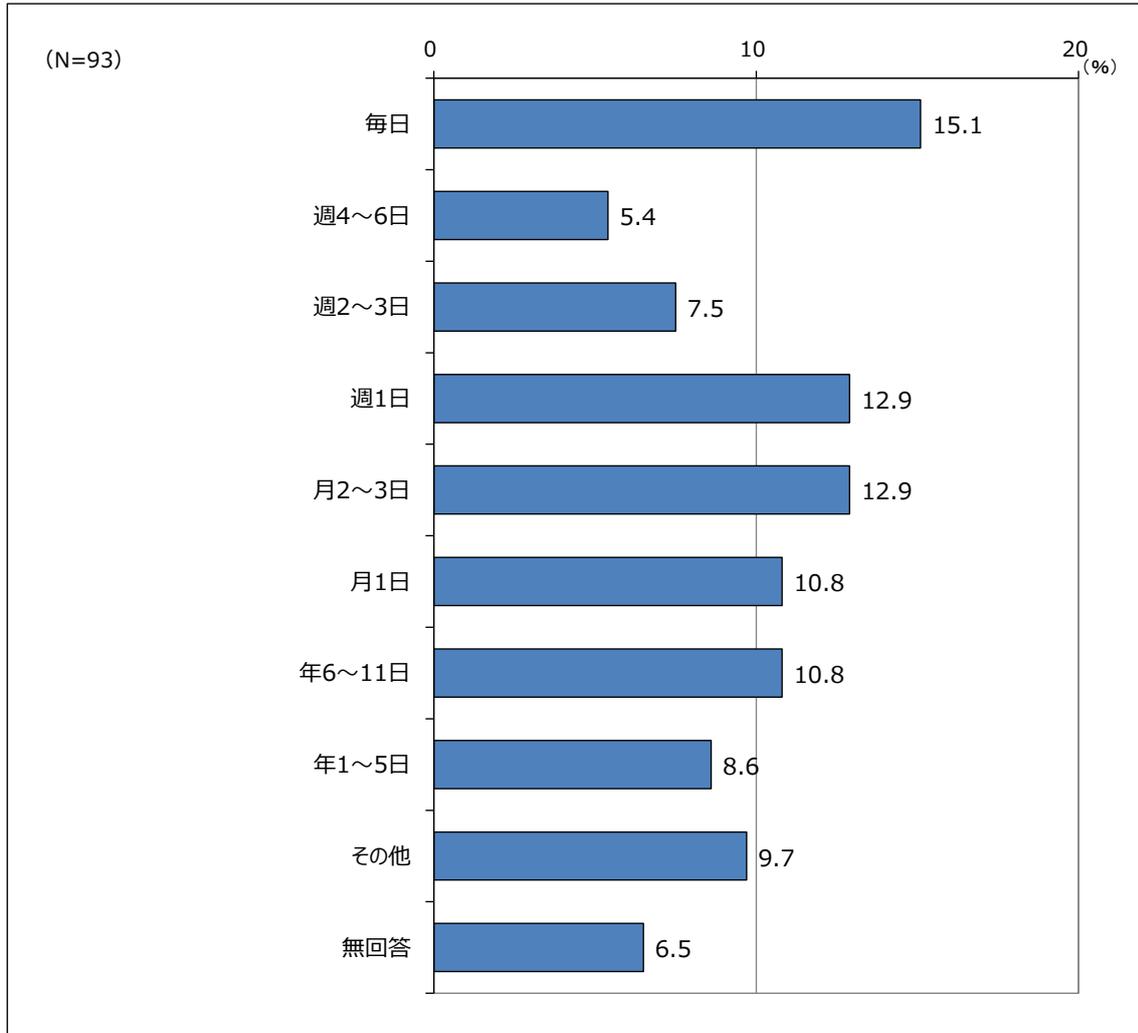
【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		充足していると思う	どちらかといえば充足していると思う	どちらかといえば充足していないと思う	充足していないと思う		充足している	充足していない	
R2(N=93)	93	6.5	43.0	35.5	12.9	2.2	49.5	48.4	
H27(N=95)	95	3.2	33.7	36.8	10.5	15.8	36.9	47.3	
福祉分野別	高齢者支援	64	9.4	48.4	32.8	7.8	1.6	57.8	40.6
	障害者支援	46	8.7	41.3	37.0	10.9	2.2	50.0	47.9
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	11.9	47.6	33.3	4.8	2.4	59.5	38.1
	低所得者支援	26	19.2	46.2	26.9	7.7	-	65.4	34.6
	消費者問題	6	16.7	16.7	50.0	16.7	-	33.4	66.7
	健康づくり・医療	20	10.0	45.0	35.0	5.0	5.0	55.0	40.0
	消防・防災・災害支援	37	2.7	37.8	45.9	13.5	-	40.5	59.4
	交通安全・防犯	22	9.1	36.4	50.0	4.5	-	45.5	54.5
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	8.3	50.0	37.5	-	4.2	58.3	37.5
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	10.0	30.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0
	青少年育成・支援	23	8.7	39.1	43.5	8.7	-	47.8	52.2
	国際交流・国際協力	6	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7
	まちづくり	21	4.8	47.6	33.3	9.5	4.8	52.4	42.8
	芸術・文化振興	11	9.1	45.5	36.4	9.1	-	54.6	45.5
男女共同参画推進・人権問題	25	12.0	48.0	28.0	12.0	-	60.0	40.0	
その他	6	-	-	50.0	33.3	16.7	0.0	83.3	

問4 福祉活動の頻度

問4 貴団体は、どのくらいの頻度で福祉活動を行っていますか。【一つだけに○】

「毎日」(15.1%) が最も高く、次いで「週1日」、「月2～3日」(ともに12.9%) となっています。

図表

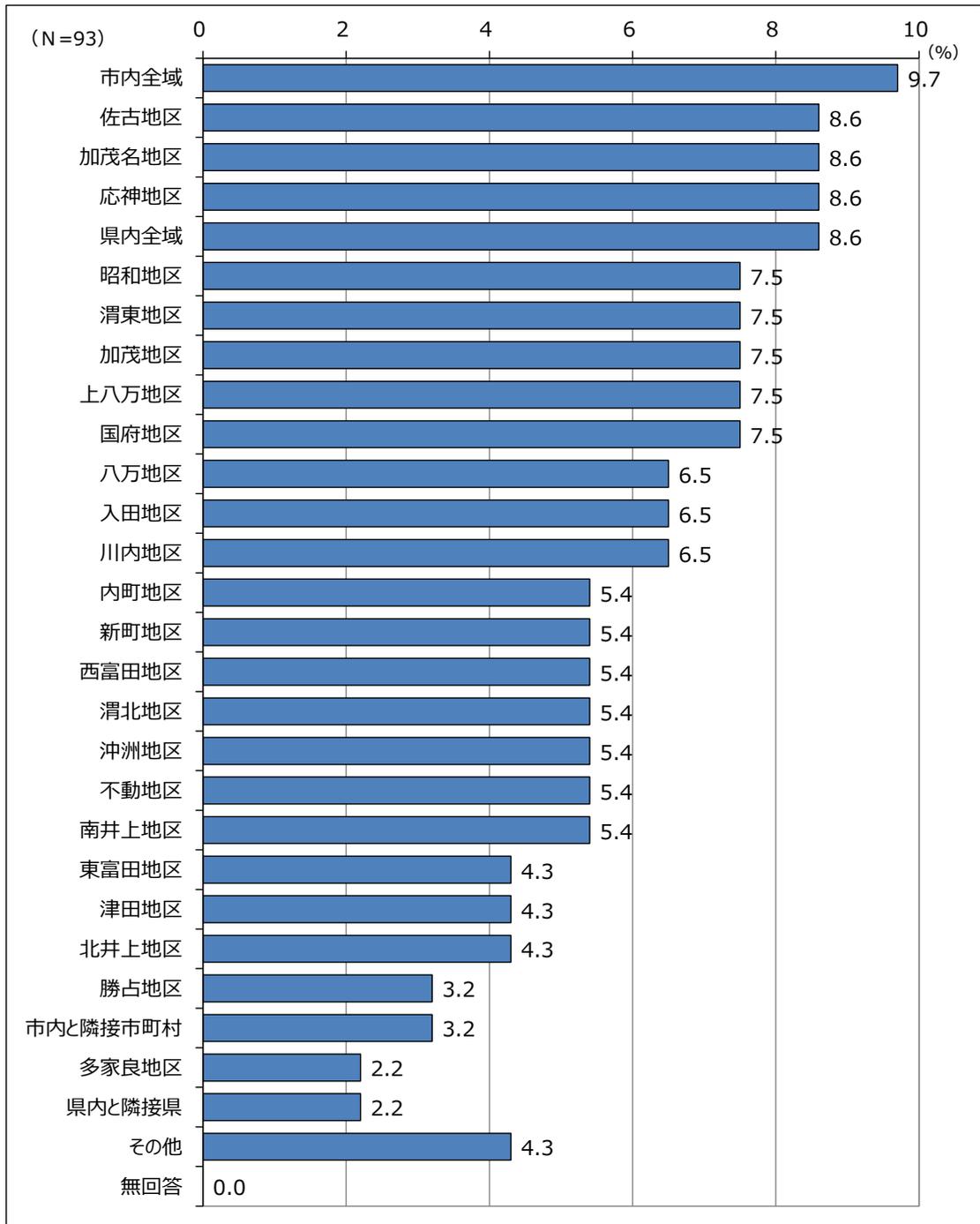


問5 福祉活動範囲(地区等)

問5 貴団体の福祉活動範囲(地区等)は、次のうちどれですか。【あてはまるものすべてに○】

「市内全域」(9.7%)が最も高く、次いで「佐古地区」、「加茂名地区」、「応神地区」、「県内全域」(いずれも 8.6%)、「昭和地区」、「渭東地区」、「加茂地区」、「上八万地区」、「国府地区」(いずれも 7.5%) などとなっています。

図表

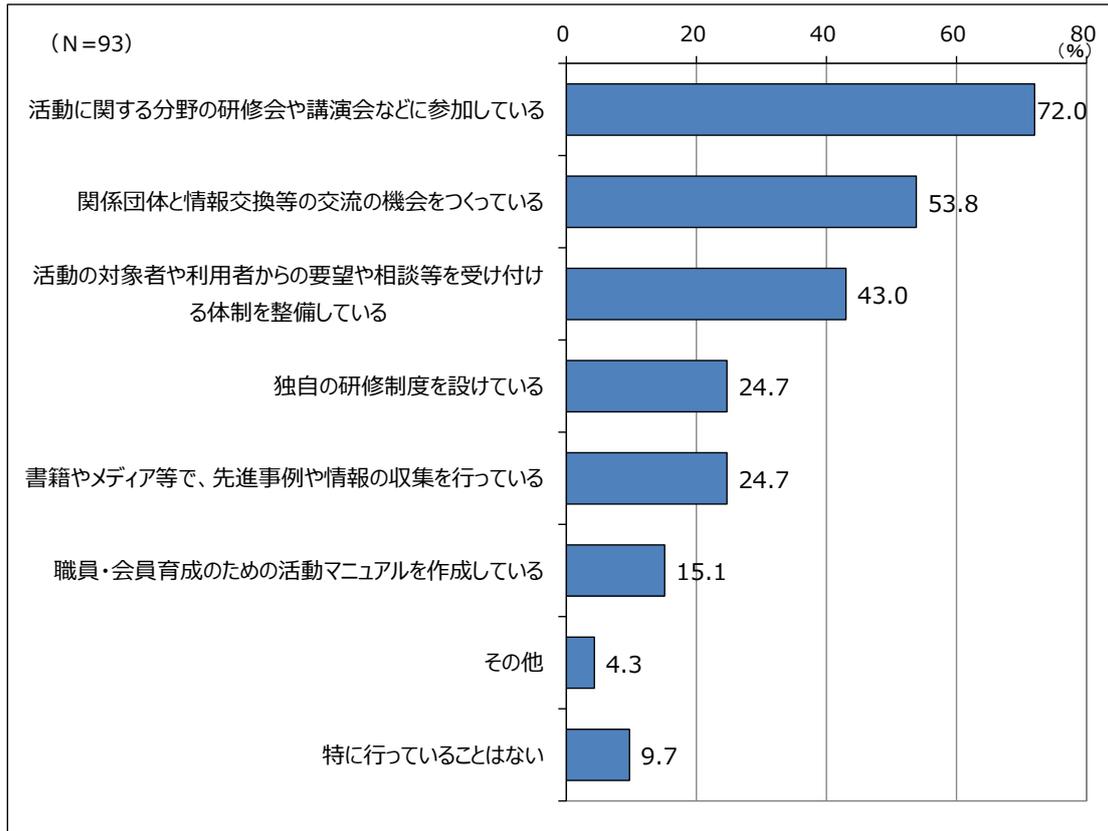


問6 福祉活動の質を向上させるための取組み

問6 貴団体の福祉活動の質(サービスや職員・会員の能力等)を向上させるための取組みを行っていますか。
【あてはまるものすべてに○】

「活動に関する分野の研修会や講演会などに参加している」(72.0%)が最も高く、次いで「関係団体と情報交換等の交流の機会をつくっている」(53.8%)、「活動の対象者や利用者からの要望や相談等を受け付ける体制を整備している」(43.0%)などとなっています。

図表



問6-1 福祉活動の質を向上させるための取り組み事例

問6-1 貴団体の福祉活動の質(サービスや職員・会員の能力等)を向上させるための取り組みについて、具体的な事例があれば記入してください。

42件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【研修会・講演会 19件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	裁判員裁判の見学、被害者、加害者の心理について勉強。常に再犯防止、薬物、事件等の話し合い。いきいき子供たちとの集い等のイベントを無料で開催。立ち直りの支援。
ボランティア団体	年数回の定例研修会。
ボランティア団体	専門講師を招いての勉強会など。
NPO団体	検討会の実施。先輩職員に同伴し、技術を習得。
NPO団体	毎日のミーティング意見交換(職員)やその他も随時意見交換。
NPO団体	徳島住民参加型在住福祉サービス団体連合会が主催する研修会の案内。地域包括支援センターが主催する研修への参加と呼びかけ。広報活動(どりーまあー通信)への活動掲載によるモチベーションアップを図る。
NPO団体	全国子育てひろば連絡協議会の団体会員、全国マミーズサミットネットワークの会員。徳島子育てひろば連絡協議会の会員。(全国や県内の子育て支援者とながり、新しい情報を得ている)徳島県子育て総合支援センター未来の研修に参加。
NPO団体	月に一度の研修会開催及び個人評価表による毎日の意識や行動の見返りをしていく。何か問題やトラブルがある時は出来るだけ沢山の人がその案件について意見を出し合うことで、ハード面、ソフト面についての気づきや反省を得ることで同様の案件に遭遇しても的確な判断と思いを運ぶことが出来る。
民生委員児童委員協議会	2月に認知症サポーター養成講座を全員で受講する。来年度は後見人の勉強会を予定(成年後見人制度)。
民生委員児童委員協議会	各種研修の参加や地区社協の活動に参加する。
民生委員児童委員協議会	救命救急講習会を実施。
民生委員児童委員協議会	月1回の定例会の実施及び必要に応じて研修会と意見交換している。
民生委員児童委員協議会	毎月の定例会で、年数回、外部講師を招いて研修会を実施している。
福祉(人権女性等)関係団体	福祉の活動領域ごとに委員会を設置し、研修など情報提供等を行っている。
障害者支援団体	幹部職員研修会や人権研修会の開催。相談員の設置、県内外の他団体との交流。
自主防災組織	避難所運営に関する会員研修会(講演会、小集団による事例研修)。コロナ感染症対策の実技模擬体験(段ボールによる居住区づくり、トイレ設置、保護エプロン・テント実習、宿泊訓練)。津波災害に備えての眉山への避難訓練防災に関する啓発物品の配布。防災用非常食作り。その他啓発活動。
自主防災組織	2年に1回程度、各地区の自主防災会長等を対象として防災に関する施設を訪れて研修を行っている。
その他	成年後見人等を受任するための名簿の登載要件として一定の研修受講を毎年義務付けている。
その他	介護職員研修等。

【関係団体との交流 16件】

組織形態	自由意見
NPO団体	子ども食堂や子ども宅食を行い、利用する人から要望を聞いたり、アンケートを実施している。結果をサービス内容に反映させている。ダイバーシティを推進する拠点として事業所内に広いスペースを作り、色々な人の話を聞ける環境を整えている。
NPO団体	情報交換の発信や週一回の職員ミーティング。
民生委員児童委員協議会	高齢者や障がい者等に支援した場合、定例会において事例報告をして頂き、解決方法等を話してもらって委員で意見を出し合い、問題解決に取り組む。
民生委員児童委員協議会	月1回民生委員、児童委員協議会の定例会を開催し、国県市からの情報を伝達したり、事例研究として地域の高齢者等の福祉問題等を検討し共有を図っている。
民生委員児童委員協議会	組織内での人と人のコミュニケーションを図る。
民生委員児童委員協議会	各部会の充実を図っている。
民生委員児童委員協議会	一人暮らしの方に月1回食事サービスをしています。地域の高齢者に週1回ホットカフェ(お茶とお菓子)を開催。月1回民生委員の定例会を行っている。
民生委員児童委員協議会	会員間の活動についての情報共有と課題解決のための親交と活動についての情報共有と課題解決のための親交を実施。
民生委員児童委員協議会	毎月の定例会時に意見交換や情報交換。
商工観光関係団体	関係団体の会議等に参加し、情報を収集している。
社会福祉協議会	令和1年以来、徳島市包括支援センターのご支援のもと「たから支え愛」のテーマのもと各種団体より20名位で住みよい町づくりのための活動を話し合っております。
社会福祉協議会	会議会合の時、情報交換をしたり、他の団体との交流を図り、事例や情報の収集を行っている。地域の高齢者と直接話しあい意見を聞いたり、相談に乗ったりしている。
福祉(人権女性等)関係団体	グラウンドゴルフ大会、体育大会、芸能大会、高齢者文化祭、人権研修等研修会(年7回)ボーリング大会、親睦旅行、健康体操等。
自主防災組織	高齢者支援のため、食事会をコミセンで実施しています。(社会福祉協議会)
自主防災組織	当会の主目的は、防災への啓発と訓練であり、毎年、小学校や支援学校でその活動を実施しています。地域では町内会単位での身近で地域の人々が参加しやすい防災訓練を実施しています。
その他	県内で毎月数カ所において無料相談会の実施。

【その他 7件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	少人数の会員がほとんど専門職(資格等)なのでそれぞれが得意分野で自由に活動。それに対する責任や相談は全員が受けることにしている。
社会福祉協議会	共同募金が原資なので地域の皆様のご厚志により、市からの返金を福祉の場に生かしているが、それが減ればそれなりの身の丈に合ったことで対象の皆様にお渡しするしかないので募金を頑張る。コロナで今年は厳しい。
社会福祉協議会	様々な知識や見識を広げることが大切だと思います。多くの勉強会や研修会に参加することも大切ですが、実際に体験していくことが大切だと思います。
自主防災組織	装備資材の使用、習熟訓練、備蓄防災倉庫の点検、津波避難時の避難場所、避難所の運用等の周知(研修及び資料作成)。
自主防災組織	若い人の参加が少ない。義務教育でボランティア活動の推進を図る。市の職員が2か月に1回程度ボランティア活動が可能な制度を構築。小さな親切運動の推進。
自主防災組織	組織の充実。特に会員の増強。防災士相互の連携。
その他	福祉活動はしていない。

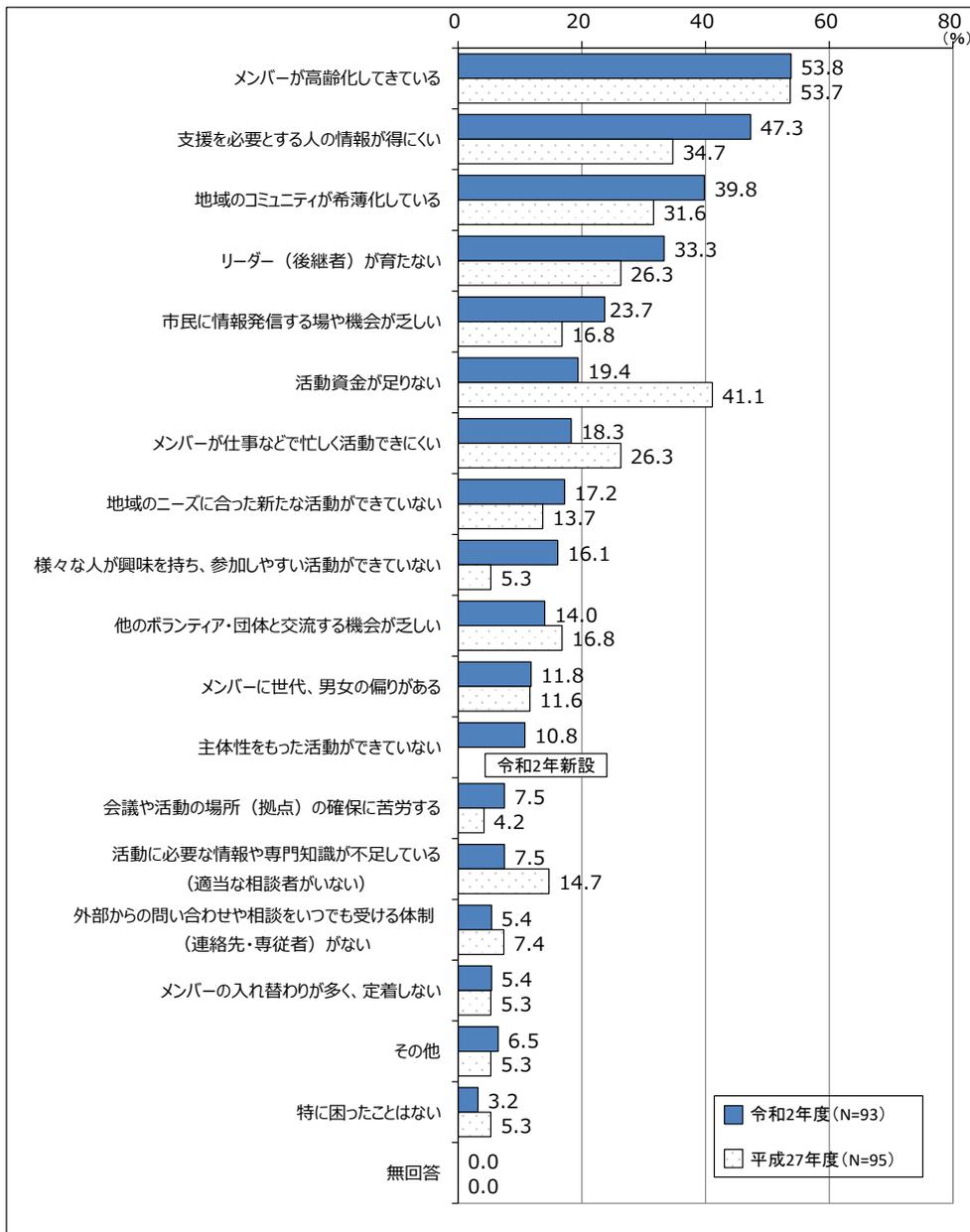
問7 福祉活動を行う上で困っていること

問7 貴団体が福祉活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「メンバーが高齢化してきている」(53.8%) が最も高く、次いで「支援を必要とする人の情報が得にくい」(47.3%)、「地域のコミュニティが希薄化している」(39.8%)、「リーダー（後継者）が育たない」(33.3%) などとなっています。

前回調査（H27）と比較すると、「支援を必要とする人の情報が得にくい」が12.6ポイント増加しています。一方で、「活動資金が足りない」が21.7ポイントと大きく減少しています。

図表



3. 防災に対する備えについて

問8 防災訓練への参加状況

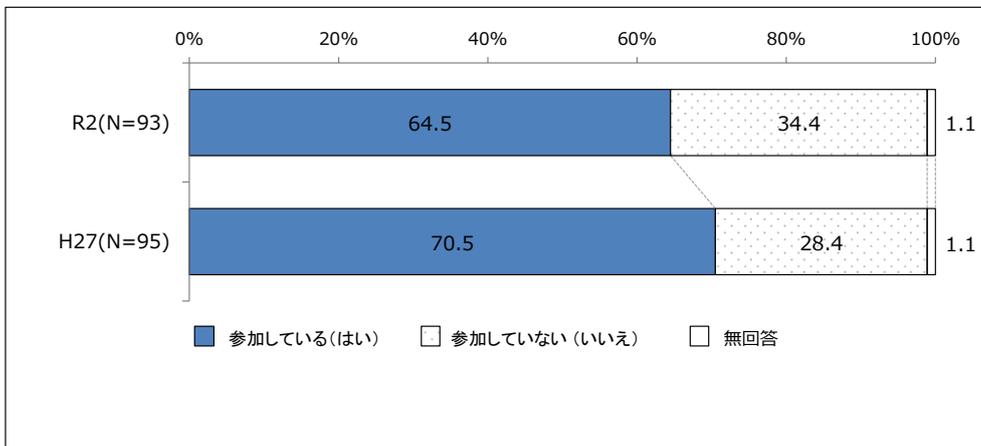
問8 貴団体では、日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。【どちらかに○】

「参加している」(64.5%)、「参加していない」(34.4%) となっており、日頃から防災訓練に参加している割合は高くなっています。

前回調査 (H27) と比較すると、「参加している」が6ポイント減少しています。

福祉分野別でみると、「参加している」割合が高かったものは、「消防・防災・災害支援」(91.9%)、「趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導」(90.0%)、「芸術・文化振興」(81.8%) などとなっています。

図表



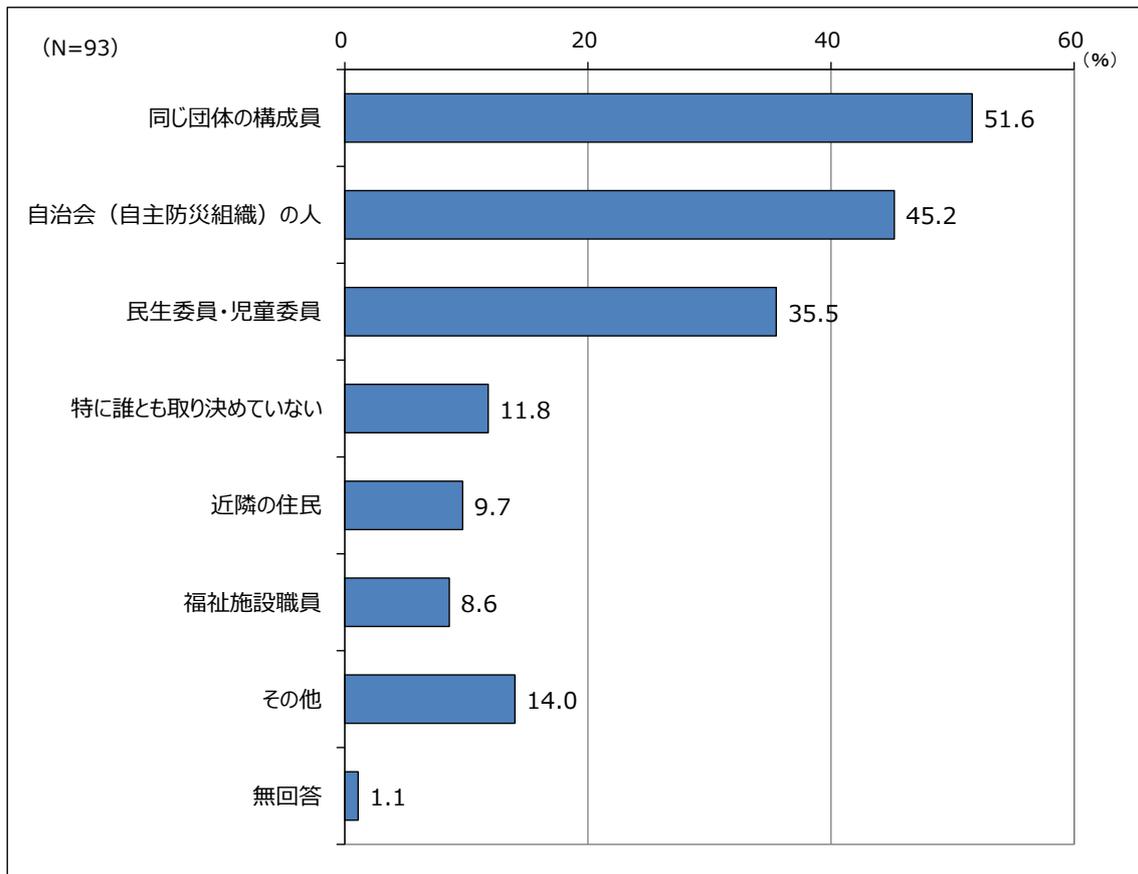
	回答数 (人)	(1)	(2)	無回答	
		参加している	参加していない		
【表の見方】 単位=比率(%)					
R2(N=93)	93	64.5	34.4	1.1	
H27(N=95)	95	70.5	28.4	1.1	
福祉分野別	高齢者支援	64	62.5	35.9	1.6
	障害者支援	46	65.2	34.8	-
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	69.0	31.0	-
	低所得者支援	26	65.4	34.6	-
	消費者問題	6	66.7	33.3	-
	健康づくり・医療	20	80.0	20.0	-
	消防・防災・災害支援	37	91.9	5.4	2.7
	交通安全・防犯	22	77.3	18.2	4.5
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	70.8	29.2	-
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	90.0	10.0	-
	青少年育成・支援	23	73.9	26.1	-
	国際交流・国際協力	6	50.0	50.0	-
	まちづくり	21	71.4	28.6	-
芸術・文化振興	11	81.8	18.2	-	
男女共同参画推進・人権問題	25	72.0	28.0	-	
その他	6	33.3	66.7	-	

問9 災害時の対応に関する取り決め

問9 貴団体では、災害が発生した時の対応(連絡のとり方や避難の方法など)について、誰かと取り決めていますか。【あてはまるものすべてに○】

「同じ団体の構成員」(51.6%)が最も高く、次いで「自治会(自主防災組織)の人」(45.2%)、「民生委員・児童委員」(35.5%)などとなっています。

図表



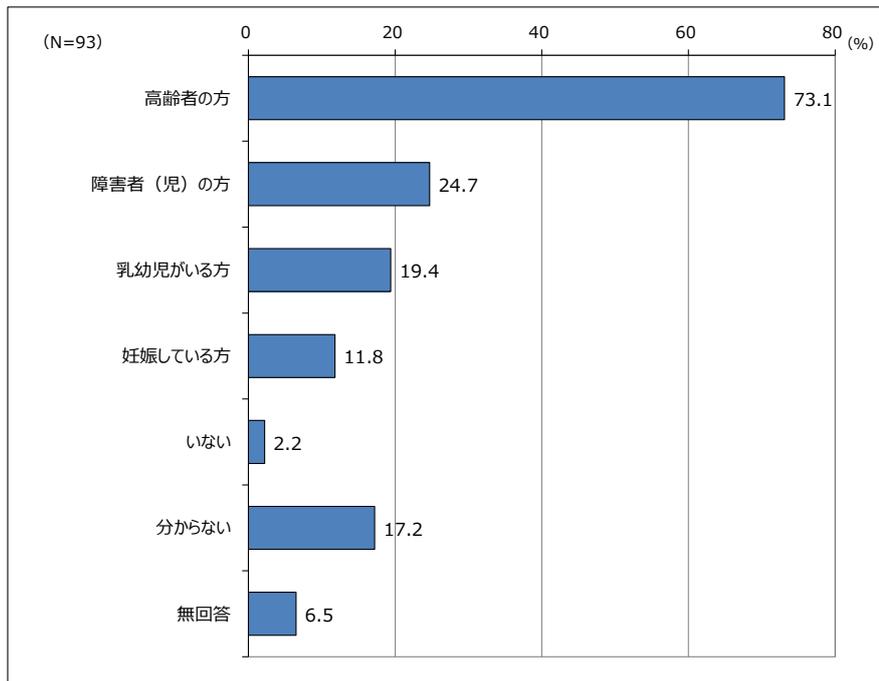
問10 災害時の支援必要者

問10 貴団体の活動場所の周りには、高齢者や障害者のひとり暮らし、乳幼児がいる世帯など、災害時に支援を必要としそうな方は住んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

「高齢者の方」(73.1%) が最も高く、次いで「障害者(児)の方」(24.7%)、「乳幼児がいる方」(19.4%) などとなっています。

活動地区別にみると、内町地区では「高齢者の方」、「障害者(児)の方」、「分からない」がともに最も高く、市内と隣接市町を除くすべての活動地区では「高齢者の方」が最も高くなっています。

図表



	回答数(人)	(1) 高齢者の方	(2) 障害者(児)の方	(3) 乳幼児がいる方	(4) 妊娠している方	(5) いない	(6) 分からない	無回答
【表の見方】 単位=比率(%)								
全体	93	73.1	24.7	19.4	11.8	2.2	17.2	6.5
内町	5	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0	20.0
新町	5	80.0	20.0	-	-	-	20.0	-
西富田	5	100.0	40.0	-	-	-	-	-
東富田	4	100.0	25.0	-	-	-	-	-
昭和	7	71.4	28.6	-	-	-	28.6	-
清東	7	85.7	42.9	28.6	28.6	-	14.3	-
清北	5	100.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-
佐古	8	75.0	25.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5
沖洲	5	100.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-
津田	4	75.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
加茂名	8	87.5	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5
加茂	7	100.0	14.3	14.3	-	-	-	-
地区別								
八万	6	83.3	-	-	-	-	-	16.7
橋占	3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3
多家良	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-
上八万	7	100.0	57.1	42.9	14.3	-	-	-
入田	6	66.7	16.7	16.7	-	-	16.7	16.7
不動	5	80.0	-	-	-	-	20.0	-
川内	6	83.3	16.7	-	-	-	16.7	-
応神	8	87.5	12.5	-	-	-	-	12.5
国府	7	71.4	-	-	-	-	14.3	14.3
南井上	5	80.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-
北井上	4	100.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-
市内全域	9	44.4	22.2	22.2	11.1	-	33.3	11.1
市内と隣接市町村	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3
県内全域	8	37.5	12.5	25.0	25.0	25.0	37.5	-
県内と隣接県	2	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-
その他	4	25.0	-	-	-	-	75.0	-

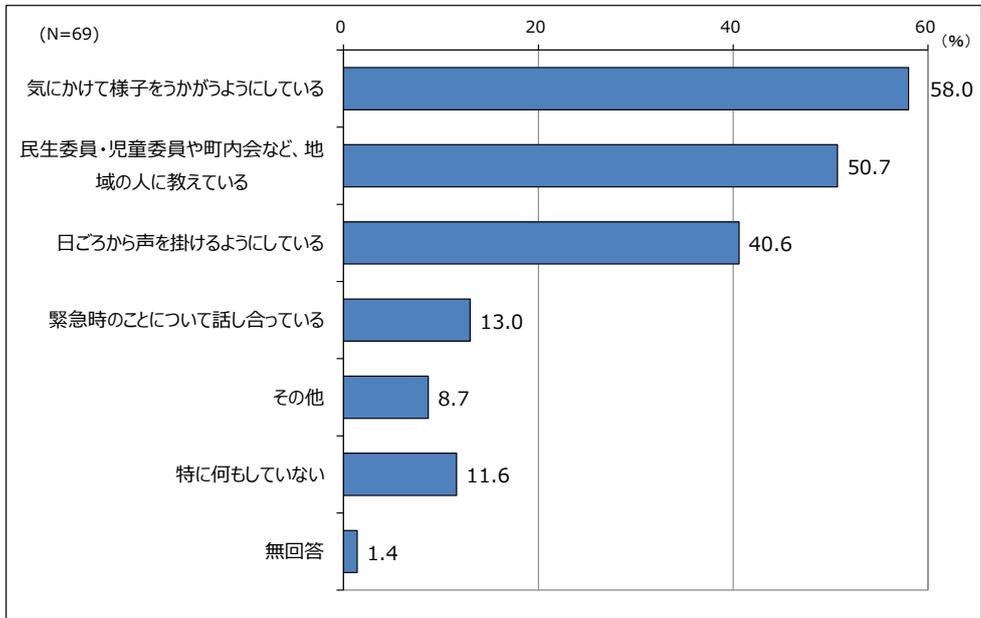
問10-1 災害時の支援必要者に対する行動

問10で「1. 高齢者の方」～「4. 妊娠している方」に○をつけた団体にお伺いします。
 その方たちに対して、貴団体は何か行動されていますか。【あてはまるものすべてに○】

「気にかけて様子をうかがうようにしている」(58.0%) が最も高く、次いで「民生委員・児童委員や町内会など、地域の人に教えている」(50.7%)、「日ごろから声を掛けるようにしている」(40.6%) などとなっています。

配慮者別にみると、高齢者の方は「気にかけて様子をうかがうようにしている」が最も高く、障害者(児)の方は「気にかけて様子をうかがうようにしている」、「民生委員・児童委員や町内会など、地域の人に教えている」、「日ごろから声を掛けるようにしている」がともに最も高く、乳幼児がいる方は「日ごろから声を掛けるようにしている」が最も高く、妊娠している方は「気にかけて様子をうかがうようにしている」、「日ごろから声を掛けるようにしている」がともに最も高くなっています。

図表



		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)		
		回答数(人)	気にかけて様子をうかがうようにしている	ど、民生委員・児童委員や町内会などに教えている	日ごろから声を掛けるようにしている	緊急時のことについて話し合っている	その他	特に何もしていない	無回答
【表の見方】 単位=比率(%)									
全体		69	58.0	50.7	40.6	13.0	8.7	11.6	1.4
配慮者別	高齢者の方	68	58.8	51.5	41.2	13.2	8.8	10.3	1.5
	障害者(児)の方	23	52.2	52.2	52.2	8.7	13.0	13.0	-
	乳幼児がいる方	18	50.0	50.0	55.6	11.1	11.1	11.1	-
	妊娠している方	11	45.5	36.4	45.5	18.2	9.1	9.1	-
	いない	-	-	-	-	-	-	-	-
	分からない	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 貴団体の福祉活動と他団体や地域との関わり合いについて

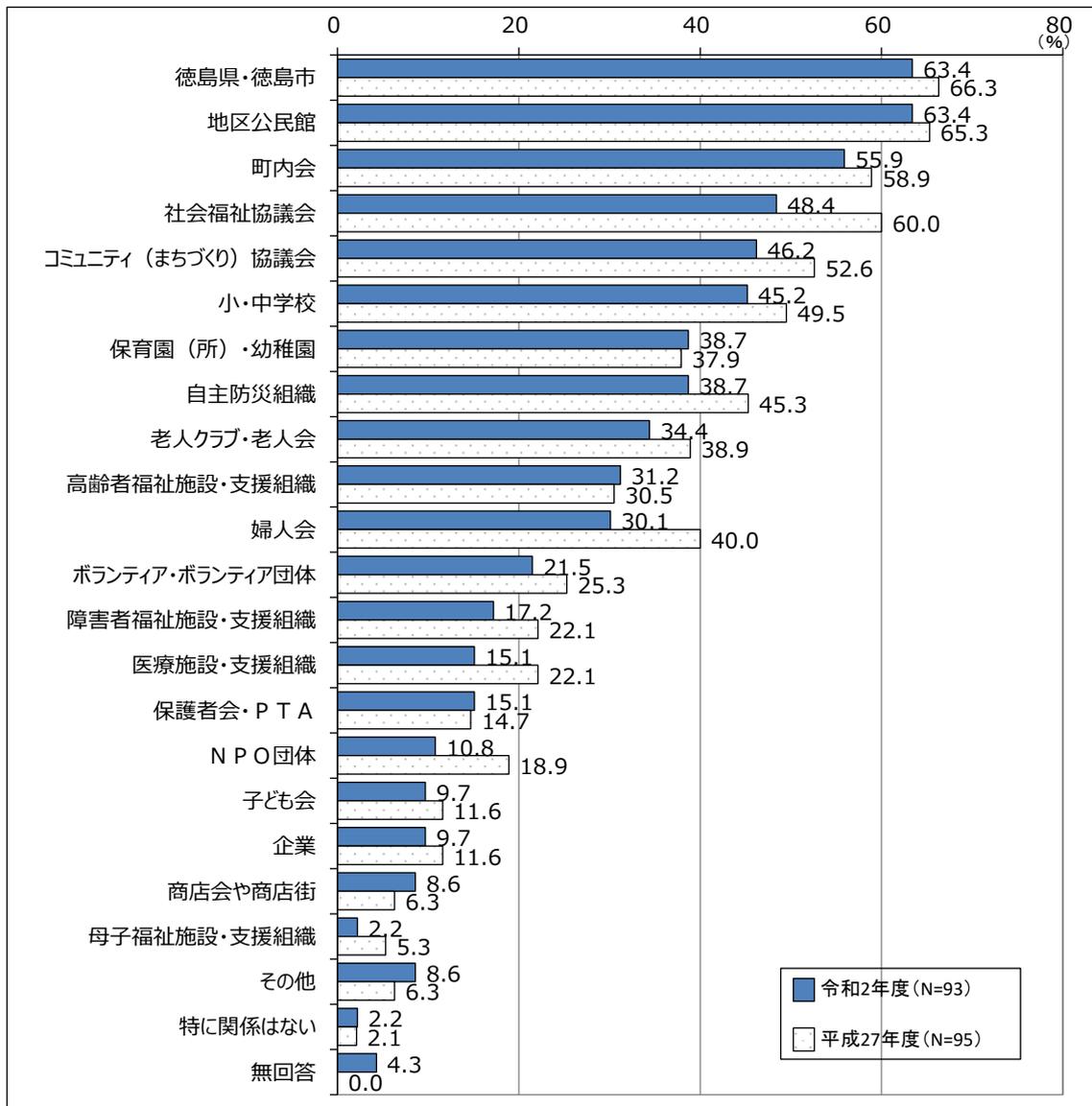
問11 福祉活動を行う上で他団体等との連携状況

問11 貴団体では、福祉活動を行う上で公共団体や他のボランティア・団体等と連携（交流や協力関係等）していますか。【あてはまるものすべてに○】

「徳島県・徳島市」、「地区公民館」（ともに63.4%）と最も高く、次いで「町内会」（55.9%）、「社会福祉協議会」（48.4%）、「コミュニティ（まちづくり）協議会」（46.2%）などとなっています。

前回調査（H27）と比較すると、「社会福祉協議会」が11.6ポイントと減少しています。

図表



問11-1 連携状況や課題の内容

問11で1～21に○を付けた団体にお伺いします。

問11-1 その連携状況や課題について、具体的に記入してください。

89件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【連携状況 72件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	年2回の街づくり協議会の運営委員会で情報交換を行っている。
ボランティア団体	市福祉課と包括支援センターには大変お世話になっております。町内会や企業様には共同募金で協力頂いています。もちろん市社協にもお世話になっていますが、県社協からの共同募金のノルマには少し疑問です。小中学校にはお年寄りや地域のイベントに参加いただいています。街づくりや防災は役員を兼任していてツーカーです。
NPO団体	情報提供を行っている。
NPO団体	県からの委託等、病院からの委託等を通して連携している。
NPO団体	ボランティア、NPO団体等は話し合うこともあるので大きな問題はない。地域の方達とはその時々で交流があったが、最近のコロナで集まる事の難しさが感じられる。
NPO団体	ミーティング等を通じた意見交換、フェスティバルの共同開催、見学、実習、研修の受け入れ。
NPO団体	活発に連絡調整や情報共有できている。
NPO団体	町内活動では、定期的に参加し、近隣住民とコミュニケーションを日頃からとり、何かの時には協力し合える関係性を構築している。高齢者中心の支援組織なので子育て世代やニートなどの関わりがない。
NPO団体	とくしま子育て防災ネットワークとして、子ども子育てに関する活動をされている団体や、県の施設、防災施設などが任意でネットワークを立ち上げています。毎月1回定例会をしていますが、各団体の代表者がかなり忙しく、なかなか集まれていませんが、メールでつながっているののでいざ何か災害が起きた時などは助け合える情報を共有できる環境にはあります。
NPO団体	県・市とは、保険制度等利用するにあたり事業内容や請求等でお世話になり、問題等あった場合は相談させて頂いている。地域では自治会や地域を支えるサークルや高齢者サークル等と情報を共有し、又、夏祭り、文化祭等と一緒に開催している。又、自社が開催する月に1度の日曜市の応援もして下さり相互に地域の活性化と交流の場づくりに力を入れている。地域で自治会、民生委員さん、ボランティア団体、サークルグループ等やそれぞれの立場から問題等を発信し地域団体に周知して改善していく。地域住民の希薄さも少なくなり世代を超えた繋がりを作っている。但し、昨年2月よりコロナ禍での自粛により活動や交流も制限されている。個々にこもりいろいろな問題も隠れてしまっている所以新たなルートと形が必要だと思います。
民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会では、業者、商店、病院、事業所等を訪問し、共同募金に協力している。ひとり住まいの高齢者に弁当を配っている。(5回/年) 小学校では児童のスクールガードに参加し、登下校時の見守り活動を行っている。
民生委員児童委員協議会	徳島市地域包括センターに報告し対応をお願いすることが多い。学校関係は民生には元児童委員がおり、常にコミュニケーションを図っている。高齢者福祉施設とは会議個人的にコミュニケーションを図っている。公民館やコミュニティ協議会、町内会、民生委員等会議をもってコミュニケーションを図っていきたい。
民生委員児童委員協議会	学校の評議員として団体を維持している。コミュニティ(まちづくり)協議会の下部組織(未来委員会)に入り、様々な課題を協議している。寿会(老人会)とは高齢者の見回りについて情報を交換している。課題は様々な会があるが動ける人が高齢化してきている。
民生委員児童委員協議会	民生委員の定例会に出席していただいたり、各団体の総会等に参加している。各団体の行事等に参加している。
民生委員児童委員協議会	行政からの依頼に常に協力している。公民館の催し等、敬老会等に参加。

<第2章 調査の結果 ～4. 貴団体の福祉活動と他団体や地域との関わり合いについて～ >

組織形態	自由意見
	社会福祉協議会と常に連絡を取り情報を共有している。小学校の放課後教室に参加。

組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	連携、交流等を行っているが、表面的な交流や協力に終わっており、課題克服への深い活動には至っていない。
民生委員児童委員協議会	小さな地区でまとまりが良く、わきあいあいと行事に参加してくれています。特に地区公民館では、忙しいぐらい行事が開催され子供の行事（みかん狩り、ハゼ釣り、木工工作、餅つきなど）や、婦人会（空き缶拾い、防災頭巾作り、料理教室、フラダンス教室など）も常に大勢で集まり、仲良く交流を深めています。
民生委員児童委員協議会	イベントや行事を行うことで交流は出来ていると思うが、その条件を通じてのみの交流になってしまう。主催者側の連携はとれるが、受け手の参加者がどこまでその活動の意義を汲み取ってもらえるかは不明。単なる楽しみや物の提供だけにならないような企画づくりが出来ていないのではないかと考えている。
民生委員児童委員協議会	敬老会、成人式、体協運動会、コミュニティの活動に協力。
民生委員児童委員協議会	定例会の時に情報交換している。会議や式典に出席している。
民生委員児童委員協議会	津田民児協定例会が月1回あり、その時に市地域包括支援センターや近隣の福祉施設の職員さんから色々な情報をいただいたり、相談できる時間を取っています。津田コミュニティ協議会の定例会も月に1回あり、社会福祉協議会、公民館、自主防災、民生委員、幼小中、PTAの方々も参加しており情報交換をしています。
民生委員児童委員協議会	地域包括支援センターから民児協の定例会（月一回）に参加していただき情報交換を実施している。
民生委員児童委員協議会	コミュニティ協議会や社会福祉協議会等と緊密に連携、協力しているが、民生委員に負担が大きくなってきているので、今後は、各団体と話し合い、役割分担を明確にしていきたい。
商工・観光関係団体	徳島市社会福祉協議会の評義委員に就任し、活動に意見を反映している。
社会福祉協議会	「たから支え愛」のテーマのもと、各種団体の代表で構成（20名）し、令和1年度より月1回位、夜に90分位会合を開き、地域住民に支え合いの町づくりについて協議する。アンケートを地域住民の皆様にも実施する。令和2年春より休止状況。
社会福祉協議会	地域の各種団体とは活動するメンバーがほぼ同じであるため連携は上手くいっていると思います。よく似たメンバーで活動するということが課題とされます。（高齢化で若い人はなかなか参加できない）
社会福祉協議会	敬老会の共催（婦人会、民生、児童委員、町内会）。独居老人友愛訪問（民生児童委員）。独居老人食事会（婦人会、小中学校）。
社会福祉協議会	一人暮らしの高齢者との食事会の場での交流。コミュニティ協議会の会員としての協力。
社会福祉協議会	地区社会福祉協議会としての活動は、ほぼ地区の各種団体の皆様のご協力を頂きながら、運営をさせて頂いています。特に、今年度は様々な活動が出来なかった為、社会福祉協議会としての活動は、制限されました。
社会福祉協議会	県市婦人会が協力し、婦人問題調査の発表大会を行っています。今年は、調査研究テーマ「地球にやさしい消費者を目指して」を年代ごとに色分けして2,000部のアンケートを本年度は実施した。その他に振込詐欺等の防止に関する事。警察署と協力し地域内の高齢者にハガキで呼びかけている。
社会福祉協議会	福祉祭り（昭和小幼稚園保育所みずほ保育所育英認定こども園岸上社中賢楽十人会公民館チーム）。広報活動（地区広報「フレンドリーしようわ」各家庭へ社協リーフレット「共同募金のしくみ」「社協の活動内容について説明」）。徳島市一人暮らし老人食事会（年3回、（会食）、友愛訪問、年4回（配食）。複合施設育成-敬老会青少年健全育成（小学校課題活動助成学童保育助成）。幼稚園保育所（園）環境美化（お花配布）。青少年非行防止活動防犯パトロール小学生。伝承遊びの手伝い地区ボランティア団体育成（防犯協会助成・体育協会助成・婦人会助成・更生保護女性会助成・昭和消防団助成・福祉活動研修助成・児童館ボランティア助成・身体障害活動助成）。
社会福祉協議会	一人暮らし高齢者に8月、9月を除き毎月昼食会を開催。保健師による健康相談を実施。西富田地区敬老会、クリスマス会を四国大学付属西富田こども園のご協力を得て、9月、12月実施。8月に地区住民の協力でチャリティーパーザー西富田まつり美術展を開催。4月に桜まつり（カラオケ舞踊他）。11月にコミセンと協力しコミセン祭りを協賛。地域住民と親睦を深めている。

組織形態	自由意見
社会福祉協議会	当団体の役員として参加してもらっている。
社会福祉協議会	一人暮らし高齢者食事会時に高齢者の送迎。敬老会開催の時は、アトラクションに参加しています。中学生は友愛ハガキや食事会において、おもてなし等の協力をしてくれます。敬老会の開催大規模災として活動しています。
社会福祉協議会	市や包括と連携しこまめに対応することを心がけている。
社会福祉協議会	民児協と協力連携し、一人暮らし高齢者との交流、お世話、相談活動等をしている。定例会議等で福祉施設と情報交換や意見交換している。
社会福祉協議会	加茂社協は各種団体の役員等で構成されている組織なので、町内会、民生、婦人会、体協、コミュニティ協議会、公民館、自治会、自主防災、防犯、学校、幼保育所（園）とも連携しています。加茂地区は何か行事や活動をいえば、多くの方がボランティアとして参加していただきますので、地域として福祉活動出来ていると思います。ただ、会員ボランティアには、年長者の方が多いので、いかに PTA を巻き込むかが若い世代をボランティア活動に参加してもらうコツだと思います。
社会福祉協議会	まちづくり協議会の中で協議する事としている。
福祉（人権・女性等）関係団体	地域の人とひとを繋ぐ婦人会のネットワークを通じ女性の地位向上と地域福祉、教育文化、環境、消費生活等の推進、男女共同参画社会づくりに貢献することを目的とする。県、市、計 92 団体会員数 14,124 名（現在）
福祉（人権・女性等）関係団体	市役所の高齢者福祉施設と連携（よくできている）。課題は財政面。
福祉（人権・女性等）関係団体	会員が、それぞれ在職しており、その支援を行っている。領域ごとの委員会で定例会を開催し、スキルアップの場や情報提供を行っている。
高齢者支援団体	補助団体である公園清掃の仕事をしている軽度援助事業や、とくしま子育て応援クーポン事業等を受託している。
子育て・教育関係団体	幼稚園の行事の中に文化祭への参加や高齢者施設訪問がある。PTA 活動の一つに園児に対する絵本の読み聞かせや資源回収がある。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	徳島市地域包括支援センターと民生委員の定例会に月に 1 回程度参加している。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	現在はコロナ禍の為開催できていないが、毎月認知症カフェを開催していた。民生委員や婦人会、中学生、企業等、様々な方を対象として認知症サポーター養成講座の講師として派遣している。大学にも赴き、福祉施設等の役割や仕事内容の説明等、授業の一環として依頼があれば講師として参加している。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	都度、連絡を取り連携を図っている。
自主防災組織	企業へ避難場所として依頼。保育所、小、中学校には備蓄倉庫、避難場所として設定（地区公民館も同じ）。
自主防災組織	保育園（こども園）の防災訓練に一部参加。小学校の山崩れに際しての避難所とコミセンになっているのでコミセンへ避難訓練と受け入れ。他の組織とは情報提供や連携。
自主防災組織	会合、研修会等の共同開催。
自主防災組織	防災連合会では、年 1 回総合防災訓練を実施し、婦人会、老人会、子ども会、医療関係等と連携した取り組みで各組織が独自の案を出し合って問題を解決すると同時に各会とも話しやすくなり、連携を取っています。
自主防災組織	成人式、夏祭り、運動会、花の植替え年 2 回。敬老会、福祉餅つき、文化祭等の行事において主担当の団体に協力して整々と実施している。成人式（公民館）夏祭り（社会福祉協議会）運動会（体育協会）敬老会（婦人会）もちつき（社会福祉協議会）花（公民館）文化祭（コミセン）花（コミセン）。
自主防災組織	自主防災、まちづくり協議会、公民館ともトップが同じ人がしているので連携がとりやすい。
その他	加茂名地区民生委員の会合への参加。

組織形態	自由意見
その他	成年後見制度の充実に向けて、社会福祉協議会等と、成年後見制度利用促進基本計画に基づく地域連携ネットワークへの参画を目指し、活動を進めている。

【課題 8件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	徳島市と連携と取り組みについてもっと知ってもらおう。
ボランティア団体	徳島県交流プラザを拠点に活動している団体との交流はありますが、それ以外とはなかなか接する機会がありません。交流できるチャンスを作ってもらえるといいと思います。
社会福祉協議会	メンバーの高齢化と次のメンバーがいない。
社会福祉協議会	他団体と連携して活動を行っていますが、活動にマンネリを感じます。その理由として会員の高齢化もありますが、まずは小さな事から活動の成果を目指し、日頃のマンネリを打破したいと考えています。
自主防災組織	避難訓練や広報紙の発行により防災活動を啓発している。課題は、組織率の向上。20才から50才代の参加者が少ない。活動費が少ないこと。避難訓練の場所に学校施設が主の為、学校行事との調整に苦悩。
自主防災組織	事前に予測可能な台風などと異なり、いつ起こるか分からない大地震への課題。地震の発生時刻の違いによる被害情報（特に夜中）の把握が困難。地震により地域がどのような状態、状況にあるのか、人的、物的被害はどうか、消防や市と連携しながらも最善策の対応を取れるのか不安である。
自主防災組織	地域内での住民の町内会への加入率が低く、加入者は高齢者が多く、次第に加入者も減り続けている。当地区は、近年宅地化が進展しており人口世帯数は増えている。しかし若年世帯は共働きで昼間平日の人口は少なく、高齢者と子供ばかりとなっている。災害時の対応は助ける人が少なく心もとない。小学高学年、中学生、高校生を共助の人材とし育てていくことが大切と考えています。
その他	仕事をしている人も参加しやすいように、日祝日にも講習イベント等を開催して欲しいです。

【その他 9件】

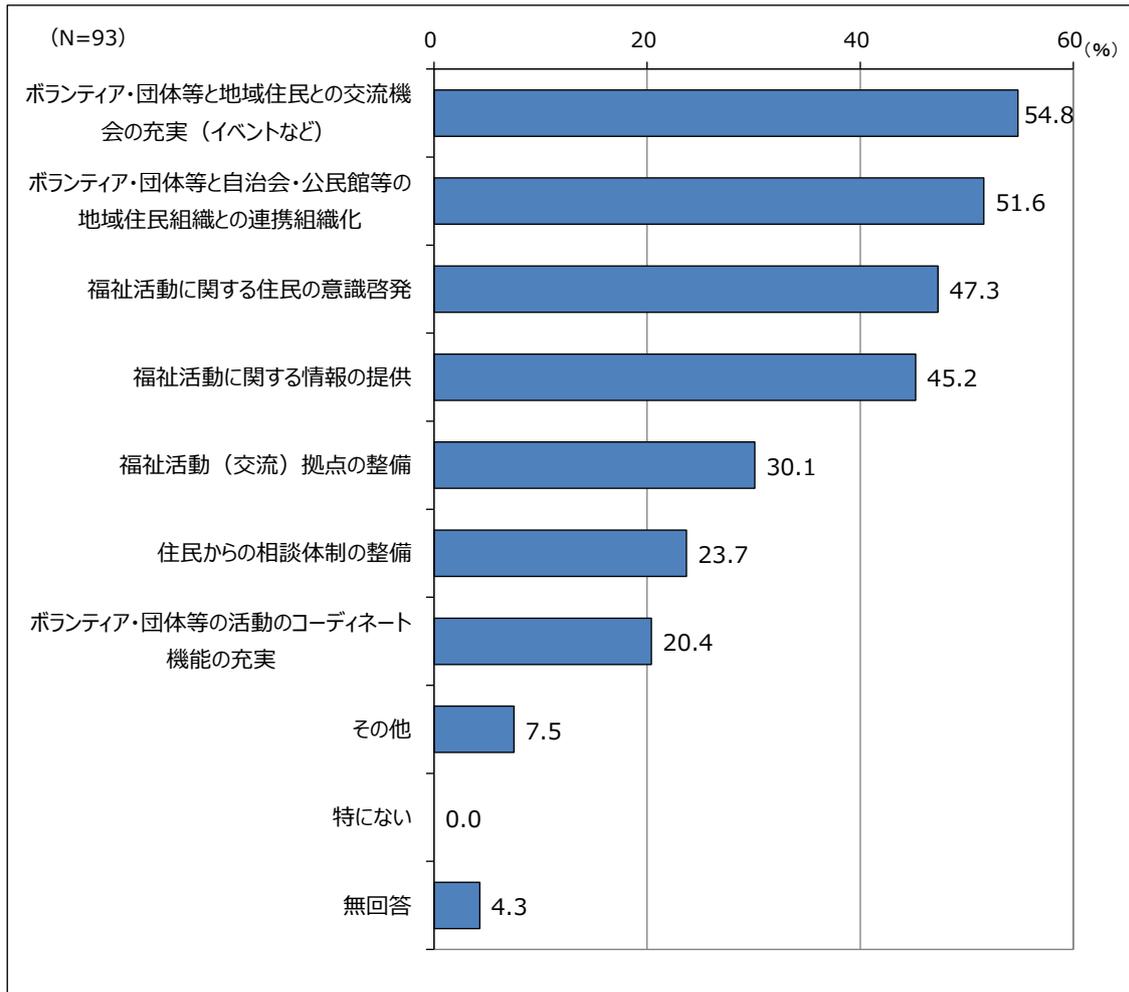
組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	今はコロナですから年に2～3回の話し合いができない。
民生委員児童委員協議会	一人暮らしの高齢者が病院、施設に移られた時に情報が直ぐに入手することが出来ない。
障害者支援団体	補助金を頂いている。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	他のボランティア団体の高齢化によって交流の回数が減っている。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	ボランティア団体も高齢化してきた。また、コロナ以降、研修やイベントなどがなくなり、接点がなくなった。
自主防災組織	会合する際、特定の人が多く、年齢層が高止まりしている。会合の場所が狭い（駐車場含め）。
自主防災組織	連携が密ではない。
自主防災組織	共に参加を呼び掛けている。
その他	私たちの組織は困っていることの相談を主任務としており連携するところまでは至っていない。

問12 地域住民の参加や協力を得るために必要なこと

問12 福祉活動を行う上で、地域住民の参加や協力を得るためには、どのようなことが必要であると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「ボランティア・団体等と地域住民との交流機会の充実（イベントなど）」（54.8%）が最も高く、次いで「ボランティア・団体等と自治会・公民館等の地域住民組織との連携組織化」（51.6%）、「福祉活動に関する住民の意識啓発」（47.3%）などとなっています。

図表



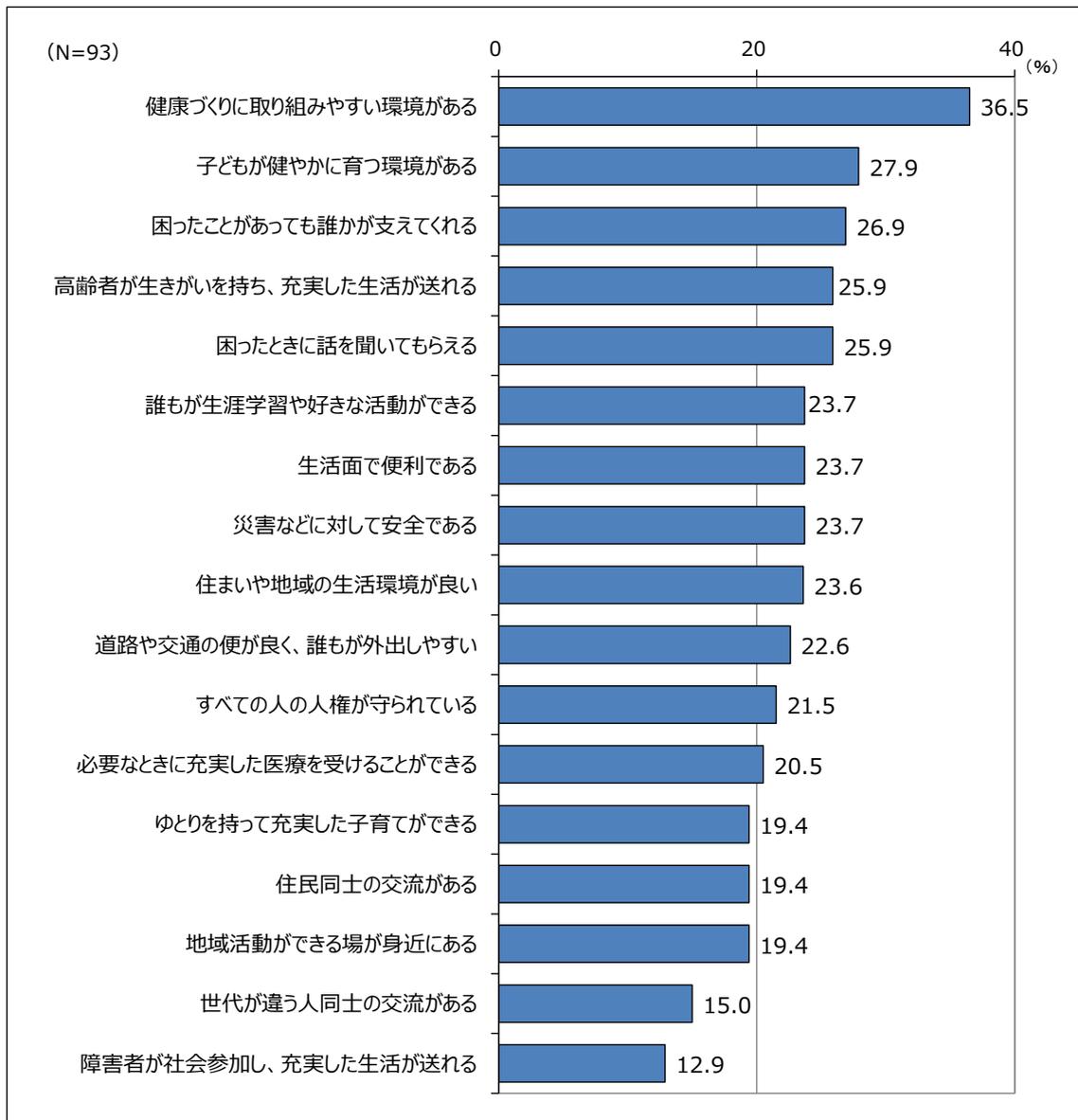
問13 5年前の地域環境に対する比較

問13 貴団体の活動範囲(地域等)に関する環境について、おおむね5年前と比べて次のことがどのように変わったと思いますか。【それぞれ一つだけに○】

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】と回答した方の中では「健康づくりに取り組みやすい環境がある」(36.5%)が最も高く、次いで「子どもが健やかに育つ環境がある」(27.9%)、「困ったことがあっても誰かが支えてくれる」(26.9%)、「高齢者が生きがいを持ち、充実した生活が送れる」(ともに 25.9%)などとなっています。

図表

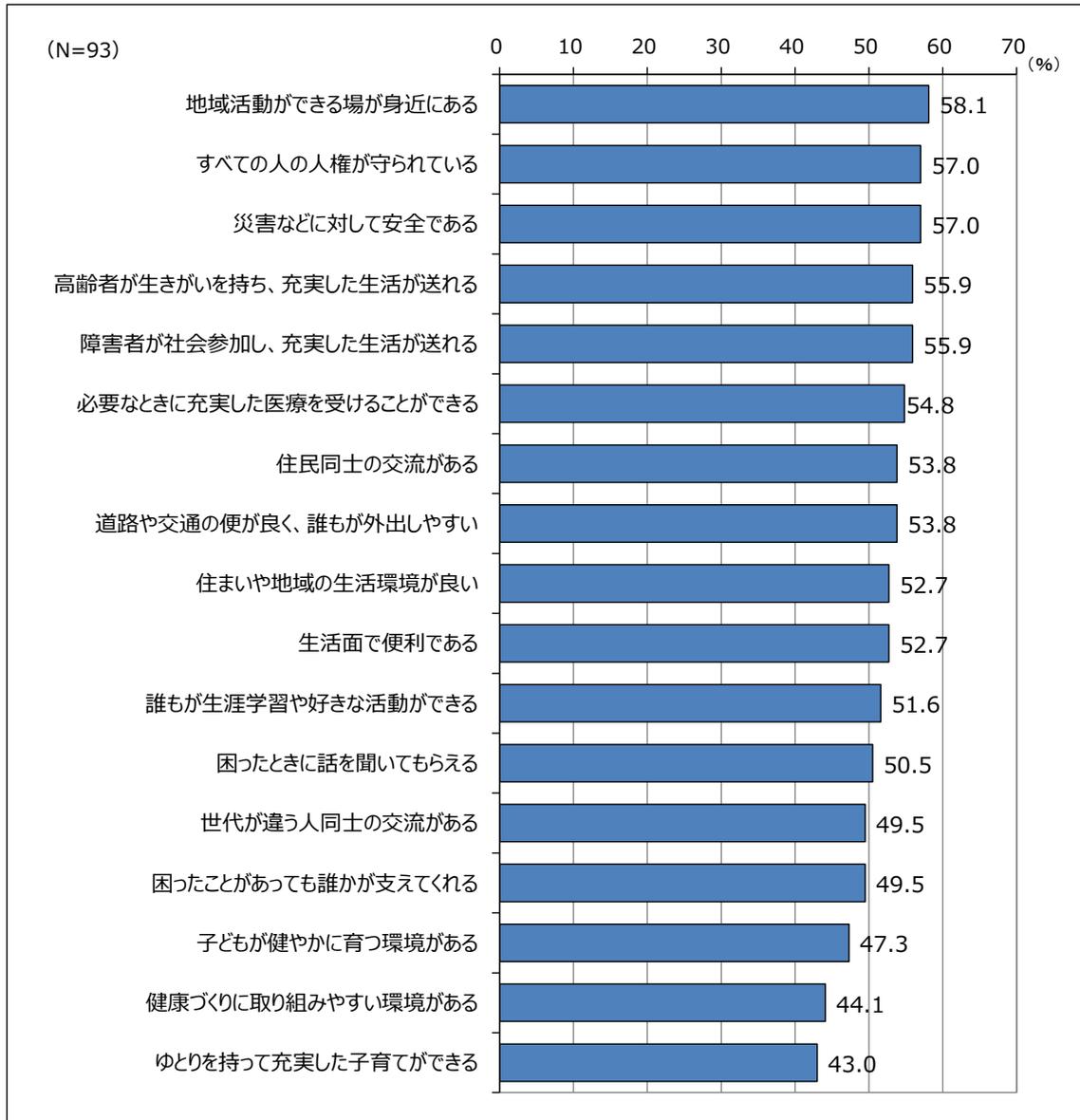
【良くなった】



活動範囲（地域等）に関する環境の変化について、【あまり変わらない】と回答した方の中では「地域活動ができる場が身近にある」（58.1%）が最も高く、次いで「すべての人の人権が守られている」、「災害などに対して安全である」（ともに57.0%）が最も高く、「高齢者が生きがいを持ち、充実した生活が送れる」、「障害者が社会参加し、充実した生活が送れる」（ともに55.9%）などとなっています。

図表

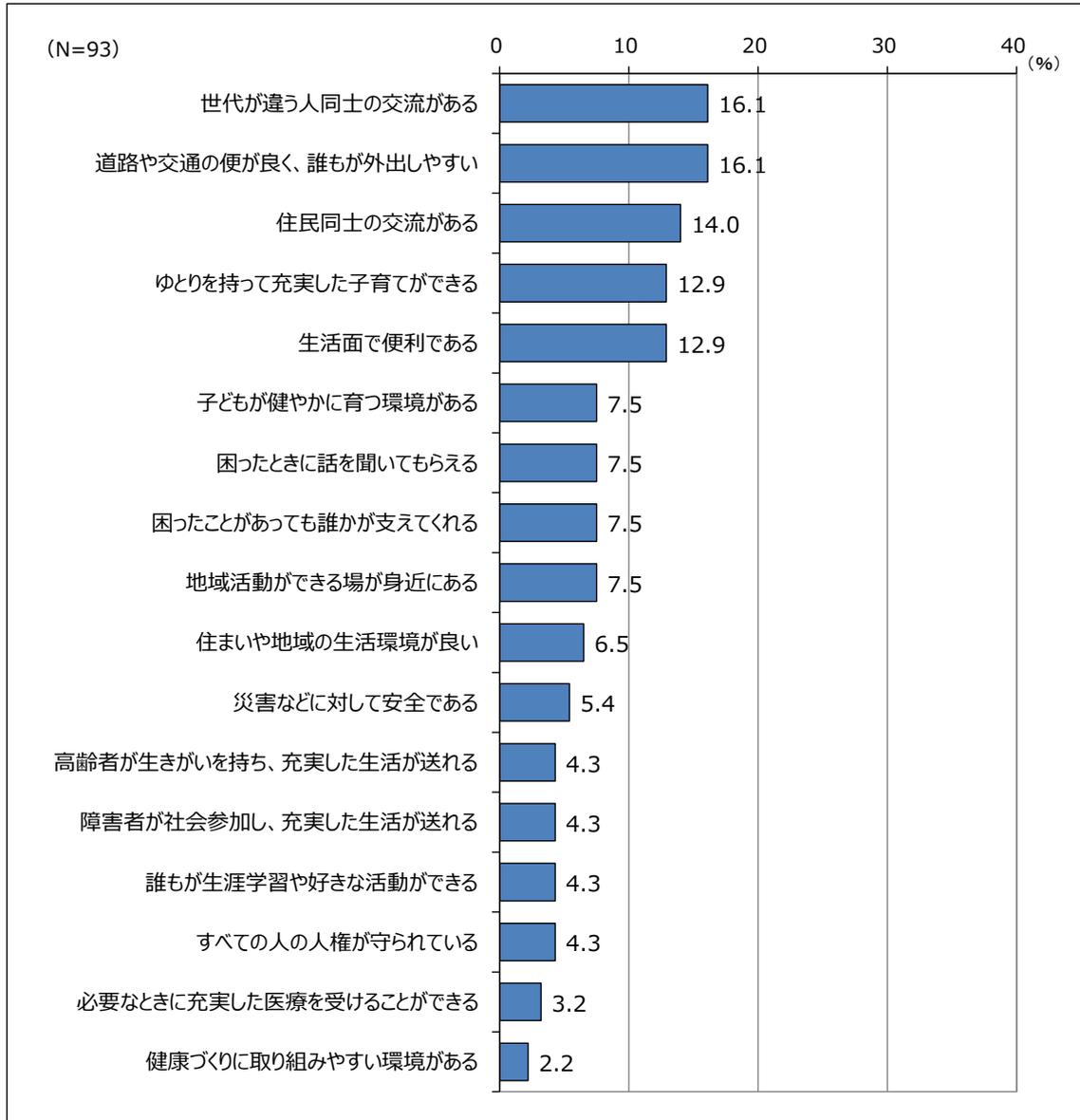
【あまり変わらない】



活動範囲（地域等）に関する環境の変化について、【悪くなった】と回答した方の中では「世代が違う人同士の交流がある」、「道路や交通の便が良く、誰もが外出しやすい」（ともに 16.1%）が最も高く、次いで「住民同士の交流がある」（14.0%）、「ゆとりを持って充実した子育てができる」、「生活面で便利である」（ともに 12.9%）などとなっています。

図表

【悪くなった】



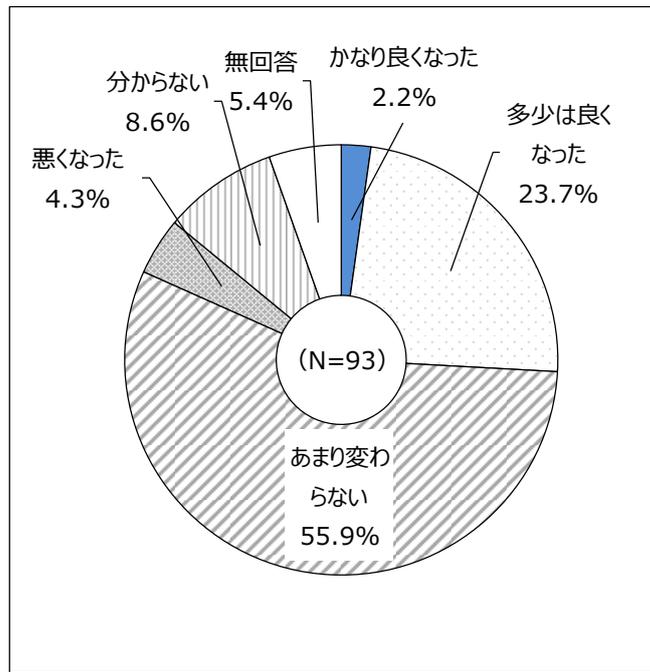
『1. 高齢者が生きがいを持ち、充実した生活が送れる』について

5年前と比べて高齢者が生きがいを持ち、充実した生活が送れるかをみると、「かなり良くなった」(2.2%)、「多少は良くなった」(23.7%)、「あまり変わらない」(55.9%)、「悪くなった」(4.3%)、「分からない」(8.6%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、西富田地区（ともに 20.0%）、「多少は良くなった」は上八万地区（57.1%）、「悪くなった」は東富田地区、津田地区（ともに 25.0%）でそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は上八万地区（57.1%）が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2)	
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない	無回答	良くなった
全体	93	2.2	23.7	55.9	4.3	8.6	5.4	25.9
地区別								
内町	5	-	-	80.0	-	20.0	-	0.0
新町	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
西富田	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
東富田	4	-	-	75.0	25.0	-	-	0.0
昭和	7	-	14.3	85.7	-	-	-	14.3
滑東	7	-	14.3	85.7	-	-	-	14.3
滑北	5	-	-	100.0	-	-	-	0.0
佐古	8	-	-	75.0	-	25.0	-	0.0
沖洲	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
津田	4	-	-	50.0	25.0	25.0	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	62.5	12.5	-	12.5	12.5
加茂	7	-	-	28.6	71.4	-	-	28.6
八万	6	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3
勝占	3	-	-	100.0	-	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	57.1	42.9	-	-	-	57.1
入田	6	-	16.7	50.0	-	33.3	-	16.7
不勤	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
川内	6	-	-	100.0	-	-	-	0.0
応神	8	-	12.5	75.0	-	12.5	-	12.5
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	25.0	75.0	-	-	-	25.0
市内全域	9	-	55.6	33.3	-	11.1	-	55.6
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	0.0
県内全域	8	-	12.5	50.0	12.5	25.0	-	12.5
県内と隣接県	2	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0
その他	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	0.0

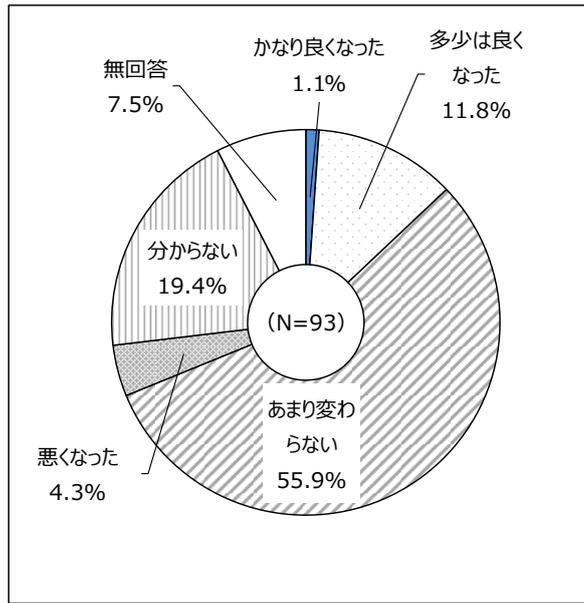
『2. 障害者が社会参加し、充実した生活が送れる』について

5年前と比べて障害者が社会参加し、充実した生活が送れるかをみると、「かなり良くなった」(1.1%)、「多少は良くなった」(11.8%)、「あまり変わらない」(55.9%)、「悪くなった」(4.3%)、「分からない」(19.4%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区(20.0%)、「多少は良くなった」は上八万地区(57.1%)、「悪くなった」は東富田地区(50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は上八万地区(57.1%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	1.1	11.8	55.9	4.3	19.4	7.5	12.9
地区別								
内町	5	-	-	60.0	20.0	20.0	-	0.0
新町	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
西富田	5	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
東富田	4	-	-	25.0	50.0	-	25.0	0.0
昭和	7	-	-	57.1	14.3	-	28.6	0.0
清東	7	-	-	71.4	14.3	-	14.3	0.0
清北	5	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
佐古	8	-	-	50.0	12.5	-	37.5	0.0
沖洲	5	-	-	40.0	-	40.0	20.0	0.0
津田	4	-	-	50.0	25.0	25.0	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	12.5
加茂	7	-	-	71.4	14.3	-	14.3	0.0
八万	6	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7	16.7
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	57.1	28.6	14.3	-	-	57.1
入田	6	-	-	83.3	-	-	16.7	0.0
不動	5	-	-	80.0	-	-	20.0	0.0
川内	6	-	-	66.7	-	16.7	16.7	0.0
応神	8	-	-	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0
国府	7	-	-	71.4	-	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
市内全域	9	-	22.2	33.3	-	44.4	-	22.2
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	0.0
県内全域	8	-	12.5	50.0	12.5	25.0	-	12.5
県内と隣接県	2	-	-	50.0	-	50.0	-	0.0
その他	4	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0

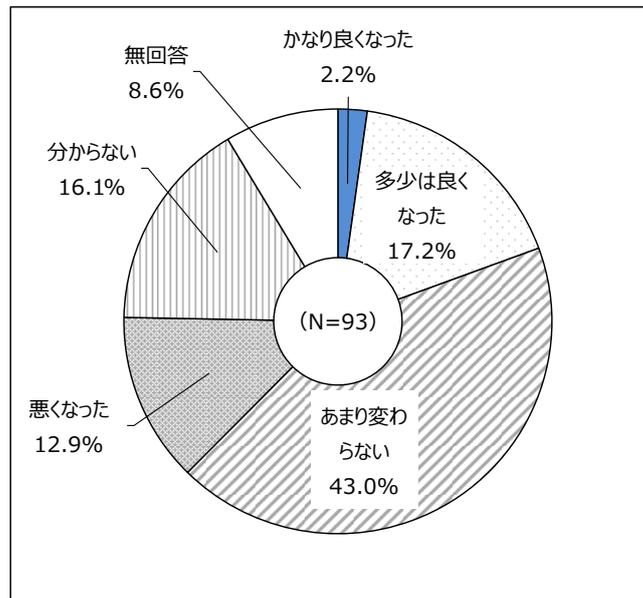
『3. ゆとりを持って充実した子育てができる』

5年前と比べてゆとりを持って充実した子育てができるかをみると、「かなり良くなった」(2.2%)、「多少は良くなった」(17.2%)、「あまり変わらない」(43.0%)、「悪くなった」(12.9%)、「分からない」(16.1%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、不動地区(ともに20.0%)、「多少は良くなった」は多家良地区、(60.0%)、「悪くなった」は東富田地区(50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は不動地区(60.0%)が最も高くなっています。

図表



	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
【表の見方】 単位=比率(%)								
全体	93	2.2	17.2	43.0	12.9	16.1	8.6	19.4
地区別								
内町	5	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0
新町	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0
西富田	5	-	-	20.0	40.0	-	40.0	0.0
東富田	4	-	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0
昭和	7	-	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3
清東	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3	28.6
清北	5	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	40.0
佐古	8	-	25.0	25.0	-	-	37.5	25.0
沖洲	5	-	40.0	40.0	-	-	20.0	40.0
津田	4	-	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0
加茂名	8	-	12.5	25.0	37.5	-	25.0	12.5
加茂	7	-	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6
八万	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
勝占	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-	28.6
入田	6	-	33.3	33.3	16.7	-	16.7	33.3
不動	5	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0
川内	6	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7	16.7
応神	8	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	12.5
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
市内全域	9	-	44.4	11.1	22.2	22.2	-	44.4
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	0.0
県内全域	8	-	25.0	25.0	-	37.5	12.5	25.0
県内と隣接県	2	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0
その他	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	0.0

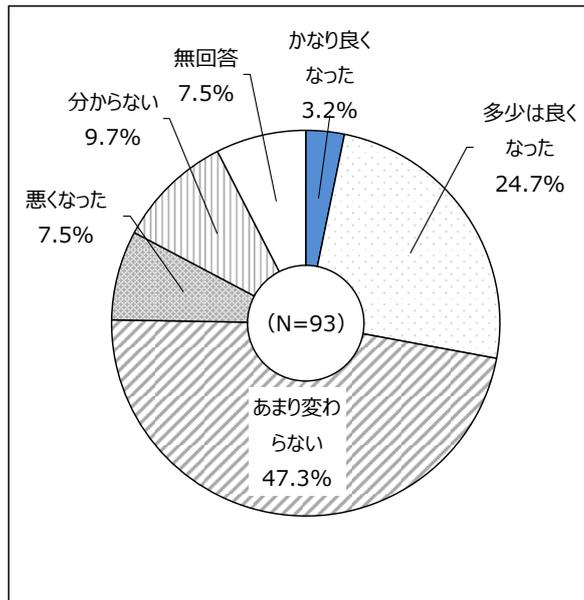
『4. 子どもが健やかに育つ環境がある』について

5年前と比べて子どもが健やかに育つ環境があるかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(24.7%)、「あまり変わらない」(47.3%)、「悪くなった」(7.5%)、「分からない」(9.7%) となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、不動地区（ともに 20.0%）、「多少は良くなった」は上八万地区（57.1%）、「悪くなった」は東富田地区（50.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は不動地区（60.0%）が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない	
全体	93	3.2	24.7	47.3	7.5	9.7	27.9
地区別							
内町	5	-	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0
新町	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0
西富田	5	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0
東富田	4	-	25.0	-	50.0	-	25.0
昭和	7	-	28.6	28.6	14.3	-	28.6
清東	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3
清北	5	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0
佐古	8	-	25.0	25.0	12.5	-	37.5
沖洲	5	-	40.0	40.0	-	-	20.0
津田	4	-	50.0	25.0	25.0	-	50.0
加茂名	8	-	12.5	37.5	25.0	-	25.0
加茂	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3
八万	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7
地区別							
藤占	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3
多家長	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0
上八万	7	-	57.1	28.6	14.3	-	57.1
入田	6	-	33.3	50.0	-	-	33.3
不動	5	20.0	40.0	20.0	-	-	60.0
川内	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7
応神	8	-	37.5	25.0	12.5	-	25.0
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0
北井上	4	-	50.0	50.0	-	-	50.0
市内全域	9	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2	44.4
市内と隣接市町村	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	25.0
県内と隣接県	2	50.0	-	-	-	50.0	50.0
その他	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0

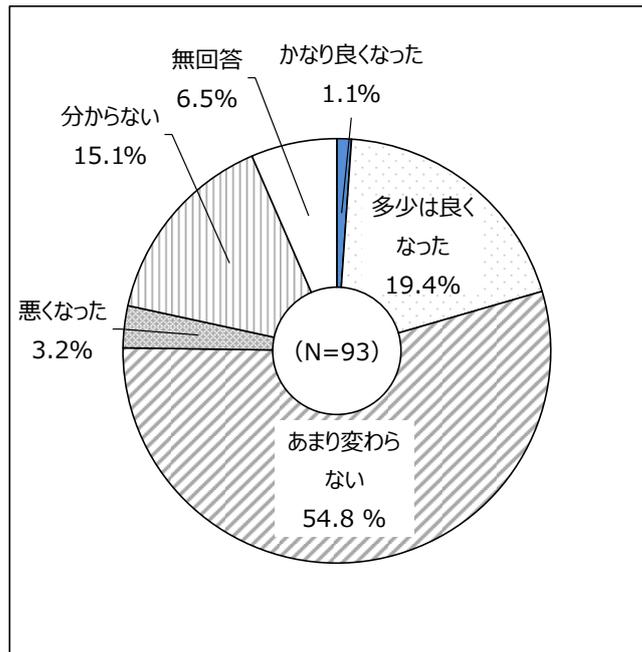
『5. 必要なときに充実した医療を受けることができる』について

5年前と比べて必要なときに充実した医療を受けることができるかをみると、「かなり良くなった」(1.1%)、「多少は良くなった」(19.4%)、「あまり変わらない」(54.8%)、「悪くなった」(3.2%)、「分からない」(15.1%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区(20.0%)、「多少は良くなった」は多家良地区(50.0%)、「悪くなった」は八万地区(16.7%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は多家良地区(50.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	1.1	19.4	54.8	3.2	15.1	6.5	20.5
地区別								
内町	5	-	20.0	60.0	-	20.0	-	20.0
新町	5	20.0	-	40.0	-	20.0	20.0	20.0
西富田	5	-	-	40.0	-	20.0	40.0	0.0
東富田	4	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0
昭和	7	-	14.3	71.4	-	-	14.3	14.3
清東	7	-	14.3	71.4	-	-	14.3	14.3
清北	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
佐古	8	-	-	50.0	-	12.5	37.5	0.0
沖洲	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
津田	4	-	-	75.0	-	25.0	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	62.5	-	-	25.0	12.5
加茂	7	-	-	85.7	-	-	14.3	0.0
八万	6	-	-	66.7	16.7	-	16.7	0.0
地区別								
膳占	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	42.9	42.9	-	14.3	-	42.9
入田	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
不動	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
川内	6	-	-	83.3	-	-	16.7	0.0
応神	8	-	-	75.0	-	-	25.0	0.0
国府	7	-	-	71.4	-	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
市内全域	9	-	33.3	22.2	11.1	33.3	-	33.3
市内と隣接市町村	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	-	-	50.0	12.5	37.5	-	0.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	-	50.0	-	0.0
その他	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	0.0

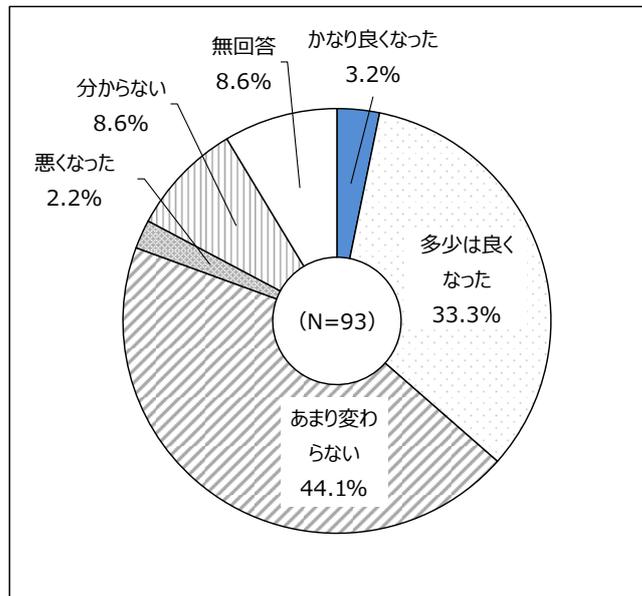
『6. 健康づくりに取り組みやすい環境がある』について

5年前と比べて健康づくりに取り組みやすい環境があるかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(33.3%)、「あまり変わらない」(44.1%)、「悪くなった」(2.2%)、「分からない」(8.6%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は北井上地区(25.0%)、「多少は良くなった」は入田地区、市内全域(ともに66.7%)、「悪くなった」は東富田地区(25.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は北井上地区、(75.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2)	
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		無回答
全体	93	3.2	33.3	44.1	2.2	8.6	8.6	36.5
地区別								
内町	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
新町	5	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0
西富田	5	-	-	60.0	-	-	40.0	0.0
東富田	4	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0
昭和	7	-	57.1	14.3	-	-	28.6	57.1
清東	7	-	42.9	42.9	-	-	14.3	42.9
滑北	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
佐古	8	-	37.5	25.0	-	-	37.5	37.5
沖洲	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
津田	4	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
加茂名	8	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0
加茂	7	-	57.1	28.6	-	-	14.3	57.1
八万	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
勝占	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	57.1	42.9	-	-	-	57.1
入田	6	-	66.7	16.7	-	-	16.7	66.7
不動	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
川内	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
応神	8	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0
国府	7	-	28.6	28.6	-	14.3	28.6	28.6
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	75.0
市内全域	9	-	66.7	11.1	-	22.2	-	66.7
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	0.0
県内全域	8	-	25.0	37.5	12.5	25.0	-	25.0
県内と隣接県	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
その他	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0	25.0

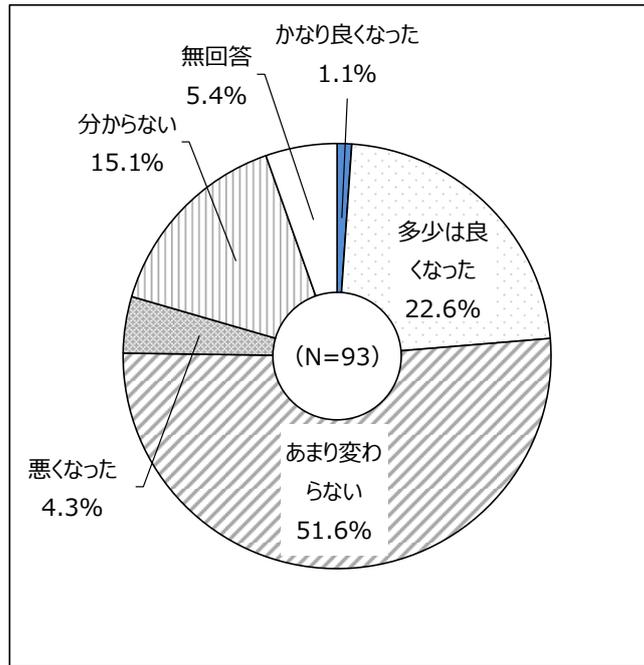
『7. 誰もが生涯学習や好きな活動ができる』について

5年前と比べて誰もが生涯学習や好きな活動ができるかをみると、「かなり良くなった」(1.1%)、「多少は良くなった」(22.6%)、「あまり変わらない」(51.6%)、「悪くなった」(4.3%)、「分からない」(15.1%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区(20.0%)、「多少は良くなった」は津田地区(75.0%)、「悪くなった」は西富田地区、北井上地区(ともに25.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は津田地区(75.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	1.1	22.6	51.6	4.3	15.1	5.4	23.7
地区別								
内町	5	-	-	100.0	-	-	-	0.0
新町	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
西富田	5	-	-	80.0	-	-	20.0	0.0
東富田	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
昭和	7	-	42.9	57.1	-	-	-	42.9
清東	7	-	28.6	71.4	-	-	-	28.6
滑北	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
佐古	8	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0
沖洲	5	-	20.0	40.0	-	40.0	-	20.0
津田	4	-	75.0	-	-	25.0	-	75.0
加茂名	8	-	37.5	50.0	-	-	12.5	37.5
加茂	7	-	14.3	85.7	-	-	-	14.3
八万	6	-	33.3	50.0	-	16.7	-	33.3
勝占	3	-	-	100.0	-	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	28.6	57.1	-	14.3	-	28.6
入田	6	-	50.0	33.3	-	-	16.7	50.0
不動	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
川内	6	-	16.7	83.3	-	-	-	16.7
応神	8	-	12.5	75.0	-	-	12.5	12.5
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0
市内全域	9	-	33.3	22.2	11.1	33.3	-	33.3
市内と隣接市町村	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	-	25.0	37.5	12.5	25.0	-	25.0
県内と隣接県	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
その他	4	-	-	25.0	-	50.0	25.0	0.0

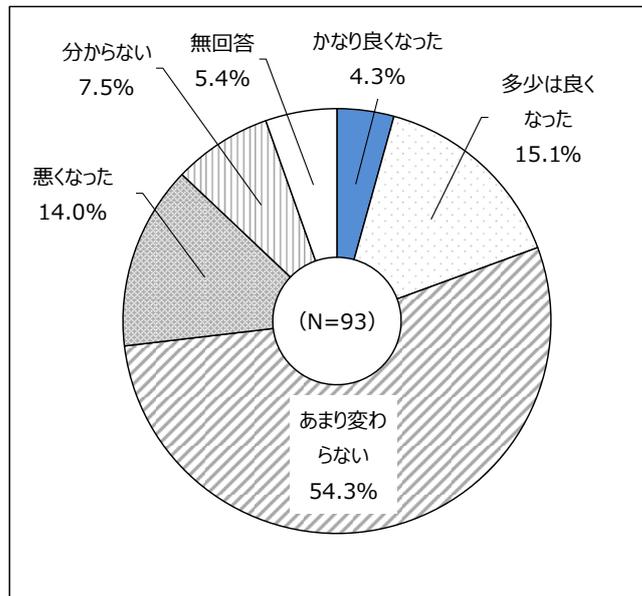
『8. 住民同士の交流がある』について

5年前と比べて住民同士の交流があるかをみると、「かなり良くなった」(4.3%)、「多少は良くなった」(15.1%)、「あまり変わらない」(54.3%)、「悪くなった」(14.0%)、「分からない」(7.5%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、西富田地区、不動地区(いずれも20.0%)、「多少は良くなった」は多家良地区(50.0%)、「悪くなった」は勝占地区、川内地区、市内と隣接市町(いずれも33.3%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は新町地区、不動地区(ともに60.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	4.3	15.1	53.8	14.0	7.5	5.4	19.4
地区別								
内町	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
新町	5	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0
西富田	5	20.0	-	60.0	-	-	20.0	20.0
東富田	4	-	-	50.0	25.0	-	25.0	0.0
昭和	7	-	-	71.4	-	-	28.6	0.0
清東	7	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	14.3
清北	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
佐古	8	-	12.5	50.0	-	-	37.5	12.5
沖洲	5	-	-	80.0	-	-	20.0	0.0
津田	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
加茂名	8	-	-	62.5	12.5	-	25.0	0.0
加茂	7	-	28.6	57.1	-	-	14.3	28.6
八万	6	-	-	66.7	16.7	-	16.7	0.0
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	42.9	57.1	-	-	-	42.9
入田	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	16.7
不動	5	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0
川内	6	-	-	50.0	33.3	-	16.7	0.0
応神	8	-	-	75.0	-	-	25.0	0.0
国府	7	-	-	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
市内全域	9	-	22.2	55.6	11.1	11.1	-	22.2
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	0.0
県内全域	8	-	12.5	37.5	25.0	25.0	-	12.5
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	-	-	25.0	50.0	-	25.0

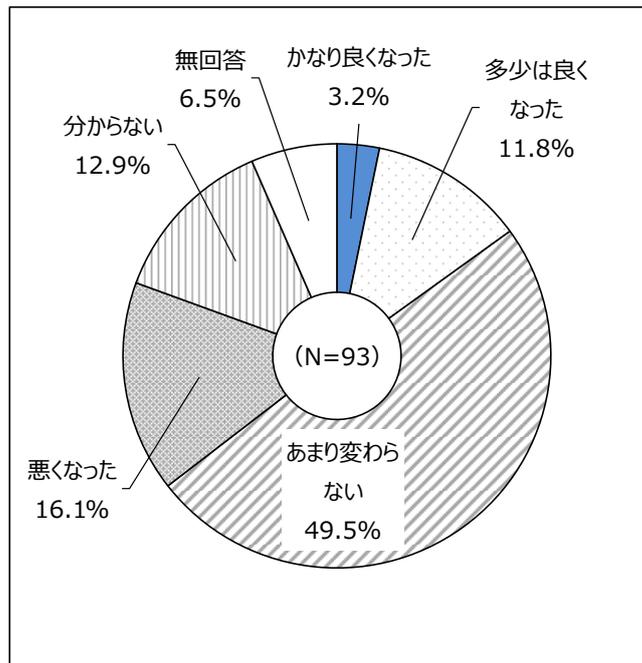
『9. 世代が違う人同士の交流がある』について

5年前と比べて世代が違う人同士の交流があるかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(11.8%)、「あまり変わらない」(49.5%)、「悪くなった」(16.1%)、「分からない」(12.9%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、不動地区（ともに 20.0%）、「多少は良くなった」は多家良地区（50.0%）、「悪くなった」は東富田地区（50.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は多家良地区（50.0%）が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位＝比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2)	
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		無回答
全体	93	3.2	11.8	49.5	16.1	12.9	6.5	15.0
地区別								
内町	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0
新町	5	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0
西富田	5	-	-	20.0	40.0	-	40.0	0.0
東富田	4	-	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0
昭和	7	-	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3
清東	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3	28.6
滑北	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
佐古	8	-	12.5	37.5	12.5	-	37.5	12.5
沖洲	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
津田	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
加茂名	8	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	12.5
加茂	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3	28.6
八万	6	-	16.7	50.0	16.7	-	16.7	16.7
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
上八万	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-	28.6
入田	6	-	33.3	33.3	16.7	-	16.7	33.3
不動	5	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0	40.0
川内	6	-	16.7	33.3	33.3	-	16.7	16.7
応神	8	-	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5
国府	7	-	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
市内全域	9	-	22.2	44.4	11.1	22.2	-	22.2
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	0.0
県内全域	8	-	37.5	25.0	12.5	25.0	-	37.5
県内と隣接県	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
その他	4	25.0	-	-	25.0	50.0	-	25.0

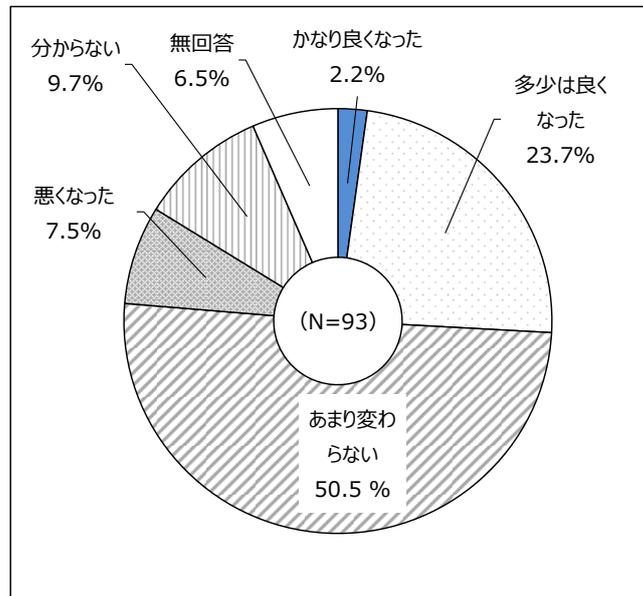
『10. 困ったときに話を聞いてもらえる』について

5年前と比べて困ったときに話を聞いてもらえるかをみると、「かなり良くなった」(2.2%)、「多少は良くなった」(23.7%)、「あまり変わらない」(50.5%)、「悪くなった」(7.5%)、「分からない」(9.7%) となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区(20.0%)、「多少は良くなった」は不動地区(60.0%)、「悪くなった」は勝占地区、市内と隣接市町(ともに33.3%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は不動地区(60.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	2.2	23.7	50.5	7.5	9.7	6.5	25.9
地区別								
内町	5	-	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0
新町	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	40.0
西富田	5	-	-	40.0	20.0	-	40.0	0.0
東富田	4	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
昭和	7	-	14.3	42.9	14.3	-	28.6	14.3
清東	7	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	14.3
清北	5	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0
佐古	8	-	-	50.0	12.5	-	37.5	0.0
沖洲	5	-	20.0	60.0	-	-	20.0	20.0
津田	4	-	-	75.0	-	25.0	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	37.5	25.0	-	25.0	12.5
加茂	7	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	14.3
八万	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	-	100.0	-	-	-	0.0
上八万	7	-	42.9	28.6	28.6	-	-	42.9
入田	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	33.3
不動	5	-	60.0	20.0	-	-	20.0	60.0
川内	6	-	-	83.3	-	-	16.7	0.0
応神	8	-	-	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0
国府	7	-	-	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
市内全域	9	-	44.4	33.3	11.1	11.1	-	44.4
市内と隣接市町村	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	0.0
県内全域	8	-	37.5	37.5	12.5	12.5	-	37.5
県内と隣接県	2	-	-	100.0	-	-	-	0.0
その他	4	25.0	25.0	-	-	50.0	-	50.0

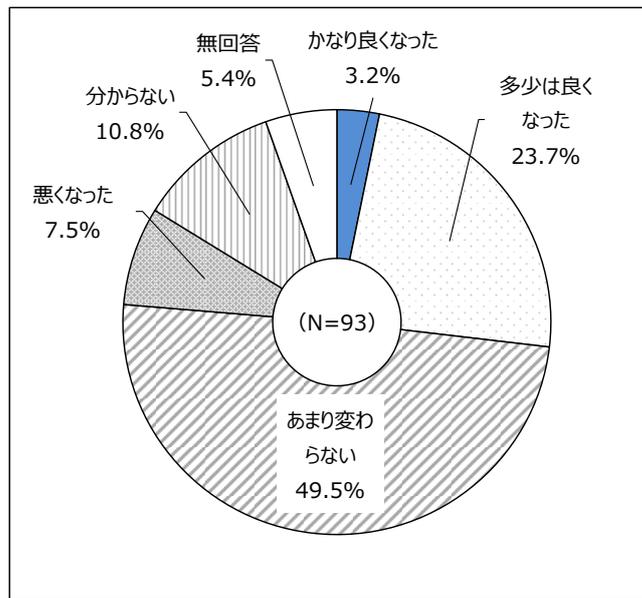
『11. 困ったことがあっても誰かが支えてくれる』について

5年前と比べて困ったことがあっても誰かが支えてくれるかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(23.7%)、「あまり変わらない」(49.5%)、「悪くなった」(7.5%)、「わからない」(10.8%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、西富田地区（ともに20.0%）、「多少は良くなった」は上八万地区（85.7%）、「悪くなった」は加茂名地区（37.5%）がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は上八万地区（85.7%）が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	わからない		
全体	93	3.2	23.7	49.5	7.5	10.8	5.4	26.9
内町	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0
新町	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	40.0
西富田	5	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0
東富田	4	-	50.0	-	25.0	-	25.0	50.0
昭和	7	-	28.6	28.6	14.3	-	28.6	28.6
清東	7	-	42.9	28.6	14.3	-	14.3	42.9
清北	5	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0
佐古	8	-	25.0	25.0	12.5	-	37.5	25.0
沖洲	5	-	60.0	20.0	-	-	20.0	60.0
津田	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0
加茂名	8	-	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5
加茂	7	-	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3
八万	6	-	50.0	33.3	-	-	16.7	50.0
地区別								
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	-	100.0	-	-	-	0.0
上八万	7	-	85.7	-	14.3	-	-	85.7
入田	6	-	50.0	33.3	-	-	16.7	50.0
不動	5	-	60.0	20.0	-	-	20.0	60.0
川内	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	16.7
応神	8	-	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	-	25.0	75.0	-	-	-	25.0
市内全域	9	-	22.2	55.6	11.1	11.1	-	22.2
市内と隣接市町村	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3
県内全域	8	-	25.0	37.5	25.0	12.5	-	25.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	25.0	-	-	50.0	-	50.0

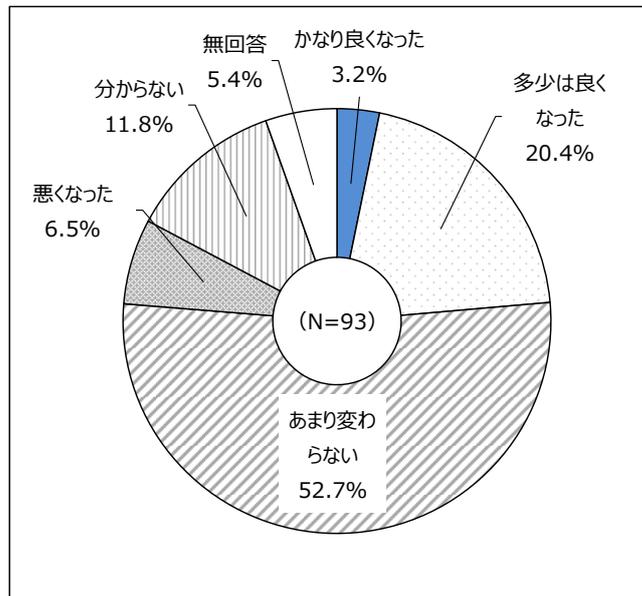
『12. 住まいや地域の生活環境が良い』について

5年前と比べて住まいや地域の生活環境が良いかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(20.4%)、「あまり変わらない」(52.7%)、「悪くなった」(6.5%)、「分からない」(11.8%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」市内と隣接市町村(33.3%)、「多少は良くなった」は昭和地区(57.1%)、「悪くなった」は津田地区、多家良地区、川内地区、北井上地区(いずれも50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は昭和地区(57.1%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	3.2	19.4	53.8	16.1	4.3	3.2	22.6
地区別								
内町	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
新町	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
西富田	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
東富田	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0
昭和	7	-	57.1	14.3	28.6	-	-	57.1
清東	7	-	28.6	57.1	14.3	-	-	28.6
滑北	5	-	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0
佐古	8	-	25.0	37.5	12.5	-	25.0	25.0
沖洲	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0
津田	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	37.5	37.5	-	12.5	12.5
加茂	7	-	28.6	57.1	14.3	-	-	28.6
八万	6	-	33.3	50.0	16.7	-	-	33.3
勝占	3	-	-	100.0	-	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0
上八万	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-	28.6
入田	6	-	-	66.7	16.7	-	16.7	0.0
不動	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
川内	6	-	16.7	33.3	50.0	-	-	16.7
応神	8	-	25.0	37.5	25.0	-	12.5	25.0
国府	7	-	-	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-	0.0
北井上	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
市内全域	9	-	22.2	55.6	22.2	-	-	22.2
市内と隣接市町村	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3
県内全域	8	-	-	62.5	25.0	12.5	-	0.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	-	50.0	-	25.0	-	25.0

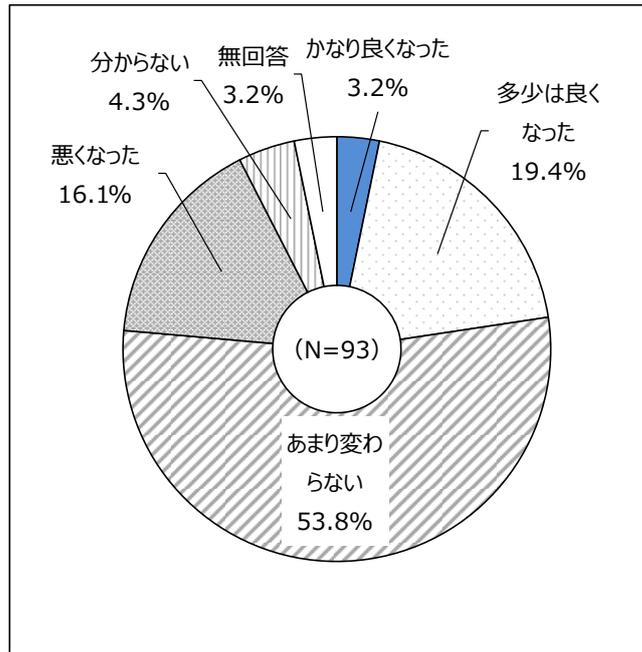
『13. 道路や交通の便が良く、誰もが外出しやすい』について

5年前と比べて道路や交通の便が良く、誰もが外出しやすいかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(19.4%)、「あまり変わらない」(53.8%)、「悪くなった」(16.1%)、「分からない」(4.3%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は「市内と隣接県」(33.3%)、「多少は良くなった」は昭和地区(57.1%)、「悪くなった」は津田地区、多家良地区、川内地区、北井上地区(いずれも50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は昭和地区(57.1%)が最も高くなっています。

図表



	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
【表の見方】 単位=比率(%)								
全体	93	3.2	19.4	53.8	16.1	4.3	3.2	22.6
地区別								
内町	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
新町	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
西富田	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
東富田	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0
昭和	7	-	57.1	14.3	28.6	-	-	57.1
清東	7	-	28.6	57.1	14.3	-	-	28.6
清北	5	-	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0
佐古	8	-	25.0	37.5	12.5	-	25.0	25.0
沖洲	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0
津田	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	37.5	37.5	-	12.5	12.5
加茂	7	-	28.6	57.1	14.3	-	-	28.6
八万	6	-	33.3	50.0	16.7	-	-	33.3
勝占	3	-	-	100.0	-	-	-	0.0
多家良	2	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0
上八万	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-	28.6
入田	6	-	-	66.7	16.7	-	16.7	0.0
不動	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
川内	6	-	16.7	33.3	50.0	-	-	16.7
応神	8	-	25.0	37.5	25.0	-	12.5	25.0
国府	7	-	42.9	28.6	14.3	14.3	-	0.0
南井上	5	-	-	40.0	20.0	20.0	-	0.0
北井上	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
市内全域	9	-	22.2	55.6	22.2	-	-	22.2
市内と隣接市町村	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3
県内全域	8	-	-	62.5	25.0	12.5	-	0.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	-	50.0	-	25.0	-	25.0

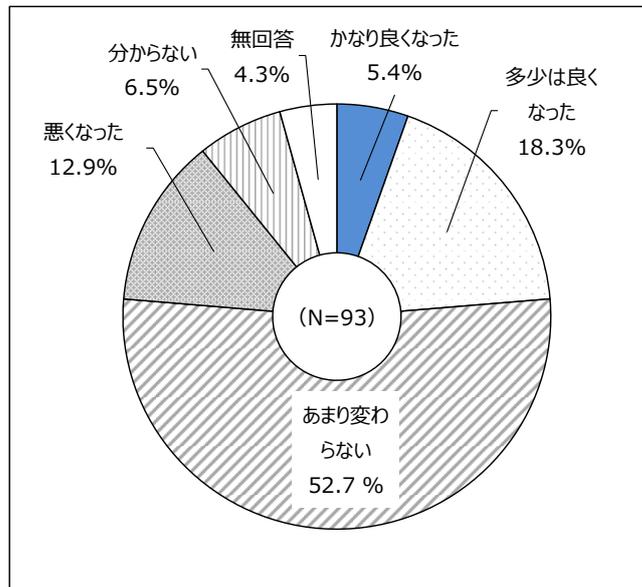
『14. 生活面で便利である』について

5年前と比べて生活面で便利であるかをみると、「かなり良くなった」(5.4%)、「多少は良くなった」(18.3%)、「あまり変わらない」(52.7%)、「悪くなった」(12.9%)、「分からない」(6.5%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は市内と隣接市町(33.3%)、「多少は良くなった」は沖洲地区(60.0%)、「悪くなった」は津田地区、多家良地区、北井上地区(いずれも50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は沖洲地区(60.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	5.4	18.3	52.7	12.9	6.5	4.3	23.7
地区別								
内町	5	-	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0
新町	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
西富田	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
東富田	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0
昭和	7	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-	42.9
清東	7	-	28.6	57.1	14.3	-	-	28.6
清北	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0
佐古	8	-	25.0	37.5	12.5	-	25.0	25.0
沖洲	5	-	60.0	20.0	20.0	-	-	60.0
津田	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	62.5	12.5	-	12.5	12.5
加茂	7	-	42.9	42.9	14.3	-	-	42.9
八万	6	-	33.3	50.0	16.7	-	-	33.3
地区別								
勝占	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3
多家良	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
上八万	7	-	-	71.4	28.6	-	-	0.0
入田	6	-	-	50.0	33.3	-	16.7	0.0
不動	5	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
川内	6	-	16.7	50.0	33.3	-	-	16.7
応神	8	-	25.0	37.5	25.0	-	12.5	25.0
国府	7	-	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
市内全域	9	-	22.2	44.4	11.1	22.2	-	22.2
市内と隣接市町村	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	-	-	62.5	25.0	12.5	-	0.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0

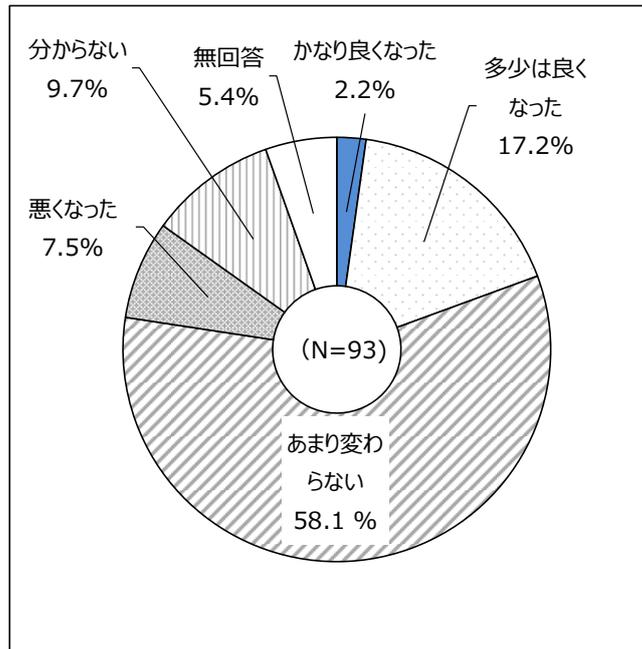
『15. 地域活動ができる場が身近にある』について

5年前と比べて地域活動ができる場が身近にあるかをみると、「かなり良くなった」(2.2%)、「多少は良くなった」(17.2%)、「あまり変わらない」(58.1%)、「悪くなった」(7.5%)、「分からない」(9.7%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区(20.0%)、「多少は良くなった」は渭東地区(57.1%)、「悪くなった」は東富田地区、加茂名地区、北井上地区(ともに25.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は新町地区(60.0%)が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	2.2	17.2	58.1	7.5	9.7	5.4	19.4
内町	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
新町	5	20.0	40.0	40.0	-	-	-	60.0
西富田	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
東富田	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
昭和	7	-	42.9	42.9	14.3	-	-	42.9
渭東	7	-	57.1	42.9	-	-	-	57.1
渭北	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
佐古	8	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0
沖洲	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
津田	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5
加茂	7	-	28.6	57.1	-	14.3	-	28.6
八万	6	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
地区別	3	-	-	100.0	-	-	-	0.0
多家良	2	-	-	100.0	-	-	-	0.0
上八万	7	-	28.6	57.1	-	14.3	-	28.6
入田	6	-	33.3	50.0	-	16.7	-	33.3
不動	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
川内	6	-	16.7	83.3	-	-	-	16.7
応神	8	-	12.5	75.0	-	12.5	-	12.5
国府	7	-	-	71.4	-	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	75.0	25.0	-	-	0.0
市内全域	9	-	33.3	44.4	-	22.2	-	33.3
市内と隣接市町村	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	-	12.5	50.0	25.0	12.5	-	12.5
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0	25.0

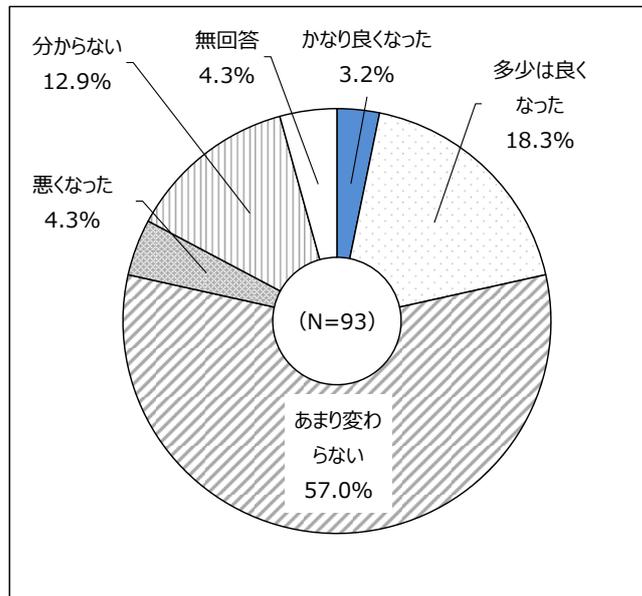
『16. すべての人の人権が守られている』について

5年前と比べてすべての人の人権が守られているかをみると、「かなり良くなった」(3.2%)、「多少は良くなった」(18.3%)、「あまり変わらない」(57.0%)、「悪くなった」(4.3%)、「分からない」(12.9%)となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、不動地区（ともに 20.0%）、「多少は良くなった」は上八万地区（42.9%）、「悪くなった」は勝占地区（33.3%）がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は不動地区（60.0%）が最も高くなっています。

図表



【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2) 良くなった
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	3.2	18.3	57.0	4.3	12.9	4.3	21.5
地区別								
内町	5	-	-	80.0	20.0	-	-	0.0
新町	5	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0
西富田	5	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0
東富田	4	-	-	50.0	25.0	-	25.0	0.0
昭和	7	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	14.3
清東	7	-	-	71.4	14.3	-	14.3	0.0
清北	5	-	-	60.0	20.0	-	20.0	0.0
佐古	8	-	-	50.0	12.5	-	37.5	0.0
沖洲	5	-	-	40.0	-	40.0	20.0	0.0
津田	4	-	-	-	-	25.0	-	0.0
加茂名	8	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	12.5
加茂	7	-	-	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
八万	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	16.7
勝占	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3
多家良	2	-	-	100.0	-	-	-	0.0
上八万	7	-	42.9	28.6	14.3	14.3	-	42.9
入田	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	16.7
不動	5	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0
川内	6	-	-	66.7	-	16.7	16.7	0.0
応神	8	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	12.5
国府	7	-	-	71.4	-	14.3	14.3	0.0
南井上	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	0.0
北井上	4	-	-	100.0	-	-	-	0.0
市内全域	9	-	33.3	33.3	11.1	22.2	-	33.3
市内と隣接市町村	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3
県内全域	8	-	25.0	37.5	25.0	12.5	-	25.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	50.0

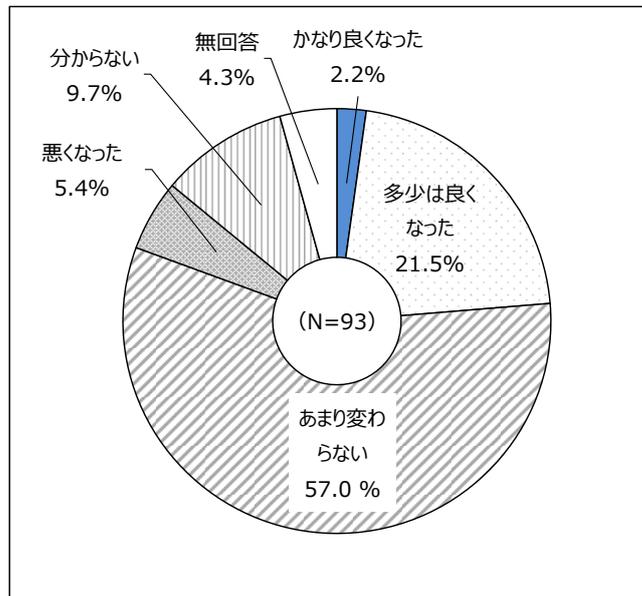
『17. 災害などに対して安全である』について

5年前と比べて災害などに対して安全であるかをみると、「かなり良くなった」(2.2%)、「多少は良くなった」(21.5%)、「あまり変わらない」(57.0%)、「悪くなった」(5.4%)、「分からない」(9.7%) となっています。

活動地区別にみると、「かなり良くなった」は新町地区、不動地区（ともに 20.0%）、「多少は良くなった」は川内地区（50.0%）、「悪くなった」は多家良地区（50.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合わせた【良くなった】は不動地区（60.0%）が最も高くなっています。

図表



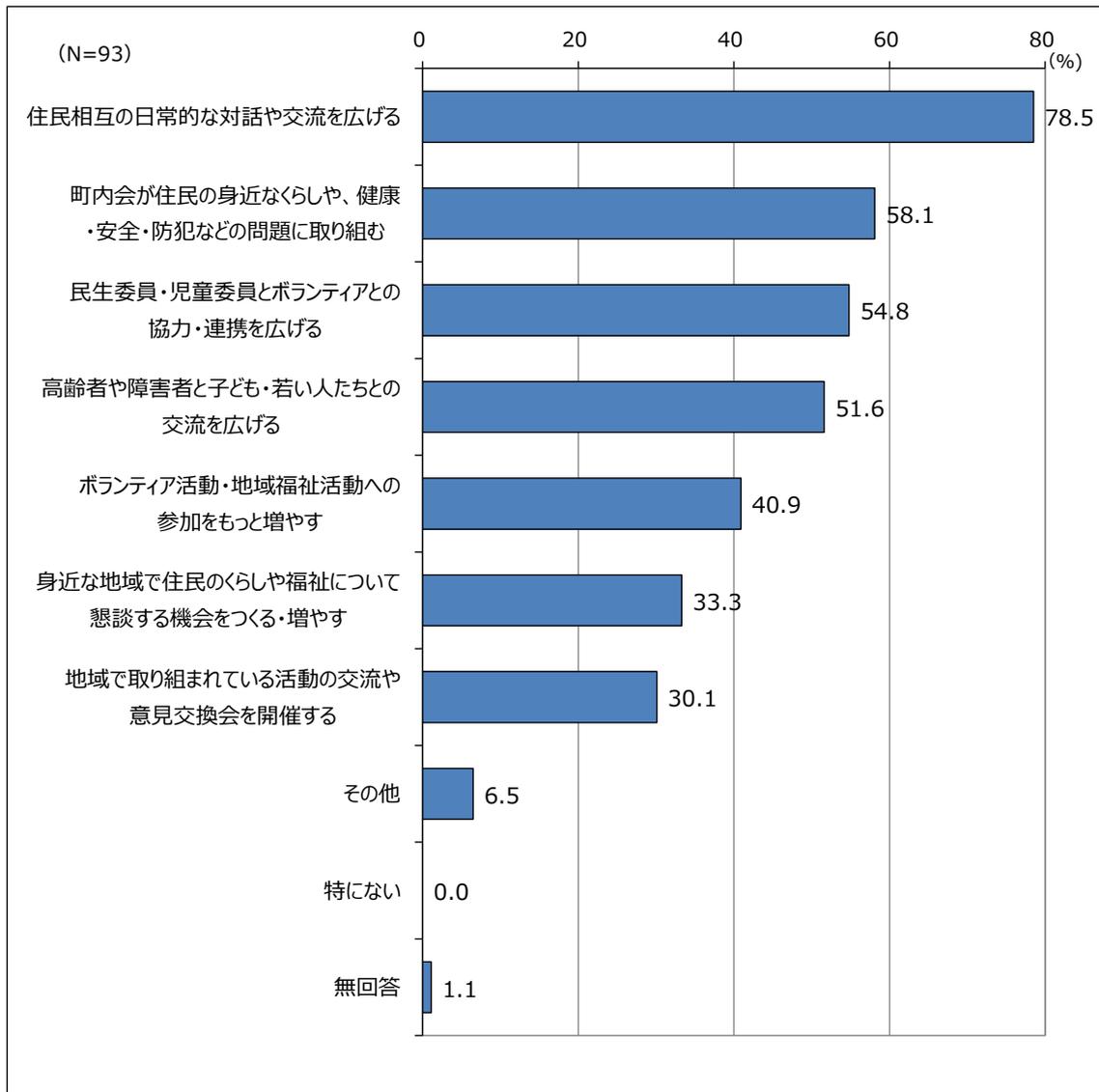
【表の見方】 単位=比率(%)	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)
		かなり良くなった	多少は良くなった	あまり変わらない	悪くなった	分からない		
全体	93	2.2	21.5	57.0	5.4	9.7	4.3	23.7
地区別								
内町	5	-	20.0	60.0	-	20.0	-	20.0
新町	5	20.0	-	80.0	-	-	-	20.0
西富田	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
東富田	4	-	25.0	75.0	-	-	-	25.0
昭和	7	-	28.6	57.1	-	-	14.3	28.6
清東	7	-	14.3	85.7	-	-	-	14.3
清北	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
佐古	8	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0
沖洲	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0
津田	4	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0
加茂名	8	-	25.0	50.0	12.5	-	12.5	25.0
加茂	7	-	42.9	57.1	-	-	-	42.9
八万	6	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3
地区別								
勝占	3	-	-	66.7	33.3	-	-	0.0
多家良	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
上八万	7	-	42.9	57.1	-	-	-	42.9
入田	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	16.7
不動	5	20.0	40.0	40.0	-	-	-	60.0
川内	6	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
応神	8	-	25.0	62.5	-	-	12.5	25.0
国府	7	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	14.3
南井上	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0
北井上	4	-	25.0	75.0	-	-	-	25.0
市内全域	9	-	22.2	44.4	11.1	22.2	-	22.2
市内と隣接市町村	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3
県内全域	8	-	25.0	37.5	25.0	12.5	-	25.0
県内と隣接県	2	-	-	50.0	50.0	-	-	0.0
その他	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0

問14 住民が取り組むべきこと

問14 「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現」を目指す上で、住民が取り組むべきことは何だと思いませんか。【あてはまるものすべてに○】

「住民相互の日常的な対話や交流を広げる」(78.5%) が最も高く、次いで「町内会が住民の身近なくらしや、健康・安全・防犯などの問題に取り組む」(58.1%)、「民生委員・児童委員とボランティアとの協力・連携を広げる」(54.8%) などとなっています。

図表

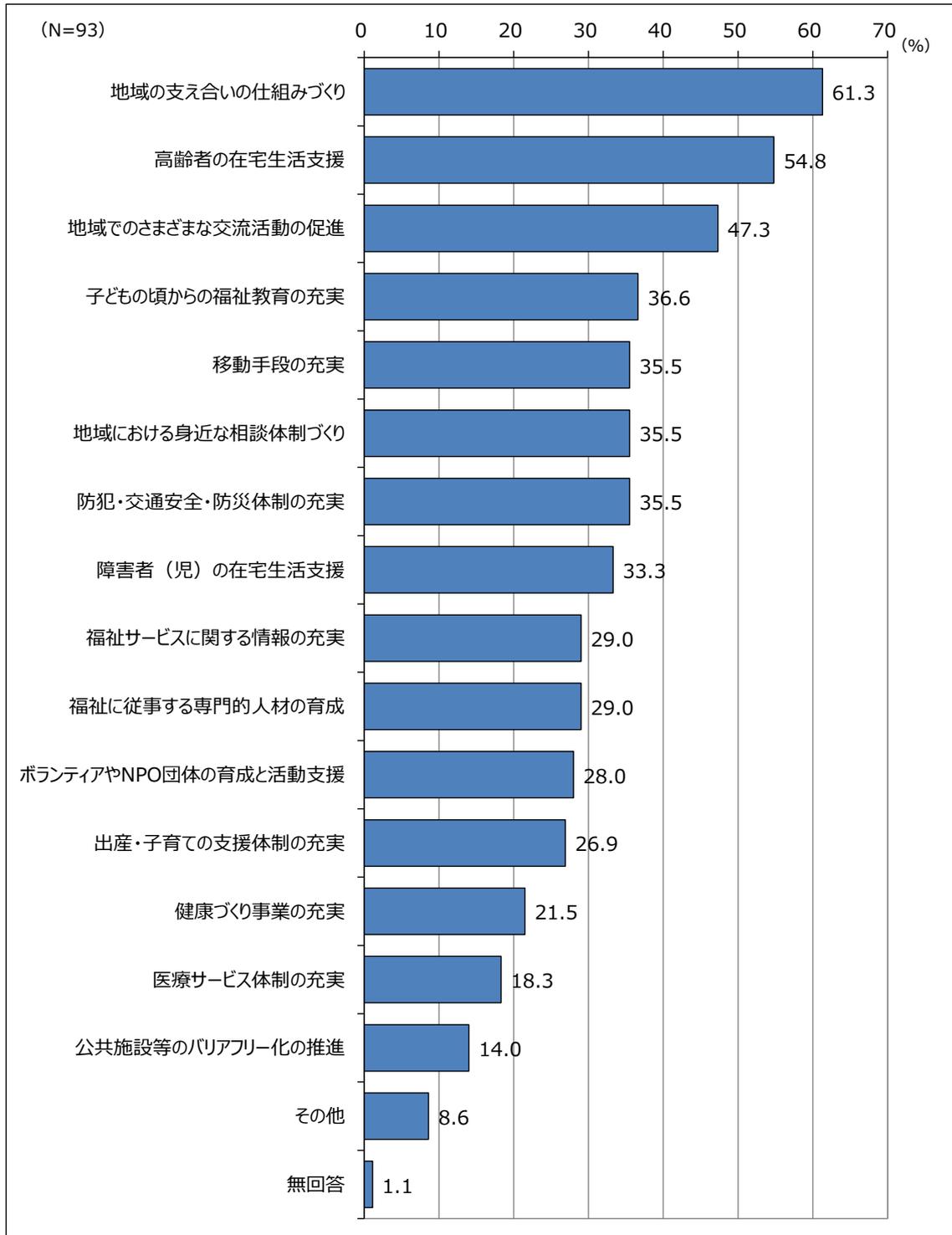


問15 福祉施策を充実するために必要な取り組み

問15 徳島市の福祉施策をより充実していくために、貴団体が重要と考える取組みはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

「地域の支え合いの仕組みづくり」(61.3%)が最も高く、次いで「高齢者の在宅生活支援」(54.8%)、「地域でのさまざまな交流活動の促進」(47.3%)、などとなっています。

図表



5. 地域共生社会の実現に向けて

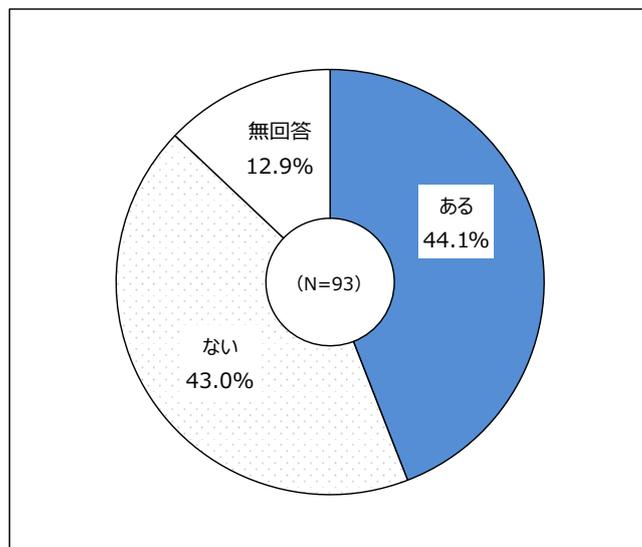
問16 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて

問16 貴団体では、地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的な支え合いや助け合いに関して協力していることはありますか。【どちらかに○】

「ある」(44.1%) が最も高く、次いで「ない」(43.0%) となっています。

福祉分野別にみると、「ある」と回答した方の中では「芸術・文化振興」(81.8%) が最も高く、次いで「趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導」(70.0%)、「地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル」(58.3%) などとなっています。一方で、「消防・防災・災害支援」、「男女共同参画推進・人権問題」、「その他」では「ない」が「ある」を上回っています。

図表



	回答数 (人)	(1)	(2)	無回答	
		ある	ない		
【表の見方】 単位=比率(%)					
全体	93	44.1	43.0	12.9	
福祉分野別	高齢者支援	64	48.4	40.6	10.9
	障害者支援	46	47.8	39.1	13.0
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	57.1	33.3	9.5
	低所得者支援	26	53.8	34.6	11.5
	消費者問題	6	50.0	33.3	16.7
	健康づくり・医療	20	55.0	35.0	10.0
	消防・防災・災害支援	37	40.5	43.2	16.2
	交通安全・防犯	22	50.0	36.4	13.6
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	58.3	33.3	8.3
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	70.0	30.0	-
	青少年育成・支援	23	56.5	34.8	8.7
	国際交流・国際協力	6	50.0	50.0	-
	まちづくり	21	57.1	33.3	9.5
	芸術・文化振興	11	81.8	9.1	9.1
	男女共同参画推進・人権問題	25	44.0	48.0	8.0
その他	6	16.7	66.7	16.7	

問16-1 協力状況や課題の内容

問16-1 その協力状況や課題(協力に至っていない理由を含む)について、具体的に記入してください。

61件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【(協力したことが) ある 36件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	町内会連合会との意見交換。
ボランティア団体	少しでも不審なことを感じるとコミセンに連絡し、見回りをしてもらう。
ボランティア団体	代表や会員がいる町会長の活動。民生委員との連携が素晴らしく、住み続けたいと思える。60年以上の付き合いのある高齢者の協力が大きい。
NPO団体	高齢者が集まる場を提供しているが、仲間作りができて体調等気になげながらお互いがちょっとした声掛けなどで支え合っていると思います。
NPO団体	子育て家庭へ無料でお弁当や食材を届けている。住民ボランティアの力を頂いて実施している。子ども食堂も毎回開催している。
NPO団体	私たちの施設の周りに1人暮らしの方(60代、80代、90代)が3名おられます。毎日来て下さる方(ボランティアで朝の準備や終わりの清掃をしてくださる)や週に3回程度来て下さる方もおられます。ご近所の方にも様子をお伝えしたり、スタッフと共に「何かあったらいつでも来てくださいね。」「いつでも頼ってください。」とお伝えしています。※スタッフ(代表)の電話番号をお伝えしている人もいます。
NPO団体	自治会・民生委員と連絡をとり、独居の高齢者や障害者の生活で不都合さや困難者への相談や、又、専門的なものや必要な時は他職種への連絡等させて頂いている。
民生委員児童委員協議会	一人暮らしの高齢者を近隣の人に見守りをお願いすると協力してくれる。
民生委員児童委員協議会	公民館コミュニティ協議会が実施する会議や研修会に参加するとともに地域の人々に周知する役割。
民生委員児童委員協議会	町内会組織が機能していない。
民生委員児童委員協議会	地区に年数回カフェ「西富田カフェ」講師の方のお話を聞きながら、おしゃべりしながら茶菓子を頂きます。地元の方に手芸を教えてもらう時もあり、生き生きしております。コロナ禍でお菓子は持ち帰りです。
民生委員児童委員協議会	地域の者が集まれるスペースの運営に協力している。※地元コミュニティの運営するカフェ。
民生委員児童委員協議会	高齢者の見回りしたり相談を受けたり。
民生委員児童委員協議会	高齢化と共に認知症の人が多くなっているので住民同士問題を起こさない様に民生委員として気をつけている。
民生委員児童委員協議会	年3回の一人暮らし高齢者との食事会で地域の方々とのコミュニケーションを図っている。
民生委員児童委員協議会	多家良地区協議体の会議に参加、現在は休止中。
民生委員児童委員協議会	地区社会福祉協議会と協力して、一人暮らし高齢者宅を訪問し、マスク、消毒スプレー等を配布したり、靴下、お菓子などを配布して近況を確認する。
民生委員児童委員協議会	一昨年から進められている渭東・住吉城東地区協議体の会合に役員が参加・協力している。
社会福祉協議会	「たから支え愛」をテーマに検討会。
社会福祉協議会	協議会を設定し、月1回話し合う場を設けている。
社会福祉協議会	社協のメンバーには民生委員とその他の人ですが、民生委員は見守り活動ですから声掛けや挨拶は勿論やっていますが、その他の方は会に出てくるだけの感はあります。
社会福祉協議会	婦人会や民生委員の皆様のご協力により、地域活動が推進されています。町内会を始め、それぞれの団体の方々のご尽力に感謝申し上げます。

組織形態	自由意見
社会福祉協議会	地域における各種団体との組織横断的なサポート。
社会福祉協議会	介護教室の開催や地域のコミュニケーションセンターへ訪問し、地域の人と交流する機会を設ける。
社会福祉協議会	一人暮らしの高齢者との交流、意見交換、見守り活動、相談活動をしている。
社会福祉協議会	民生委員に相談した内容について、私たちが民生委員さんから相談を受けたりして問題解決に協力しています。また、コミュニティ協議会や公民館に来ることも協力しています。
子育て教育関係団体	子育ての悩み等について保護者同士が話す場となっている。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	コロナ以降、接点が少なくなった。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	徳島市生活支援体制整備事業の八万地区の協議会メンバーとなっています。地域の諸団体の構成メンバーとのネットワークを構築し、令和1年10月から学区内でメンバーとあいさつ運動を計画中でした。(現在コロナウイルス拡大のため中止中)。
自主防災組織	町内会組織と連携している。
自主防災組織	若い人の参加が少ない。義務教育でボランティア活動の推進を図る。市の職員が月に1回程度ボランティア活動が可能な制度を構築。小さな親切運動の推進。
自主防災組織	世代間の交流機会がない。PTAとの連携や防災意識の向上。
自主防災組織	民生委員の不足。
自主防災組織	防災に関する機材等の整備。
自主防災組織	企画を行っても参加者が少ない。
自主防災組織	八万地区協議会の組織に参加し、7他団体と共生や支え合いに協力している。具体的には当会は災害への対応を提案していきたい。

【(協力したことが) ない 21件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	罪を犯した人の更生保護が主目的の活動なので。
NPO団体	地域の障がい児支援に際して、自治体や児童福祉施設の求めに応じているが幼児期の発達障害では、プライバシー保護のため住民との支え合いを促すことは難しい。
NPO団体	時間と人材不足。
民生委員児童委員協議会	組織としては立ち上がっていない(組織化協議中である)。
民生委員児童委員協議会	そういった組織が出来ていない。
民生委員児童委員協議会	コロナで集まって活動することが出来ない。
民生委員児童委員協議会	防災組織はあるがあまり機能していない。
商工観光関係団体	住民同士の自主的な支え合いや助け合いに関わる機会がない。
社会福祉協議会	各組織の会長役員は決まっているが、それらの人(少人数)で運営していて、下部まで伝わらない。地域の新聞を作成しても事務が出来ないので続かない。
社会福祉協議会	地域の課題について話し合ったり、検討する機会を持っていない。
福祉(人権女性等)関係団体	老人クラブでは、単位クラブは地域の人と関わっているが、市老人クラブ連合会は直接関わる事はない。
高齢者支援団体	他団体と余りつながらない為。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	利用者の相談や話を聞くことはあるが、地域という公共の広さに対してはあまり関わっていない。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	兼務及び人手不足により困難。

組織形態	自由意見
自主防災組織	コミュニティ協議会が本来の役割を果たしていない。
自主防災組織	社協や民生委員会では個々に行っていると思います。
自主防災組織	地域の活動に積極的な方の多くが高齢となり参加が難しくなってきた。若い世代は仕事に忙しく、地域活動に参加するゆとりもなく、地域の人とのつながりを構築する機会も持てないため。
その他	援助が必要か否かの判断が難しくなっている。
その他	地域住民の方が、対象者への理解が無く、偏見を持たれる人が多いので、行政機関からの協力が欲しい。
その他	高齢者に対する支援（介護）が主な活動である為。
その他	当会の活動領域に至っていない。

【その他 4件】

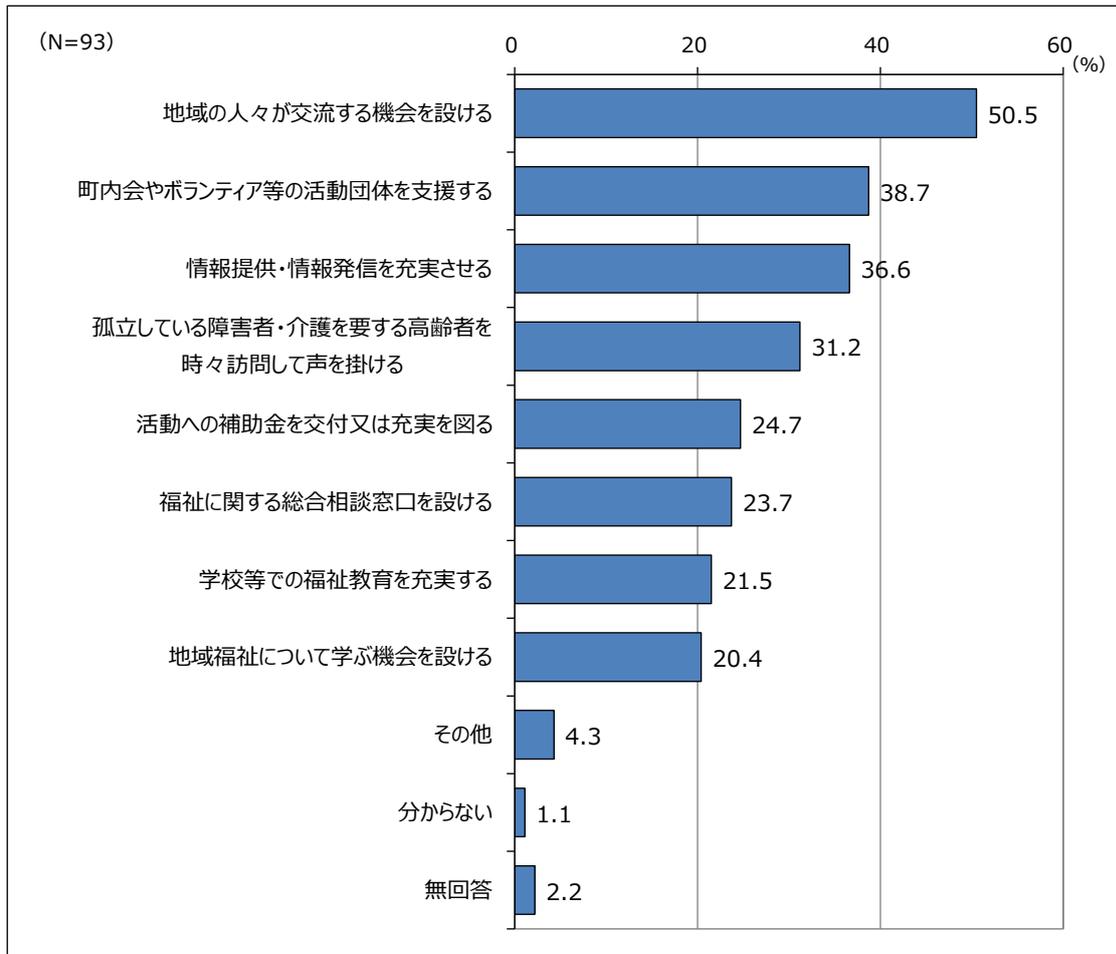
組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	民生委員に一人暮らし高齢者に関する情報が寄せられた際は、担当民生委員と他の委員は連携を取り合い、課題解決のための方法を探っている。
社会福祉協議会	問題や課題を関係者と共有できていない。
障害者支援団体	当会は、全地域を対象として身体障害者の自立厚生、福祉の向上を目指しており、市社会福祉協議会、民生委員とは連携しているが、個々の住民との関係は、直接にはない。
自主防災組織	つながりが弱くなっており、人との接触を嫌う人も増えてきていると思う。

問17 地域づくりのために必要な支援策

問17 地域に住む住民同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後、徳島市では、どのような支援を行う必要があると思いますか。【三つまで○】

「地域の人々が交流する機会を設ける」(50.5%)が最も高く、次いで「町内会やボランティア等の活動団体を支援する」(38.7%)、「情報提供・情報発信を充実させる」(36.6%)などとなっています。

図表



6. ひきこもり対策について

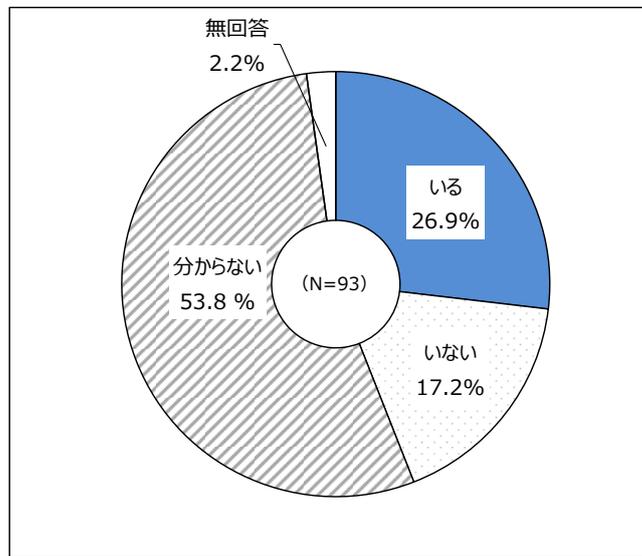
問18 身近にひきこもりの方の有無

問18 貴団体の活動場所の周りに「仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流もほとんどせずに、6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態」と思われる方はいますか。ただし、妊娠中や病気の方は除きます。
【一つだけに○】

「分からない」(53.8%)が最も高く、次いで「いる」(26.9%)、「いない」(17.2%)となっています。

福祉分野別にみると、いずれも「分からない」の割合が高くなっていますが、「いる」と回答した方の中では「その他」(50.0%)が最も高く、次いで「消費者問題」(33.3%)「交通安全・防犯」(31.8%)などとなっており、ほとんどの福祉分野で「いる」が「いない」を上回っています。

図表



	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	無回答	
		いる	いない	分からない		
【表の見方】 単位＝比率(%)						
全体	93	26.9	17.2	53.8	2.2	
福祉分野別	高齢者支援	64	26.6	18.8	53.1	1.6
	障害者支援	46	30.4	17.4	50.0	2.2
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	26.2	19.0	54.8	-
	低所得者支援	26	30.8	26.9	42.3	-
	消費者問題	6	33.3	-	66.7	-
	健康づくり・医療	20	25.0	5.0	70.0	-
	消防・防災・災害支援	37	21.6	13.5	64.9	-
	交通安全・防犯	22	31.8	13.6	54.5	-
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	16.7	20.8	62.5	-
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	20.0	10.0	70.0	-
	青少年育成・支援	23	21.7	26.1	47.8	4.3
	国際交流・国際協力	6	16.7	33.3	50.0	-
	まちづくり	21	28.6	28.6	42.9	-
	芸術・文化振興	11	18.2	27.3	54.5	-
	男女共同参画推進・人権問題	25	20.0	20.0	60.0	-
その他	6	50.0	-	33.3	16.7	

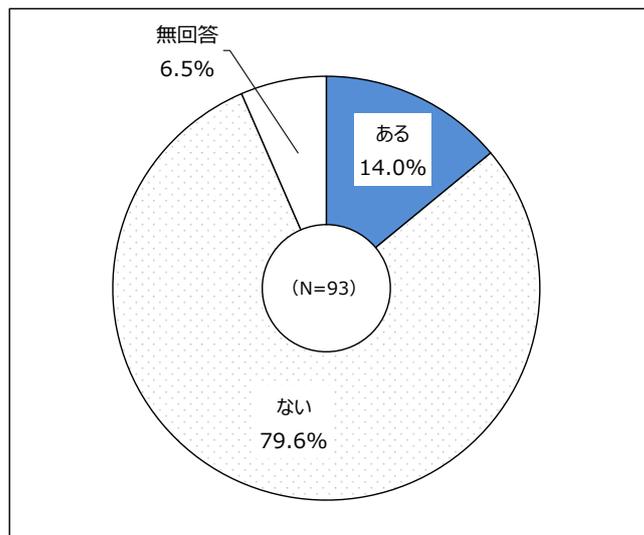
問19 ひきこもり対策に関する取り組み

問19 ひきこもり対策に関して、取り組んでいることはありますか。【どちらかに○】

「ない」(79.6%)、「ある」(14.0%) となっています。

福祉分野別にみると、いずれも「ない」の割合が5割以上と高くなっていますが、「ある」と回答した方の中では「国際交流・国際協力」、「その他」(ともに 33.3%)と最も高く、次いで「芸術・文化振興」(27.3%)、「青少年育成・支援」(21.7%) などとなっています。

図表



	回答数 (人)	(1)		無回答	
		ある	ない		
【表の見方】 単位=比率(%)					
全体	93	14.0	79.6	6.5	
福祉分野別	高齢者支援	64	14.1	81.3	4.7
	障害者支援	46	19.6	76.1	4.3
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	16.7	76.2	7.1
	低所得者支援	26	19.2	69.2	11.5
	消費者問題	6	16.7	66.7	16.7
	健康づくり・医療	20	15.0	80.0	5.0
	消防・防災・災害支援	37	2.7	86.5	10.8
	交通安全・防犯	22	9.1	81.8	9.1
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	20.8	79.2	-
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	20.0	80.0	-
	青少年育成・支援	23	21.7	69.6	8.7
	国際交流・国際協力	6	33.3	66.7	-
	まちづくり	21	14.3	81.0	4.8
	芸術・文化振興	11	27.3	72.7	-
	男女共同参画推進・人権問題	25	20.0	76.0	4.0
その他	6	33.3	50.0	16.7	

問19-1 ひきこもり対策に関する取組み状況や課題

問19-1 その取組み状況や課題(取り組んでいない理由も含む)について、具体的に記入してください。

60件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【(取り組んでいることが) ある 14件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	地域の状況を良く知る事。声掛けすること。
ボランティア団体	対応できる人材不足。状態把握できない事が多い。民生委員の活動能力での差は大きいと思う。
NPO団体	宅食を行い、ご家族と話している。
NPO団体	ひきこもりがちの方の家への訪問と買い物等への連れ出し。
民生委員児童委員協議会	地区町内会の役員等と連携し情報を共有している。
民生委員児童委員協議会	徳島市の聞き取り調査に協力している。
民生委員児童委員協議会	プライバシーのことで、家に入ってゆけない事が多いです。家族とか、行政が見守りしてくれているので安心してます。そっと見守っている次第です。
民生委員児童委員協議会	常に声掛けをして家族の相談に乗っている。生活面の困りごとの相談には、出来る事は対応している。
社会福祉協議会	地域の情報を得られるように気を付けている。見守り。
福祉(人権女性等)関係団体	スクールソーシャルワーカーの活動に取り組んでいる。しかし、活動時間等に厳しい制限があり、子供の支援に充分に対応が出来ていない。
自主防災組織	法人施設でアルバイトしてもらっている。
自主防災組織	家庭訪問、電話でのコンタクトなど。
その他	家族会、当事者会、講演会等の開催や就労協力の依頼対象者への偏見から、家族は周囲の人や近所の人に相談出来ません。
その他	在宅介護支援センター職員による定期的な訪問。

【(取り組んでいることが) ない 46件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	ひきこもりの人々でも罪を犯せば、対象者として取り組む場合もある。
NPO団体	取り組む方策が分からない。
NPO団体	きっかけや手段が分からない事があります。
NPO団体	ひきこもりの方の情報は入ってこない。活動目的が違う。妊娠中の子育ての中の方には働きかけをしている。
NPO団体	ひきこもっているという情報のみを聞いたことがある為、名前や存在すら知らないでそれ以上は踏み込めない。民生委員さんは周知している。
民生委員児童委員協議会	母親と二人の生活ですが、お母さんが元気で大丈夫ですと！色々お話をさせて頂き、見守っている状態です。あまり悩んでいる状態ではない。
民生委員児童委員協議会	情報がない。
民生委員児童委員協議会	事業として行っていない。
民生委員児童委員協議会	組織としての活動は特にしていないが、対象者があれば活動時に考慮する。
民生委員児童委員協議会	当会の活動目的ではない。
民生委員児童委員協議会	ひきこもり対策に取り組んだことはない。
民生委員児童委員協議会	個人情報でみんな噂ばかりで本音を言わない。しかし、家族も困っているがどうする事も出来ない。
民生委員児童委員協議会	個人情報なので、当団体は、実態が不明。取り込むのであれば、協力団体を特定の上、人材の育成とその助成と体制づくりを行い、継続して対応すべきである。

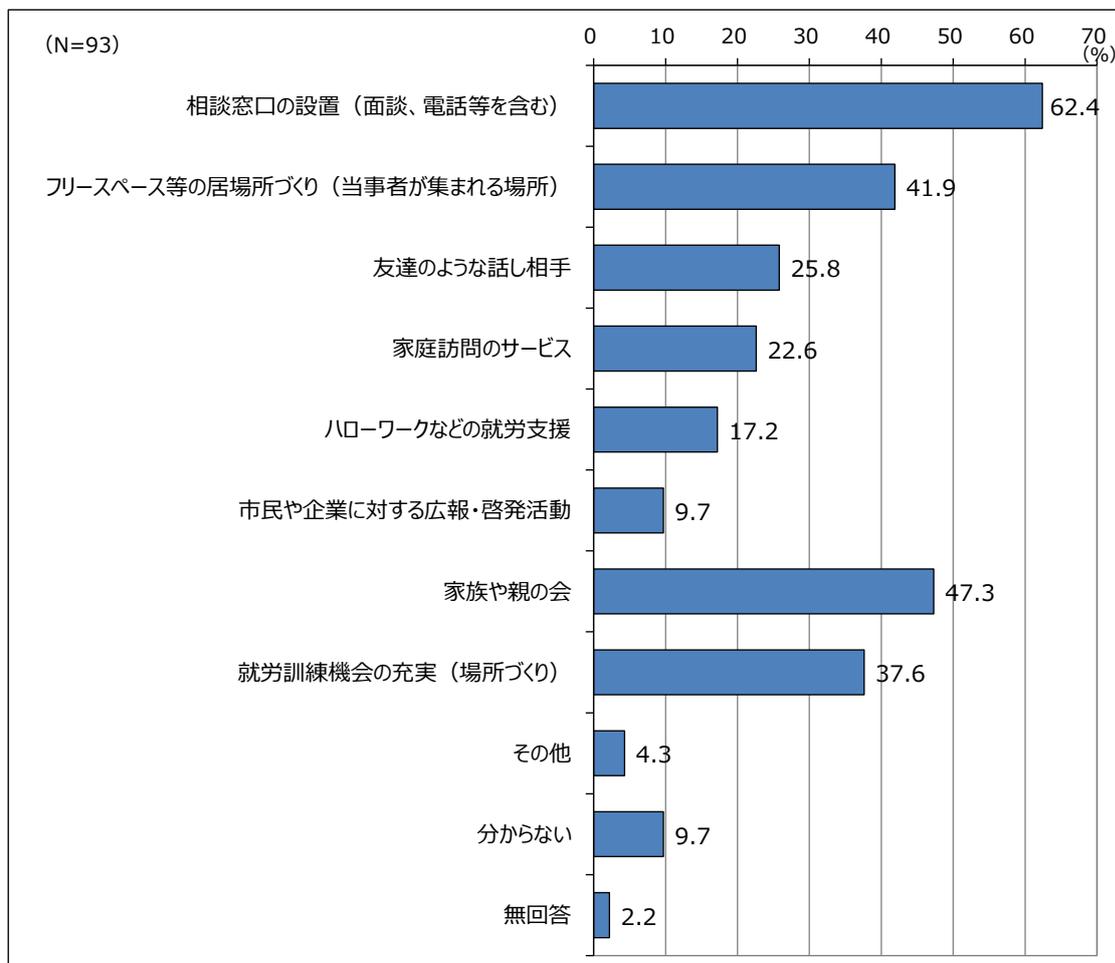
組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	団体職務外の事案と考えているのとひきこもりか否かが分かっていない。
民生委員児童委員協議会	情報が得られにくい。
民生委員児童委員協議会	気を付けながら様子を見守りたい。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりの人が分からない。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりがあるかないかわからない。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりの方がいた場合は対策を考えていきたい。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりの状況が把握しづらい、いても詳しく教えてもらえないしプライバシーの侵害になりかねない。
民生委員児童委員協議会	コロナ等の理由。
社会福祉協議会	ひきこもりの人がいると思うが、その確認すらできない。10年に1度見かける程度。話をしたことがない。
社会福祉協議会	私の地域ですが、女性で親が時々（ほぼ毎日）来ていてずっと昔に挨拶に行ったら、娘か母親に連絡し若い女性の所になんで来るのだと、まるでセクハラのように猛攻撃を受けたから。
社会福祉協議会	ひきこもりの方がおられることは分かっていますが、家族の方からの相談もなく、立ち入る事は難しい状況です。
社会福祉協議会	ひきこもり状態の方の情報が伝わってこない。
社会福祉協議会	具体的な情報に接していない。
社会福祉協議会	情報が得にくい。
社会福祉協議会	ひきこもりの情報不足により対策の方法が分からない。
社会福祉協議会	家族がひきこもりの人の情報を話したがらない。
社会福祉協議会	団体としての取り組みは行っていない。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	通常業務で手一杯な状態で手が回らない。
自主防災組織	ひきこもりの方がいないと思われる。
自主防災組織	小中高への連絡の方法を模索している。
自主防災組織	調査が難しいです。
自主防災組織	福祉関係部門の情報がつかめない。（防災対策上）
自主防災組織	午前までは相談にも乗っていた時もあったが、今は仕事として訪問したりする事がある。いつも思うが本人はもちろんだが、家族の支援が必要と思います。
自主防災組織	情報が来ない。
自主防災組織	特に目立った動きがなく、他人に相談されることがほとんどない。
自主防災組織	情報がない。
自主防災組織	個々に入っていくことが困難である。
自主防災組織	自身に何か問題が起きないかあまり関わりたくない。家族と問題になった。
自主防災組織	自主防災活動に専念しているのが現状。
自主防災組織	相談を受けたことがないので、友人知人等から相談を受けることがあれば一緒に考えたい。
自主防災組織	今の所、特別な事はしていない。
自主防災組織	ひきこもり状態の方がいるかどうかの情報もなく、自主防災の観点での優先順位は低いため。
その他	当会の活動領域に至っていない。

問20 ひきこもり支援に必要な施策

問20 ひきこもりの方を支援するために、どのような施策が必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「相談窓口の設置（面談、電話等を含む）」（62.4%）が最も高く、次いで「フリースペース等の居場所づくり（当事者が集まれる場所）」（41.9%）、友達のような話し相手（25.8%）などとなっています。

図表



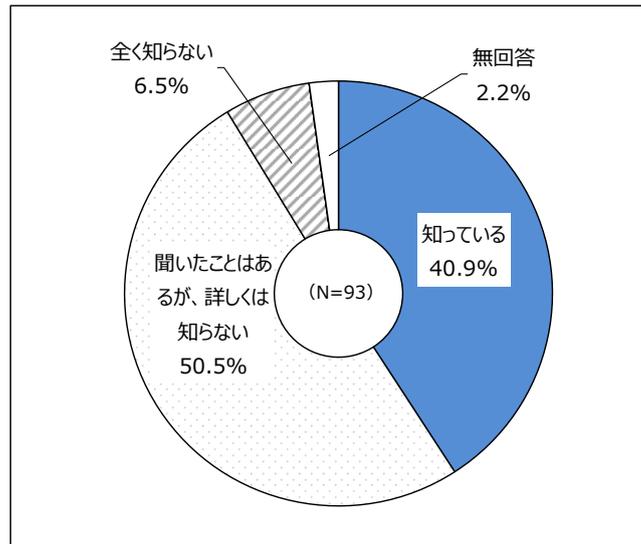
7. 再犯防止の取組みについて

問21 再犯防止の取組みの認知度

問21 再犯防止に関する取組みが進められていることを知っていますか。【一つだけに○】

「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(50.5%)が最も高く、次いで「知っている」(40.9%)、「全く知らない」(6.5%)となっています。

図表

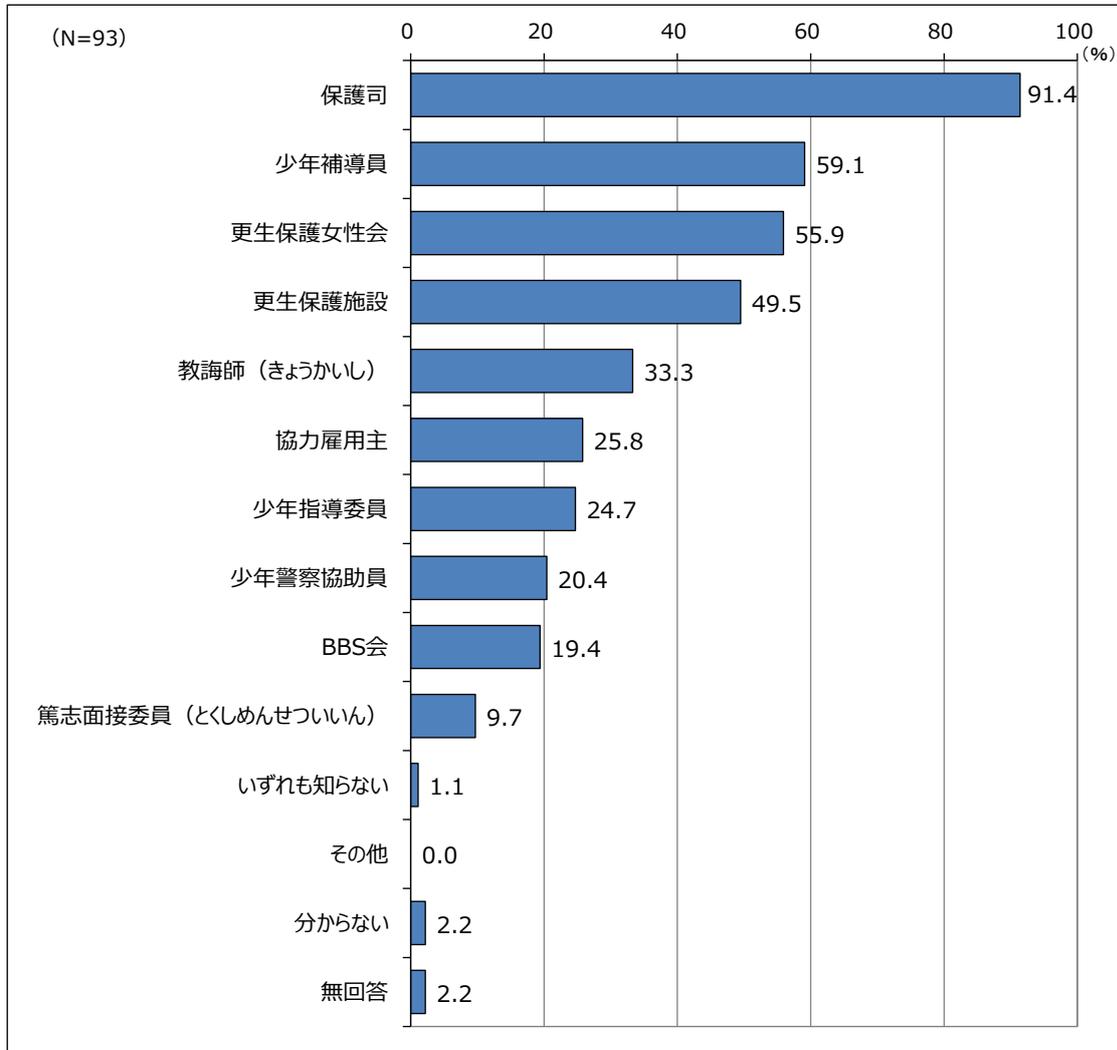


問22 民間協力者の認知度

問22 再犯防止に協力する民間協力者として次の方々がいることを知っていますか。【あてはまるものすべてに○】

「保護司」(91.4%)が最も高く、次いで「少年補導員」(59.1%)、「更生保護女性会」(55.9%)などとなっています。

図表



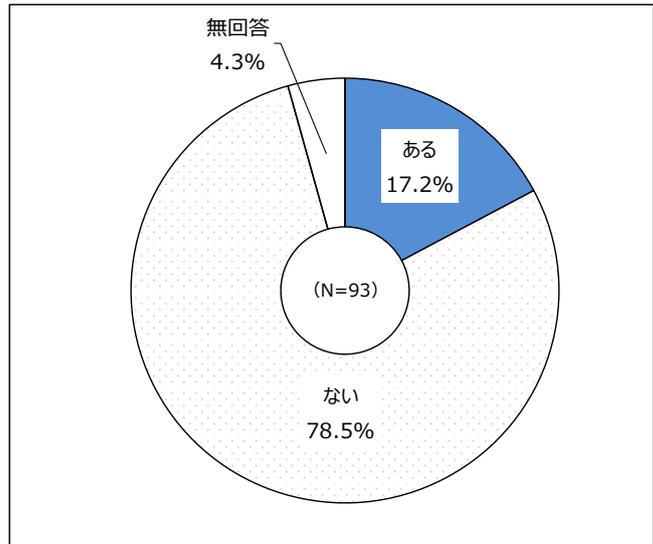
問23 再犯防止に関する取組み

問23 再犯防止に関して、取り組んでいることや協力していることはありますか。【どちらかに○】

「ない」(78.5%)、「ある」(17.2%) となっています。

福祉分野別にみると、いずれも「ない」の割合が5割以上と高くなっていますが、「ある」と回答した方の中では「交通安全・防犯」(36.4%)が最も高く、次いで「消費者問題」、「その他」(ともに33.3%)、「青少年育成・支援」(30.4%)などとなっています。

図表



	回答数 (人)	(1)	(2)	無回答	
		ある	ない		
【表の見方】 単位＝比率(%)					
全体	93	17.2	78.5	4.3	
福祉分野別	高齢者支援	64	18.8	79.7	1.6
	障害者支援	46	26.1	71.7	2.2
	ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	21.4	78.6	-
	低所得者支援	26	26.9	73.1	-
	消費者問題	6	33.3	66.7	-
	健康づくり・医療	20	30.0	70.0	-
	消防・防災・災害支援	37	13.5	81.1	5.4
	交通安全・防犯	22	36.4	63.6	-
	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	16.7	83.3	-
	趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	30.0	70.0	-
	青少年育成・支援	23	30.4	65.2	4.3
	国際交流・国際協力	6	16.7	83.3	-
	まちづくり	21	19.0	81.0	-
	芸術・文化振興	11	27.3	72.7	-
	男女共同参画推進・人権問題	25	20.0	80.0	-
	その他	6	33.3	50.0	16.7

問23-1 再犯防止に関する取組み状況や課題

問23-1 その取組み状況や課題(協力に至っていない理由を含む)について、具体的に記入してください。

54 件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【(取組んでいることが) ある 12 件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	広報不足や資金不足。
ボランティア団体	面接、往訪、広報活動、社会貢献活動に参加。自立準備の為、一時身を寄せる場の提供（自立会、自立準備ホーム）サポートセンターの運営（毎日活動）。
NPO団体	保護司をしている。
NPO団体	その人なりに立っていくことを考え、共に働く活動を5年、10年それ以上の長いスパンで行っていく。
民生委員児童委員協議会	更生保護女性会の会員となり（民生委員女性、男性の妻が）更生保護施設へ食事を作りに行っている。
民生委員児童委員協議会	各地域に年1回担当者が交番の警官の方と住宅を訪問し安否確認している。
民生委員児童委員協議会	未成年の対応について中学校と協議している。
民生委員児童委員協議会	更生保護女性会の会員で、自立会に伺い、講習を受けたり、地区から訪問しカレー作りに行くこともあります。
社会福祉協議会	家庭裁判所より依頼を受け、青少年の更生の受け入れをしている。
社会福祉協議会	私自身が保護司をしているので、(会長も)多くの活動をしていますし、保護司会の活動に加茂社協のイベントに参加し、啓発する（夏祭り、福祉もちつき等）場を提供している。
福祉（人権女性等）関係団体	弁護士会と協定を結び司法弁護に関わっている。再犯防止、障がい者、認知症による犯罪等に対して適切な処置等を考える。
自主防災組織	保護司、更生保護女性会の方々との話し合いの場から色々情報提供を受けている。年1回の更生保護女性会に員との協議の場に参加。

【(取組んでいることは) ない 41 件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	あまり機会がなかったので分からない。
NPO団体	就学前児童を対象としている為、専門分野が違う。但し、発達障害の分野でも熱心な取り組みがある事は知っている。
NPO団体	どのように取り組んだら良いか不勉強である。
NPO団体	身近にいない為。
NPO団体	きっかけ方法が分からない。
NPO団体	活動目的ではないので。
NPO団体	現在は関わる事がないので取り組んでいない。
民生委員児童委員協議会	保護司の欠員に対しての補充などには協力している。委員の中には更生保護女性会のメンバーとなっている。
民生委員児童委員協議会	身近な犯罪者が少なく、この問題に直面したことがない。
民生委員児童委員協議会	機会がない。
民生委員児童委員協議会	当協議会に保護司の方がおられるため、再犯防止に取り組まれている。活動のことを聞く機会があり、課題等は理解しているが、これまで当協議会の委員に相談等はなかったため、協力等には至っていない。
民生委員児童委員協議会	情報がない。

組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	地域にその様な人がいないし情報が入ってこない。
民生委員児童委員協議会	地区の保護司さんからの依頼があった場合は協力をしたい。
民生委員児童委員協議会	具体的な事例がない。
商工観光関係団体	再犯防止に関わったことがない。
社会福祉協議会	情報がない。
社会福祉協議会	協力する機会・情報がない。
社会福祉協議会	公的機関等からの協力要請を受ける機会がありませんでした。更に、個人的能力としてお役に立つだけの自信が無く、公的機関への働きかけもしていません。
社会福祉協議会	協力要請がない。
社会福祉協議会	取り組み事業に接していないので、課題理由を述べるに至らない。
社会福祉協議会	地域からそのような情報が得られにくい。できることがあれば協力したい。青少年の地域での生活には見守り、情報を得るようにしている。
社会福祉協議会	再犯防止に具体的な取り組みの状況はない。
福祉（人権女性等）関係団体	取り組みへの情報が少ない。
障害者支援団体	本会の活動目的ではない。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	事業として行っていない。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	通常業務で手一杯な状態で手が回らない。
自主防災組織	会としての取り組みは特にしていない。
自主防災組織	格差の増大が根幹の要因と思います。雇用対策（補助金の交付）と教育施設充実の対策が必要。
自主防災組織	情報がない。
自主防災組織	情報がない。
自主防災組織	具体的な個人を特定できないから。
自主防災組織	取り組みたいが、知識がない。今の状況では関係者だけが実施している感じがする。他人に知られたくないというのが本音であると思う。
自主防災組織	自主防災活動に専念している段階。
自主防災組織	保護司の方が行っていることは聞いていますが、地域のみんが協力する事態にはなっていないのだろうと思います。（特にプライベートな問題なので難しい）
自主防災組織	地区の防犯組織や青少年育成会、安全安心の会との協力を。
自主防災組織	対象者について自主防災会には情報もなく、優先順位は低いため。
その他	何らかの形で協力できないか、事務局長と協議しているが、実現に至っていない。
その他	対象となる人がいないが協力出来る事があればしたいと考えています。
その他	活動対象外であるため。
その他	当会全体での取り組みは、検討課題でない。

【その他 1件】

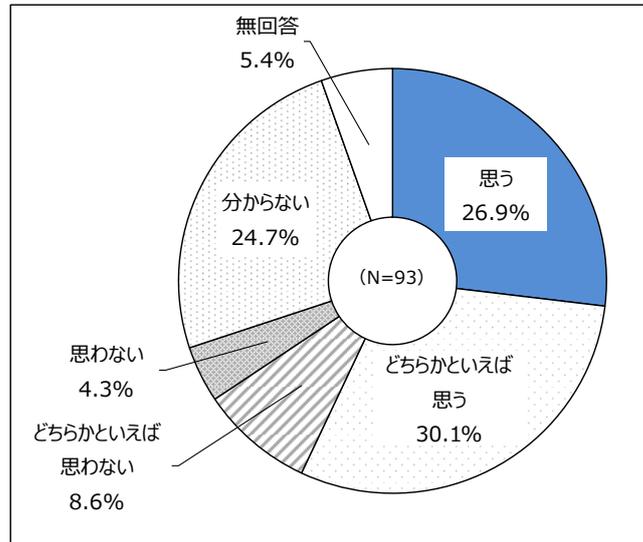
組織形態	自由意見
社会福祉協議会	各団体がそれぞれの活動をしているので直接取り組むことはない。

問24 取り組みの協力意向

問24 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。【一つだけに○】

「どちらかといえば思う」(30.1%)が最も高く、次いで「思う」(26.9%)、「分からない」(24.7%)などとなっています。

図表

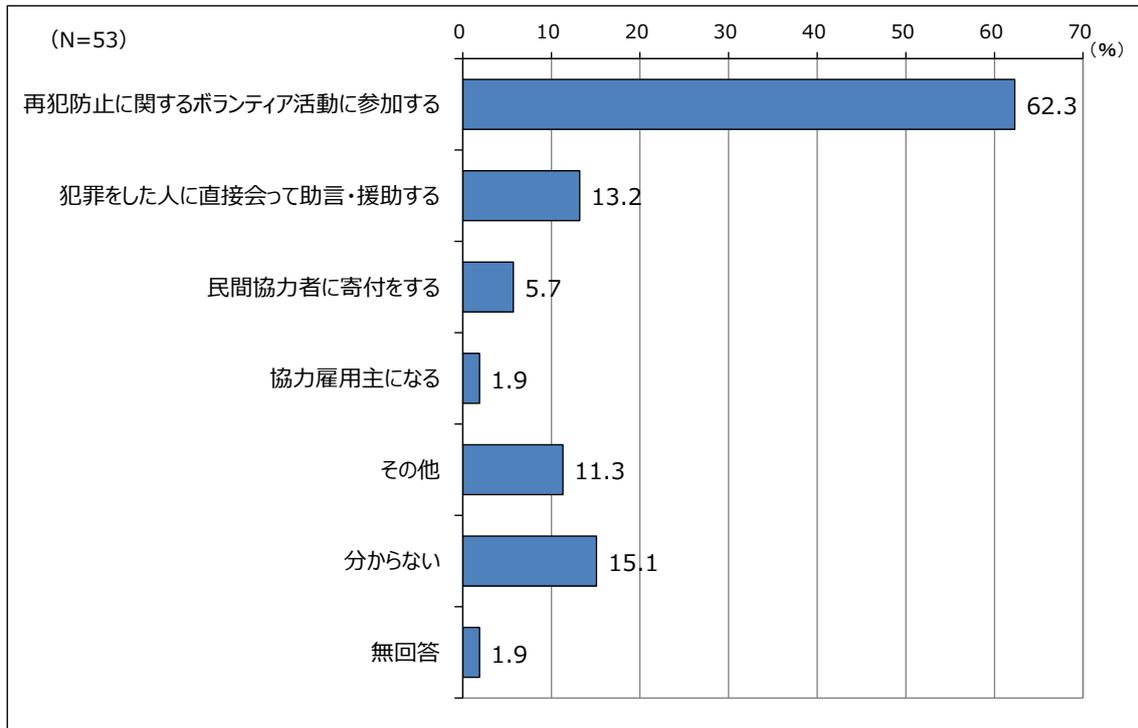


問25 取組みに協力したい内容

問24で「1. 思う」または「2. どちらかといえば思う」に○を付けた団体にお伺いします。
問25 どのような協力をしたいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」(62.3%)が最も高く、次いで「犯罪をした人に直接会って助言・援助する」(13.2%)、「民間協力者に寄付をする」(5.7%)などとなっています。

図表

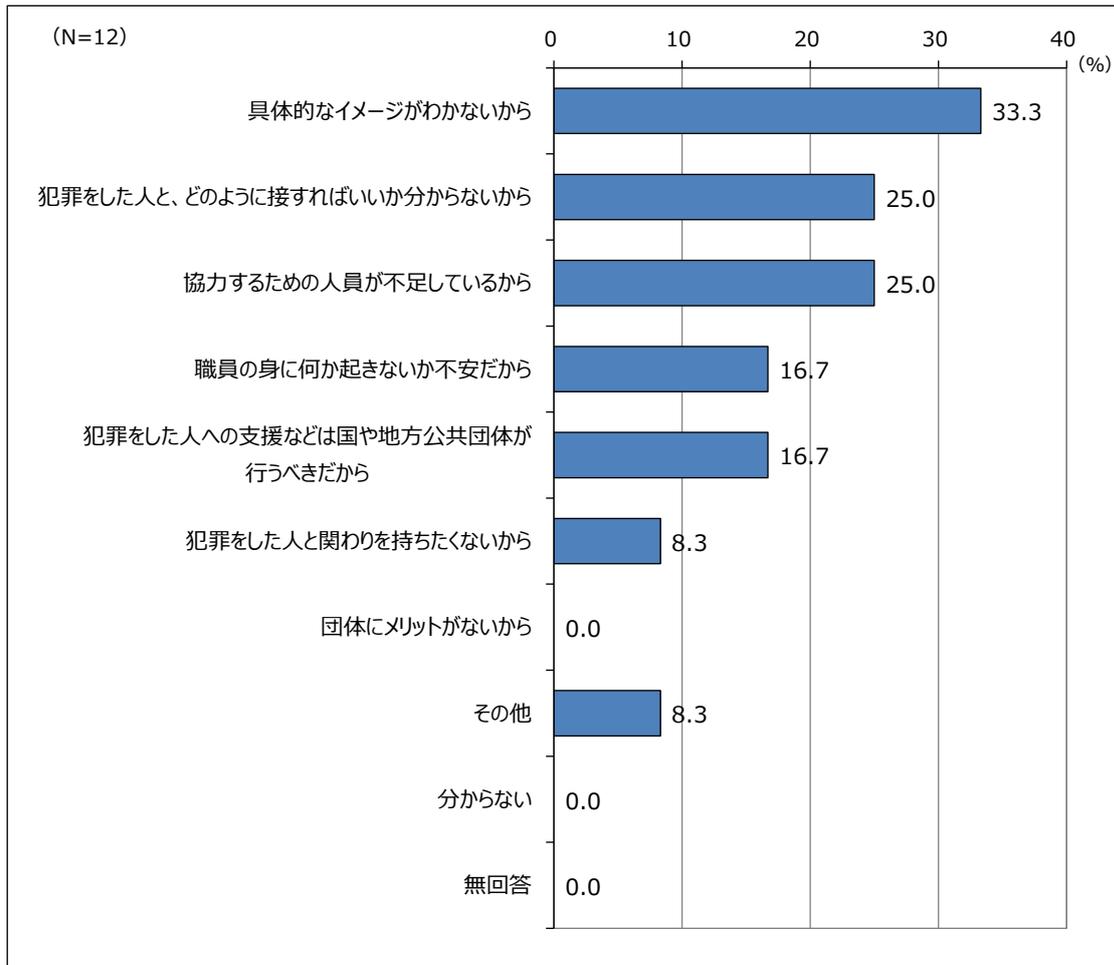


問26 取組みに協力したいと思わない理由

問24で「3. どちらかといえば思わない」または「4. 思わない」に○を付けた団体にお伺いします。
 問26 協力したいと思わない理由を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

「具体的なイメージがわからないから」(33.3%)が最も高く、次いで「犯罪をした人と、どのように接すればいいかわからないから」、「協力するための人員が不足しているから」(ともに25.0%)などとなっています。

図表

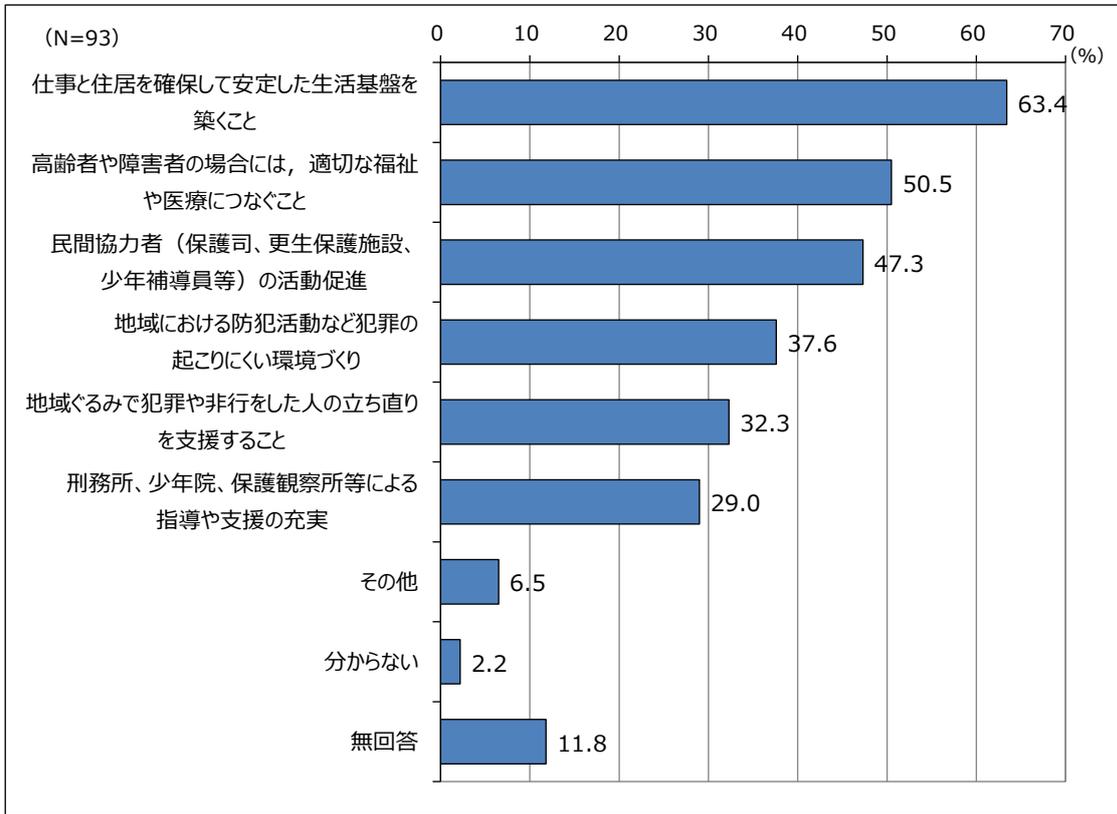


問27 再犯防止に必要な取組み

問27 再犯防止のために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと」(63.4%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと」(50.5%)、「民間協力者(保護司、更生保護施設、少年補導員等)の活動促進」(47.3%)などとなっています。

図表



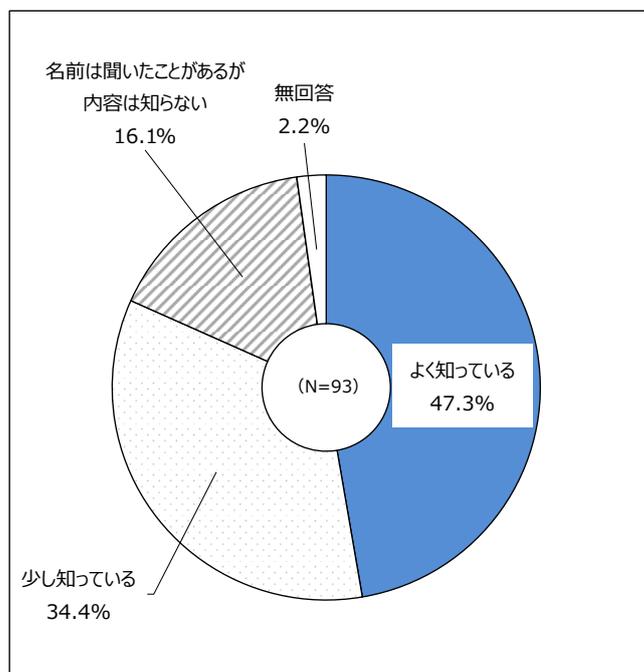
8. 成年後見制度について

問28 成年後見制度の認知度

問28 成年後見制度を知っていますか。【一つだけに○】

「よく知っている」(47.3%) が最も高く、次いで「少し知っている」(34.4%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(16.1%) となっています。

図表



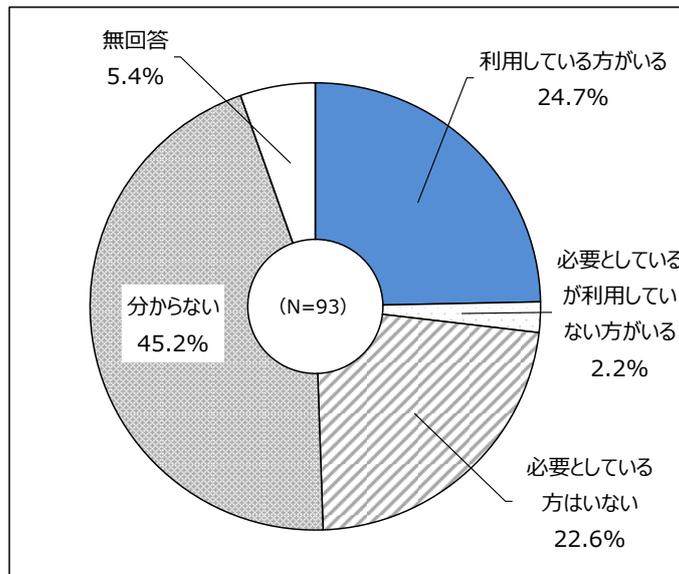
問29 「成年後見制度」の利用状況

問29 貴団体の利用者の中で、「成年後見制度」を利用または必要としている方はいますか。【一つだけに○】

「分からない」(45.2%)が最も高く、次いで「利用している方がいる」(24.7%)、「必要としている方はいない」(22.6%)などとなっています。

福祉分野別でみると、「利用している方がいる」と回答した方の中では「消費者問題」(66.7%)が最も高く、次いで「国際交流・国際協力」(50.0%)、「健康づくり・医療」(35.0%)などとなっています。

図表



	回答数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		利用している方がいる	必要としている方がいるが利用していない方がいる	必要としている方はいない	分からない	
【表の見方】 単位＝比率(%)						
全体	93	24.7	2.2	22.6	45.2	5.4
高齢者支援	64	32.8	3.1	21.9	39.1	3.1
障害者支援	46	30.4	4.3	30.4	34.8	-
ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援	42	26.2	-	28.6	45.2	-
低所得者支援	26	34.6	-	26.9	34.6	3.8
消費者問題	6	66.7	-	33.3	-	-
健康づくり・医療	20	35.0	-	15.0	40.0	10.0
消防・防災・災害支援	37	10.8	-	21.6	62.2	5.4
交通安全・防犯	22	27.3	4.5	22.7	40.9	4.5
地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	24	25.0	-	29.2	41.7	4.2
趣味活動や学習活動支援、スポーツ指導	10	30.0	-	20.0	40.0	10.0
青少年育成・支援	23	30.4	-	30.4	34.8	4.3
国際交流・国際協力	6	50.0	-	16.7	33.3	-
まちづくり	21	28.6	-	38.1	28.6	4.8
芸術・文化振興	11	27.3	-	36.4	27.3	9.1
男女共同参画推進・人権問題	25	20.0	-	32.0	44.0	4.0
その他	6	33.3	-	16.7	16.7	33.3

問29-1 「成年後見制度」を利用していない理由

問29で「2. 必要としているが利用していない方がいる」に○を付けた団体にお伺いします。
問29-1 利用していない理由について、ご自由に記入してください。

3件の回答があり、以下のとおり組織形態別に整理した。

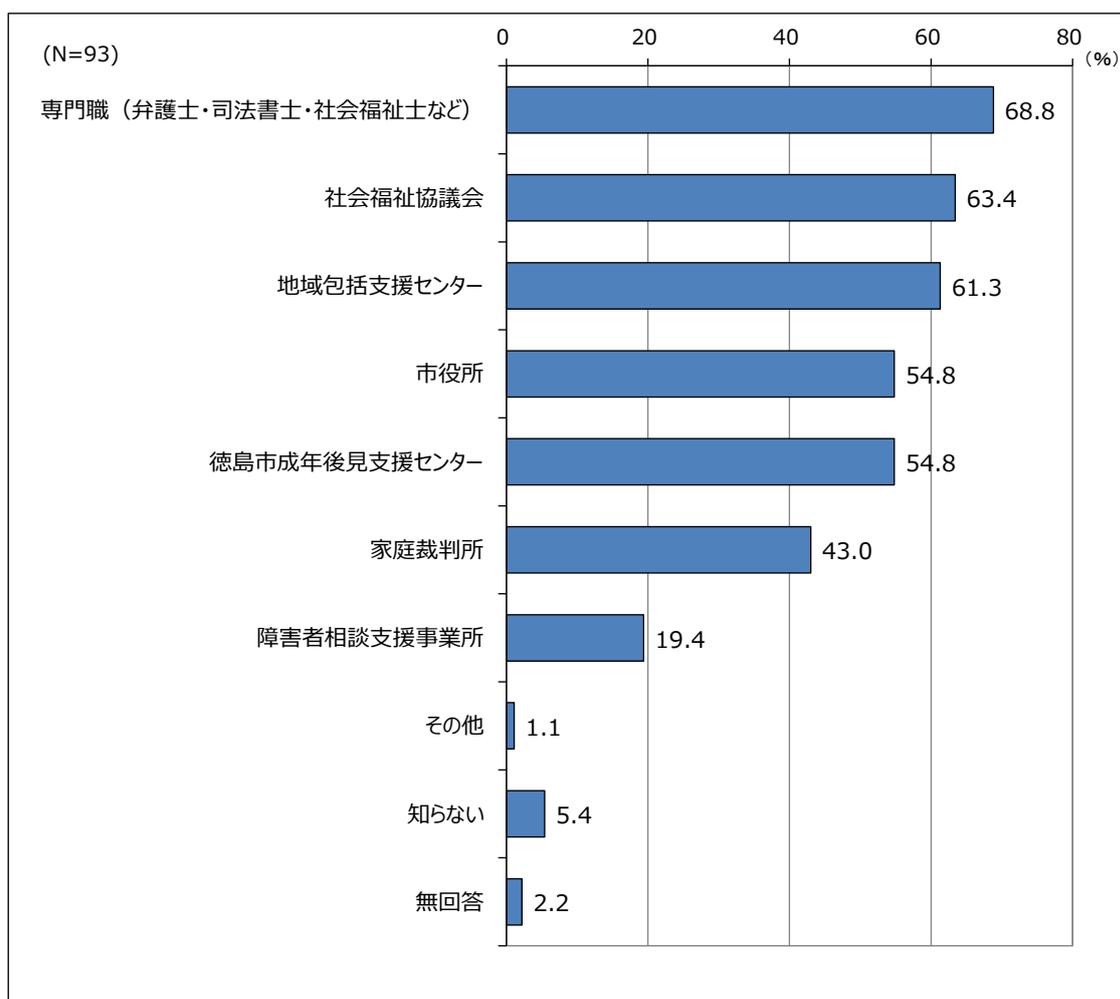
組織形態	自由意見
NPO団体	手続きに時間がかかり難しい。
社会福祉協議会	個人宅では安心できない。老人ホームの入所時には利用しているが。
社会福祉協議会	本人の同意が得られていない。

問30 成年後見制度の相談機関の認知度

問30 成年後見制度について相談できる機関を知っていますか。【あてはまるものすべてに○】

「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」（68.8%）が最も高く、次いで「社会福祉協議会」（63.4%）、「地域包括支援センター」（61.3%）、「市役所」、「徳島市成年後見支援センター」（ともに54.8%）などとなっています。

図表

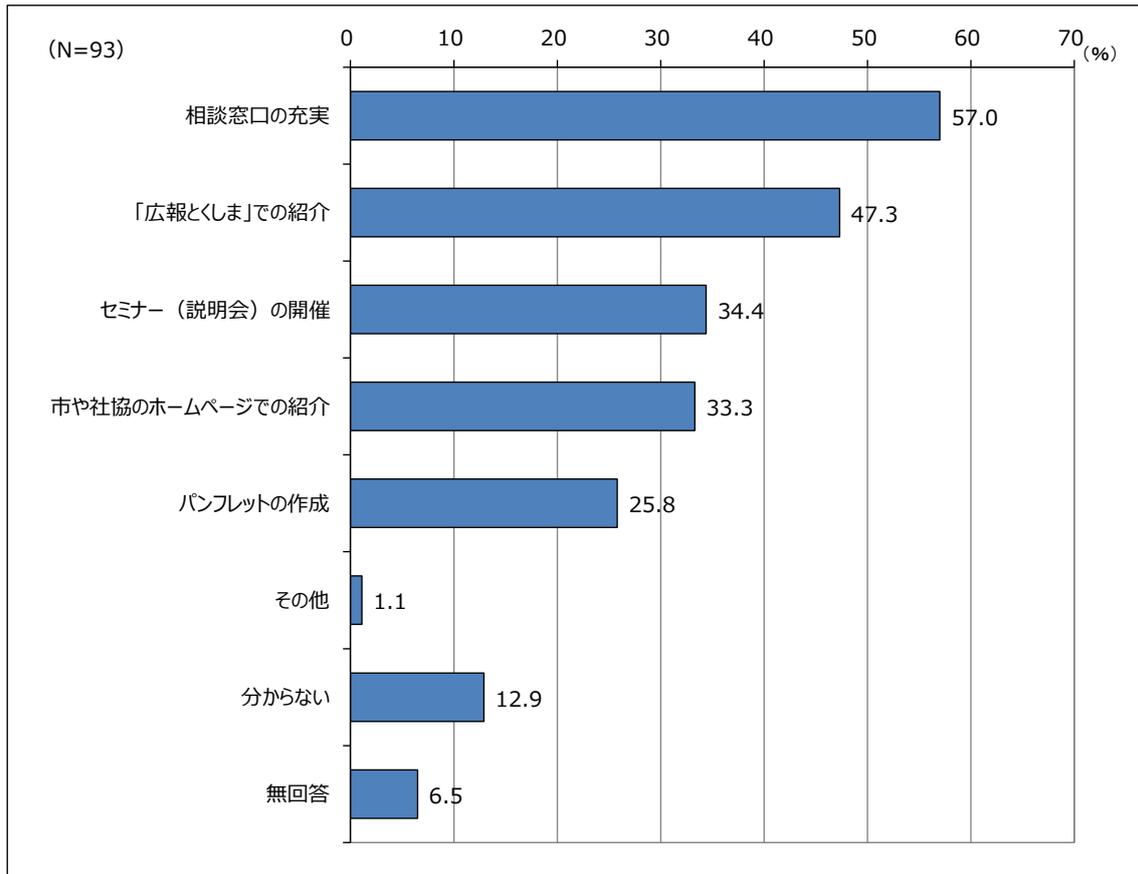


問31 徳島市成年後見支援センターに期待すること

問31 徳島市では、平成26年2月に「徳島市成年後見支援センター」を開設しています。このセンターに期待することは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「相談窓口の充実」(57.0%)が最も高く、次いで「「広報とくしま」での紹介」(47.3%)、「セミナー(説明会)の開催」(34.4%)などとなっています。

図表

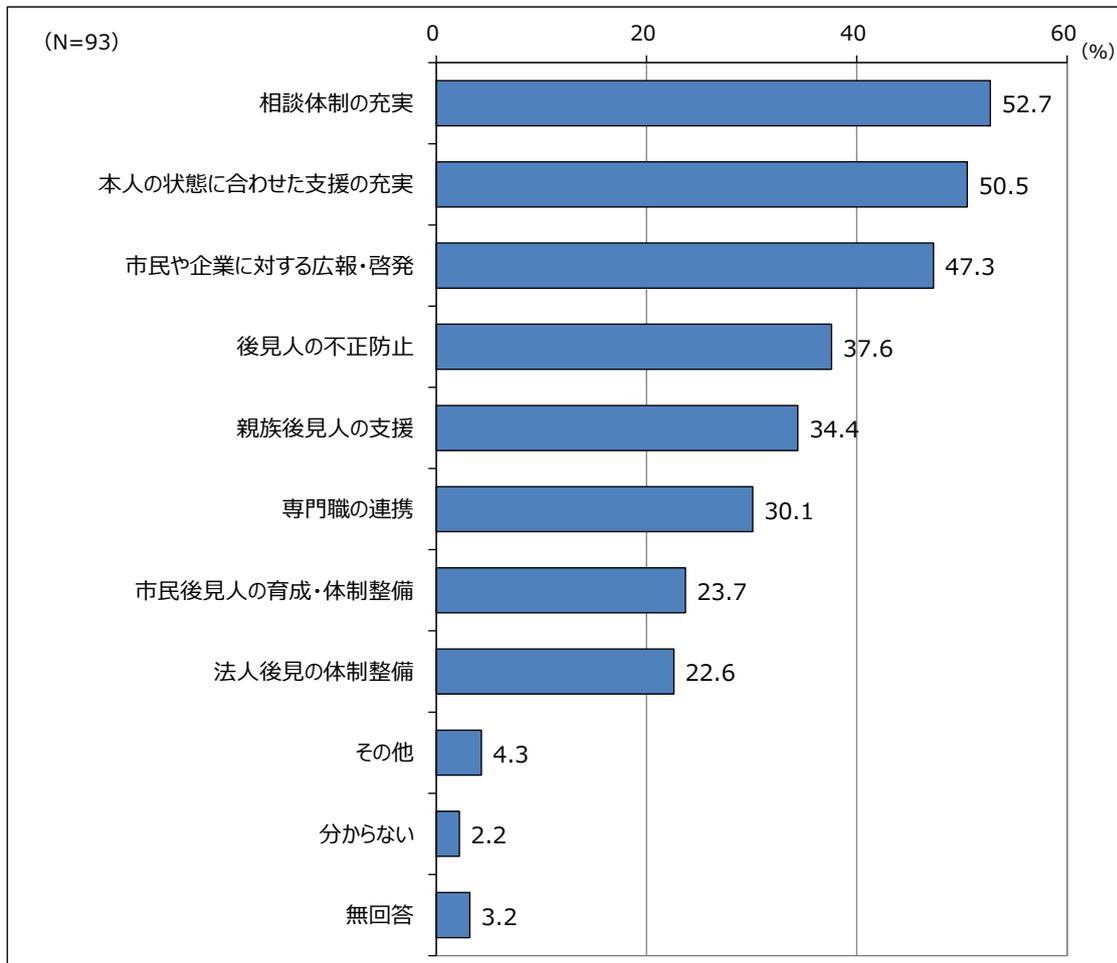


問32 成年後見制度の利用の促進・充実のために必要な取り組み

問32 成年後見制度の利用の促進・充実のためにはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「相談体制の充実」(52.7%) が最も高く、次いで「本人の状態に合わせた支援の充実」(50.5%)、「市民や企業に対する広報・啓発」(47.3%) などとなっています。

図表



9. その他

問33 徳島市の地域福祉に対するご意見

問33 徳島市の地域福祉に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

32 件の回答があり、以下のとおり回答項目別・組織形態別に整理した。

【地域活動 7件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	コロナにより活動が昨年よりできておらず残念に思っています。これから出来る施設やホールがバリアフリーになっているか制度に基づいて出来るよう、よろしくをお願いします。
民生委員児童委員協議会	地域の住民が安心安全に暮らせるようにするために、活動費、活動する場所を考えて欲しい。補助費を出して欲しい。資金がなければ活動しにくい。長続きもしない。
民生委員児童委員協議会	民生委員や地域包括支援センターに丸投げせずに、市役所の職員が、庁舎だけに留まらず、一緒になって汗をかいて取り組んで頂きたい。
社会福祉協議会	私の住む地域では、民生委員の皆様や、町内会長、婦人会等、様々な方の活動が充実されており、感謝申し上げます。今後は、更なる高齢化の時代となりますが、次世代の方々への地域活動へのご参加を推進していく必要性を感じております。
社会福祉協議会	特に意見等はありませんが、地区の社協としてその活動の目的を果たすため、マンネリに陥らず、成果を求め活動を目指そうと思えます。
障害者支援団体	当事者団体として活動している団体に対する強力な支援。具体的には、活動補助金、情報の提供、市職員の派遣等。
その他	誰もが生きやすい社会となるために、行政のお力添えがあれば助かります。偏見のないあたたかな地域づくりをお願いしたいと思います。

【コミュニティセンター 4件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	コミセン等の高齢者や障がい者の施設が整っていない。(ホールの手すり等、段差など。)資金不足でできないのであれば市として一度見直しをして援助してほしい。
NPO団体	徳島市全体を「地域」とひとくくりにするより、行政区域又は地区社協又はコミセン区域などいずれかの基準で分割した「地域」としての活動にしていくのがいいのではないかと思います。
民生委員児童委員協議会	公民館改革を早く進めて欲しい。地域で支え合いの街づくりの推進。
自主防災組織	徳島市は公民館や集会所等無くしてコミセン体制にしていますが、大勢で集まるより小さく集まった方が適性が出る。特に地域の特性が料理教室やその料理を生活困窮者等に食べてもらう。そのことによって人々の生活が見える相談に乗って行けると思えます。公民館や集会所の調理場の充実をお願いします。また、一品一町の自慢料理大会の開催、糖尿病に対する減少、個人が輝ける政策であって欲しいです。

【情報共有 5件】

組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	もう少し可視化してもらいたい。情報、資料はたくさん出ているが、知られていない。情報公開をうまくやっていただきたい。(時間のロスを少なくするため) 何事も時間軸を持ってやっていただきたい(すべて)。市の行政を見ているとすべてにおいて遅いと思う。担当者が責任を持ってスピーディにやって行きましょう。もう少し現場に出ていただきたい。地域の実情を感じてもらいたい。
社会福祉協議会	地域福祉に関わる団体に情報をいただきたい。
自主防災組織	第二段階として、課題を二つ程度に限定して、その関係する団体と市の関係課による意見交換を実施し、真の問題点を明らかにすることが肝要。地区ごとに、自然環境、道路事情、人口密度、年齢構成、就業別人口等が異なっており、問題点も地区毎で差異があると思われる。例えば、当地区では、高齢化率が高い。屋内待避所の収容人数の不足や、避難路が未整備等の課題があり、ソフト面とハード面で、地区ごとに課題を掘り下げ、問題点を鮮明にすることが必要です。その上で、対策すべき計画を地区ごとに起立し、施策に反映させ、実現させること。その為には、中間時点で、進捗状況等をチェックの上、再度、地元説明会等により、住民に公表することも必要である。一過性に終わらせない事が肝要。
自主防災組織	個人情報保護等により、地区の各種団体間との情報の共有が出来ない。(独居老人、要保護者、障がい者等)
NPO団体	高齢者・障がい者の視点から困っている事は毎日の生活は介護保険や障害者支援等のサービス等で全てではないが、先を予測し生活の足りない部分を補えることが出来るが、咄嗟の時に家族以外にも支援してくれる支援者、場所に困っている。最近ではコロナ等により家族に発熱者や利用していた施設等に感染者が出た場合に待機する居場所も受け入れてくれる場所もない。サービスとサービスのつなぎの場所や空間、又、情報が少ないし地域包括で市内の急遽対応できる情報を収集し又、発信してほしい。

【広報紙 2件】

組織形態	自由意見
民生委員児童委員協議会	元来福祉とは与えられるものではなく住民が協力して作り出していくものと考えているが、賛同者が少なく理解も深まらない。元来自分達の活動を周知していないが故にシニア世代や若い世代の協力を得ることが難しい。地域の福祉活動について社協の総合等の資料は自治会長に報告しているがもっと住民にお知らせできる広報紙面を作りたい。参加費が有料でも良いので講習を行ってほしい。(SNSの活用の仕方でも構いません)
自主防災組織	福祉の問題はプライベートな問題に関わる事が多く、知識がないと相談にも乗れない。どのような制度があるのかということは知る必要があると思うので広報紙等で勉強しておくことも大切である。

【研修会 2件】

組織形態	自由意見
社会福祉協議会	少子高齢化の現状で地域福祉の課題は山積みしている。こんな時こそ人々のつながりが大切。地域の繋がりを深め、支え合いの仕組みづくり。総合的な(どんな困りごとでも)相談窓口を設ける。総合窓口で受け付けたことを各々の専門の部所へ繋げてくれる。(相談者はどこへ相談すれば良いかわからない) 民生委員、社協、相談窓口の人等々の資質向上の為の研修等。
自主防災組織	各種団体の連携のため合同研修会等の開催。

【防災対策 2件】

組織形態	自由意見
自主防災組織	防災の立場から申せば、沖洲地区社協の守備範囲が防災計画や防災訓練の実施単位ではなく行政となっている現状では大規模災害発生時、市社協やボランティアセンターからの情報収集要請や広報活動の要請に応じるには無理があります。そのことから地区社協の守備範囲を見直すべきと考えますが、徳島市が「災害に強いまちづくり」をいうのならまずは行政区割の見直しから始めるべきと考えます。
自主防災組織	内町自主防災会の活動を申し上げます。防災倉庫を次の場所に設置している出来島公園、内町小学校、内町下水ポンプ場前、内町コミセン内、城山東。セコム会社敷地内に設置しています。倉庫内には、鉄ハンマーしょうせんスコップ、炊き出し用の釜、非常時用トイレ、ヘルメット、発電機投光機、リヤカー、救命箱、燃料(缶入り)のガソリン等を収納している。各倉庫の取り扱いの訓練もしています。消火器の点検を行い、廃棄する者に対しては、年500円の廃料を負担している。この度、自主防災会では、災害発生時における避難所での新型コロナウイルスの感染防止対策をまとめた冊子を購入いたしました。協力事業者様、各町内会員様、内町小学校様、自主防災会役員様に配布いたしました。

【その他 11件】

組織形態	自由意見
ボランティア団体	地域福祉のみではないが、点・線・面・立体と見ながらの市政に活かしてほしいと。西新町の市民センターの件もしかり。県外人間が多い会員なので「徳島大好き」になれないのはなんだろうと話題になる。つながっていないのよね、点が。好きな「点」いっぱいあるのに。と市長に期待。
NPO団体	親族による後見人に問題のある方達に対して行政がもっと関わりを持つことも必要だと思う。子育てについて疑問があり、地域で産み育てる環境をもう少し大事にして欲しい。三つ子の魂百までと言う言葉がある様にこの大事な時期を親が選べる保育園と幼稚園の両方を考えて欲しい。保育園には人数制限があり、途中入園は難しかったりする。幼稚園は誰でも入園できる。このことを忘れないで欲しい。小学校と同じで誰でも入園出来る打開策無くすことのないように。
NPO団体	誰もが安心して暮らしやすい徳島市であるよう支援が必要な人を優しく包み込み、住民や企業団体が協力できるように推進してほしいです。
民生委員児童委員協議会	地域福祉に関わる人の人材育成の資質向上や横の連携やつながりの充実。
社会福祉協議会	歳を取ってくると輝ける社会が減ってくる。交通事故、病気等になって、身体不自由になってなにも出来ない健康な人もいる。それぞれの皆が社会に簡単に参加でき、交流で得意な分野で発表したり、おめかししたり、何でもない日常が過ごせればいい。それを町内会で実践してみた。毎週1回木曜、日曜10時～昼1時まで、17、18名の元気な老若男女が集まってくる。会の運営は全員が受け持つ。書道が出来る人、写真の先生、俳句、絵画、太極拳、音楽等々素晴らしい方がいっぱいいる。先生をお願いする。顔が生き生きしている。そして皆が学ぶ、調理できる者が昼食を作る場所が必要です。お金はかからない。
社会福祉協議会	核家族化、高齢化、資金不足、関心の稀薄、地域には様々な問題があります。行政に対する要望は沢山ありますが、具体的にどうして欲しいとか、どうしたいとかが、よくわかりません。
福祉(人権・女性等)関係団体	徳島市(他市町村も含め)に制度を十分に理解して頂き、被成年後見人等は当然ながら、受任者に対して然るべき仕組みを整えてほしい。
自主防災組織	防災の立場から申せば、沖洲地区社協の守備範囲が防災計画や防災訓練の実施単位ではなく行政となっている現状では大規模災害発生時、市社協やボランティアセンターからの情報収集要請や広報活動の要請に応じるには無理があります。そのことから地区社協の守備範囲を見直すべきと考えますが、徳島市が「災害に強いまちづくり」をいうのならまずは行政区割の見直しから始めるべきと考えます。

組織形態	自由意見
自主防災組織	<p>内町自主防災会の活動を申し上げます。防災倉庫を次の場所に設置している出来島公園、内町小学校、内町下水ポンプ場前、内町コミセン内、城山東。セコム会社敷地内に設置しています。倉庫内には、鉄ハンマーしょうせんスコープ、炊き出し用の釜、非常時トイレ、ヘルメット、発電機投光機、リヤカー、救命箱、燃料(缶入り)のガソリン等を収納している。各倉庫の取り扱いの訓練もしています。消火器の点検を行い、廃棄する者に対しては、年 500 円の廃料を負担している。この度、自主防災会では、災害発生時における避難所での新型コロナウイルスの感染防止対策をまとめた冊子を購入いたしました。協力事業さま、各町内会員様、内町小学校様、自主防災会役員様に配布いたしました。</p>
自主防災組織	<p>高齢者対象だけでなく、将来地域を担う子供や若い人への支援も並行してやっていく必要がある。ボランティアだけに頼り任せるのでは限界ではないか！！しっかりした組織を作り、人材（有償）を配置し進めていく必要がある。災害対応では、自助、共助、公助の三本柱、自助が 7 割（？）共助（2 割）公助（1 割）これでは何も平時には出来ない。</p>
その他	<p>民生委員と人権擁護委員会との連絡協議会が定期的実施できるといい。</p>